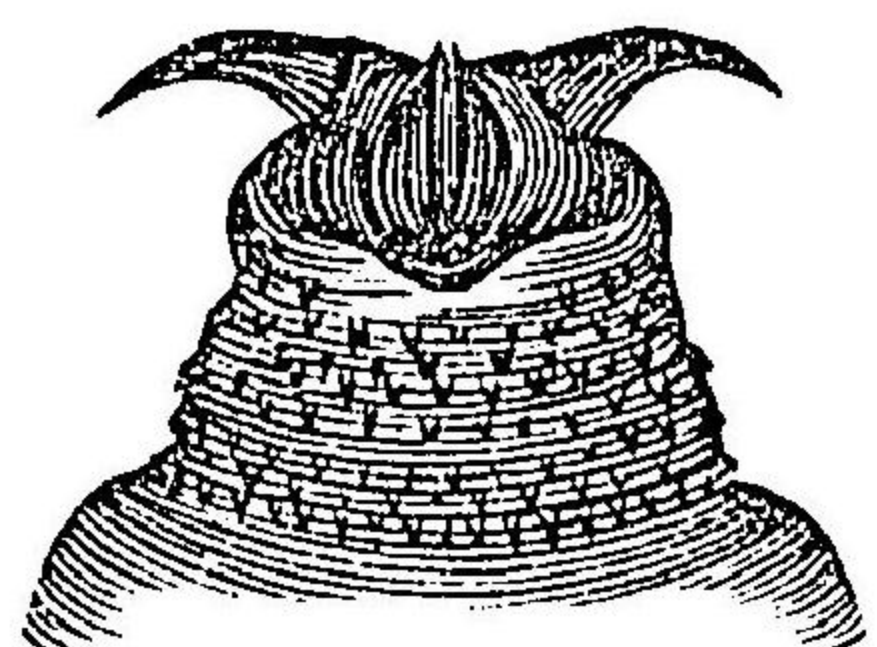


圖八八第

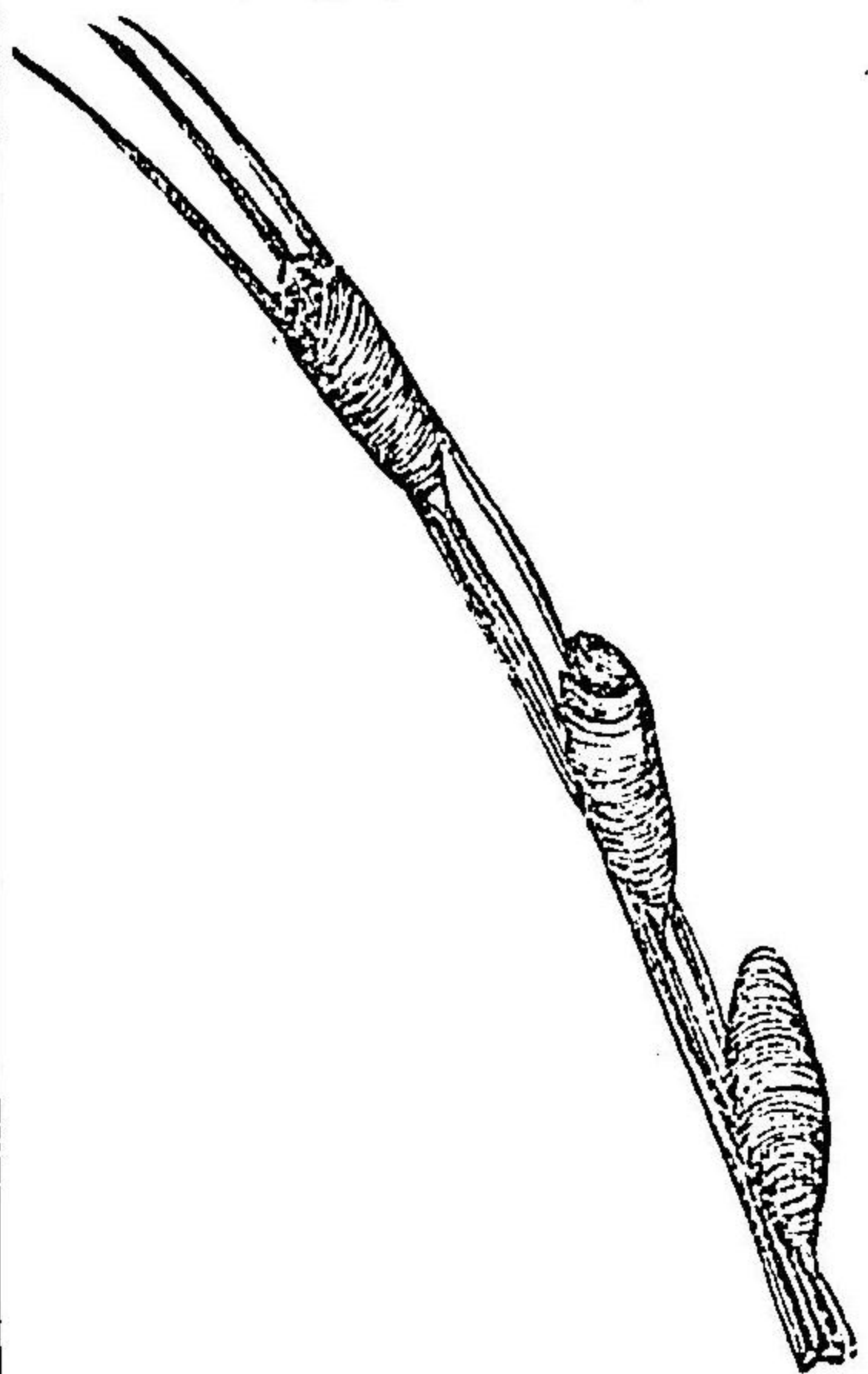


及ヒ刺毛ヲ有シ、口部ニ黑色ノ鉤一對ヲ有ス、全身ハ十一個ノ環節ヲ現ハシ各環節ニ三角形ノ棘アリ其狀恰モ荀ノ如シ、故ニ本邦ニテハ俗ニ荀虫ト稱ス、尾端ニハ黑色盤アリ、之レヲ呼吸盤ト云フ、之レニヨリテ呼吸作用ヲ營ムモノトス、而シテ之等ノ蛆ハ頭部ノ鉤ヲ以テ胃又ハ腸ノ粘膜ニ緊着シ其刺毛ヲ以テ粘膜ヲ刺シ血液及ヒ漿液ヲ吸收ス、既ニ成熟シタル蛆ハ粘膜ヲ離レ体外ニ出テ羽化スルモノトス、例令本年胃ニ達セシモノハ翌年六月頃ニ粘膜ヲ離レ糞ニ混シ排泄セラレ地中又ハ糞塊中ニテ凡ソ二十四時間ニシテ蛹ト化シ、更ニ二十八日乃至四十日ヲ經テ羽化スルモノナリ

一) *Gastvus Pecorum*

成虫ハ黒褐色ニシテ体長一二m.乃至一五m.アリ烟色ノ小翅ヲ有ス、頭部

圖九八第
大卵卵ノ蛇馬



及ビ觸角ハ赤褐色ニシテ背部前端ハ濃黄色ノ毛ヲ被ムリ其他ノ部ハ黑色毛ヲ生ズ、脚ハ黄色或ハ黒褐色ヲ帶ブ、卵ハ帶黑色ニシテ長サ約一m.m.アリ其形狀ハ前種ニ同シ、本虫ノ蛆ハ胃ニ止マルヲ凡ソ九箇月ニシテ其充分成熟シタルモノハ血赤色ヲ帶ブ、既ニシテ成熟シタルモノハ胃壁ヲ離レ暫時直腸ニ止マリ後チ糞塊ト共ニ排泄セラレ地中ニ入り或ハ糞塊中ニテ蛹ニ化シ四乃至六週日ヲ經テ羽化スルモノナリ、

三) *Gastvus Hamorhoidalia*

羽虫ノ体長凡ソ一〇m.アリ顔面ハ黄白色前頭部ハ鐵黄色ヲ呈ス、觸角モ亦同色ヲ帶ブ、背部ハ黑色ニシテ前部ハ黄色毛ヲ被生シ後部ハ

黑色毛ヲ生ズ、腹部ノ前部ハ灰白色、中央部ハ黑色、後部ハ黃赤色ヲ呈ス、翅ハ透明ニシテ各十字斑紋ヲ具フ、脚ハ黃褐色ヲ呈ス、

本虫ハ七八月ノ候發生飛翔シ唯ハ卵ヲ馬ノ唇毛及ビ鼻毛ニ産ズ、卵ハ黑色ニシテ一個ノ長キ脚ヲ有ス、此ノ蛆ハ最モ馬ヲ苦悶セシムルモノニシテ鼻腔若クハ口腔ヲ匍匐シ或ハ咽頭、胃及ビ十二指腸等ニ寄生シ、後チ轉シテ直腸粘膜炎ニ寄着シ、初メ赤色ナルモ成熟スルニ從ヒ漸次藍綠色トナル、其成熟シタルモノハ長サ一四m.m.乃至一六m.m.アリ、排出セラレタル蛆ハ褐色ノ蛹ニ化シ長サ凡ソ一四m.m.アリ四乃至六週日ヲ經テ羽化ス、

四 Gastrus Nasalis

本虫ノ蛆ハ馬、驢及ビ羊、山羊等ノ鼻腔ニ寄生スルヲ以テ此名アリ、成虫ノ體長ハ一二m.m.アリ、頭部及背部ハ黃赤色ノ毛ヲ被ムル額ハ帶褐色、觸角ハ帶赤色ニシテ黒毛ヲ生ズ、翅ハ透明ニシテ小ナリ、脚ハ褐色ニシテ黃色

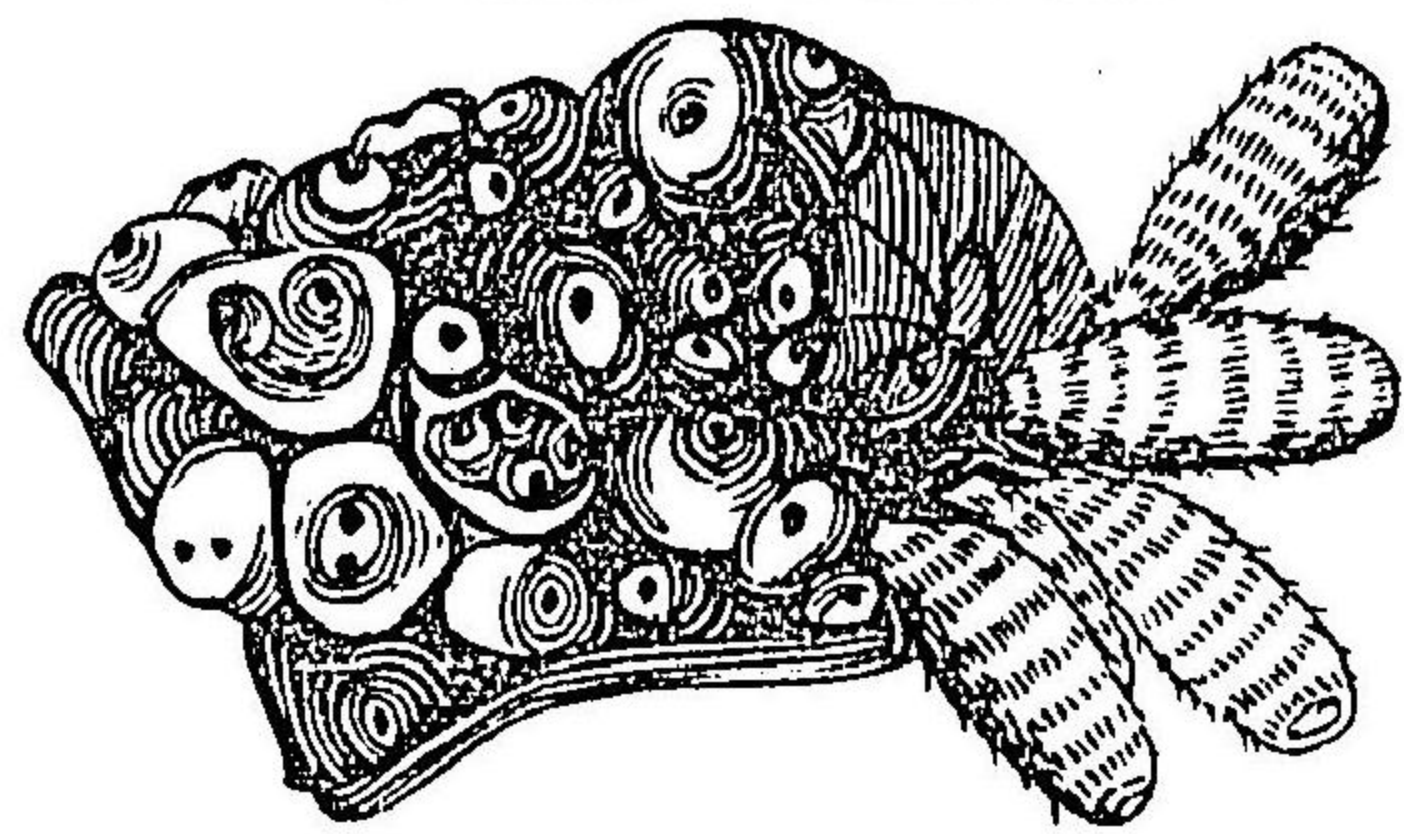
毛ヲ生ズ、雌虫ハ其體色雄虫ヨリ稍ヤ黃色ヲ帶ブ、卵ノ白色圓形ニシテ長凡一m.m.アリ其一端迂曲ス、

蛆ハ主トシテ十二指腸ノ粘膜炎ニ寄着シテ發育シ又咽頭鼻腔粘膜炎ニ寄着シテ發育スルモアリ、成熟シタル蛆ハ黃色或ハ黃白色ニシテ後部稍ヤ肥大シ尾端ニ黑色ノ交叉斑ヲ呈ス、成熟シタル蛆ハ糞塊ト共ニ宿主體ヲ出ヅ其排出ニ當テ糞塊ノ中央部ニ在ルヲ常トス、稀レニハ自ラ肛門ヨリ匍出スルモノアリ、蛹ハ黑色ニシテ大サ前種ト稍ヤ等シ、三十日乃至四十日ヲ經テ羽化スルモノトス、

馬虻一般患害

馬虻一般ノ患害 蛆ノ數寡少ナルトハ大害ヲ來サズト雖ドモ多數寄生ノ場合ニ在テハ消化ノ異常ヲ來シ、患畜爲メニ消瘦ス、又痲痛ヲ發スルコトアリ、幼馬ノ如キハ大ニ發育ヲ障碍ス、蛆ノ多數胃ニ寄生スル時ハ幽門ハ閉塞セラレ爲メニ破裂ヲ來スコトアリ、又蛆ノ胃壁ヲ穿孔シ腹腔ニ侵入シ腹膜炎ヲ發スルコトアリ、小腸又ハ直腸ニ寄生セシ場合ハ下痢

第九圖
馬蛇吸痰部一物大



結便ヲ起スアリ、咽頭鼻腔ニ寄生スルキハ呼吸困難ノ徵ヲ呈シ一種腦症ヲ發ス、剖檢、胃ヲ檢スルニ蛆ハ胃壁ニ緊着シ容易ニ離レズ、尾端ヲ舉揚シ恰モ菊花狀ニ圍着シ少ナキハ二十個乃至三十個多キハ二百個乃至三百個ノ寄生ヲ見ル、殊ニ小彎噴門部ニ多キヲ見ル、患部粘膜ハ腫起潮紅シ、吸痰ハ噴火穴狀ヲ呈ス、其他十二指腸、鼻腔ニ於ケル變狀ハハ胃粘膜ノ變狀ニ異ナラズト雖モ鼻腔ニ於テ帶色粘調液ヲ被ムルコトアリ、

馬蛇療法

療法 數々驅虫劑アルモ多クハ効少ナシ、普通應用スルモノハ稀弱偏陣的列並底油、炭酸加里、偏列阿林、臭性獸油、「ピクリン」酸加里、木醋、綿馬根ナルモ亦効果確實ナラズ、ペロンシト一氏(Penonctos)ノ實驗ニ據ルニ硫化炭素

ヲ膠囊ニ入レ内服セシム、其用量馬驢ハ一〇〇乃至三〇〇ヲ與フルモ中毒ノ恐レナシ、重大種ニ於テハ三〇〇輕種ナレバ二〇〇ヲ與フルキハ十二時間乃至十四時間ニシテ奏効スト、本邦ニ於テモ諸家ノ實驗ニヨレバ其効良シト、予モ嘗テ一五〇ヲ與ヘテ奏効セリ、鼻馬蛇ニ對シテハ羊蛇療法ヲ應用シテ可ナリ、

馬蛇ノ豫防法

豫防法 馬体ノ流拭ヲ嚴ニシ、若シ卵及ビ蛆ノ毛鬚ニ在ル有ラバ直チニ燒棄スベク、又タ蛇ノ侵襲ヲ防ギ皮膚ヲ被ヒ、胡桃煎、苦蓮煎、大蒜、胡蘆葉煎等ニテ洗滌シ、石油、偏陣、臭性獸油等ヲ皮膚ニ塗布ス、其他豫防法ハ羊蛇豫防法ニ異ナラズ、

虱蠅類
Hippoboscidae

族 虱蠅類 Hippoboscidae

本族ハ一對ノ複眼ヲ有シ、觸角ハ短カク一節又ハ二節ヨリ成リ觸角溝中ニ在リ、口部、上頤ハ鞘狀ノ下頤ニ圍繞セラレ下唇ハ關節ヲナサズ、翅ハ之レヲ飲クモノアリ、常ニ平均棍ヲ具フ、体ハ普通扁平ナリ、脚ハ一般ニ短大、静止ノトキハ翅ヲ体上ニ置ク、而シテ本族ハ皆胎生ニシテ産出後幼虫ハ直チニ蛹化ス、故ニ之レヲ産蠶類 *epipara* ト稱スルヲ適當トナスモ普通稱シテ虱蠅類ト曰フ、

本族ノ羽虫即チ成虫ハ鳥類及ビ哺乳動物ニ寄生シテ血液ヲ吸收シテ食トナス、之ニ屬スルモノ如左、

一、メロフアガス属 *Melophagus*

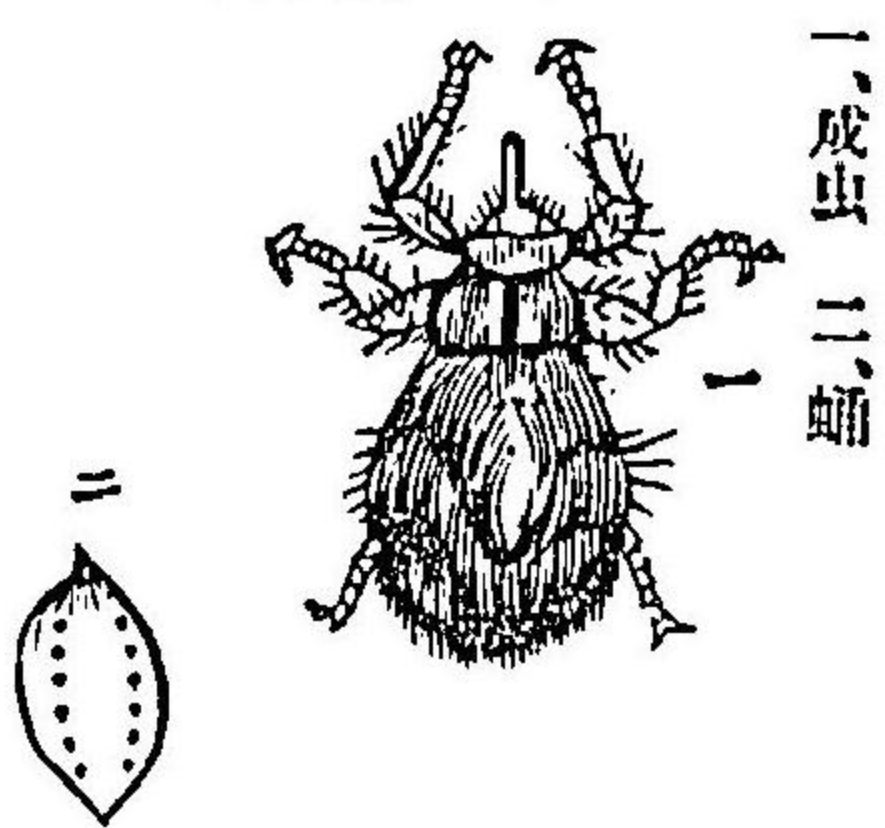
之ニ一種アリ如左

一、*Delophagus Ovinus* (羊ノ虱蠅)

此種ハ翅ヲ欠如スルガ故ニ外觀恰モ虱ノ如シ、体長約四 m.m. アリ、頭部ハ

「メロフアガス」

第九圖 (羊ノ虱蠅)



一、成虫 二、蛹

横長ニシテ胸部ハ稍々狭シ、腹部ハ甚ダ幅廣ク環節ヲ表サズ短毛ヲ密生ス、体色ハ赤褐色ナリ、常ニ羊毛中ニ潜伏シテ血液ヲ吸收ス、其蛹ハ毛端ニ附着シ林檢ノ實ニ似タリ、之ニヨリ直チニ本虫ノ寄生ヲ發見スルコトヲ得、本虫羊毛ヲ害シ皮膚ヲ刺戟シ又タ吸血ヲナスヲ以テ一種ノ皮膚病ヲ發スノミナラズ、患羊大ニ削瘦ス、

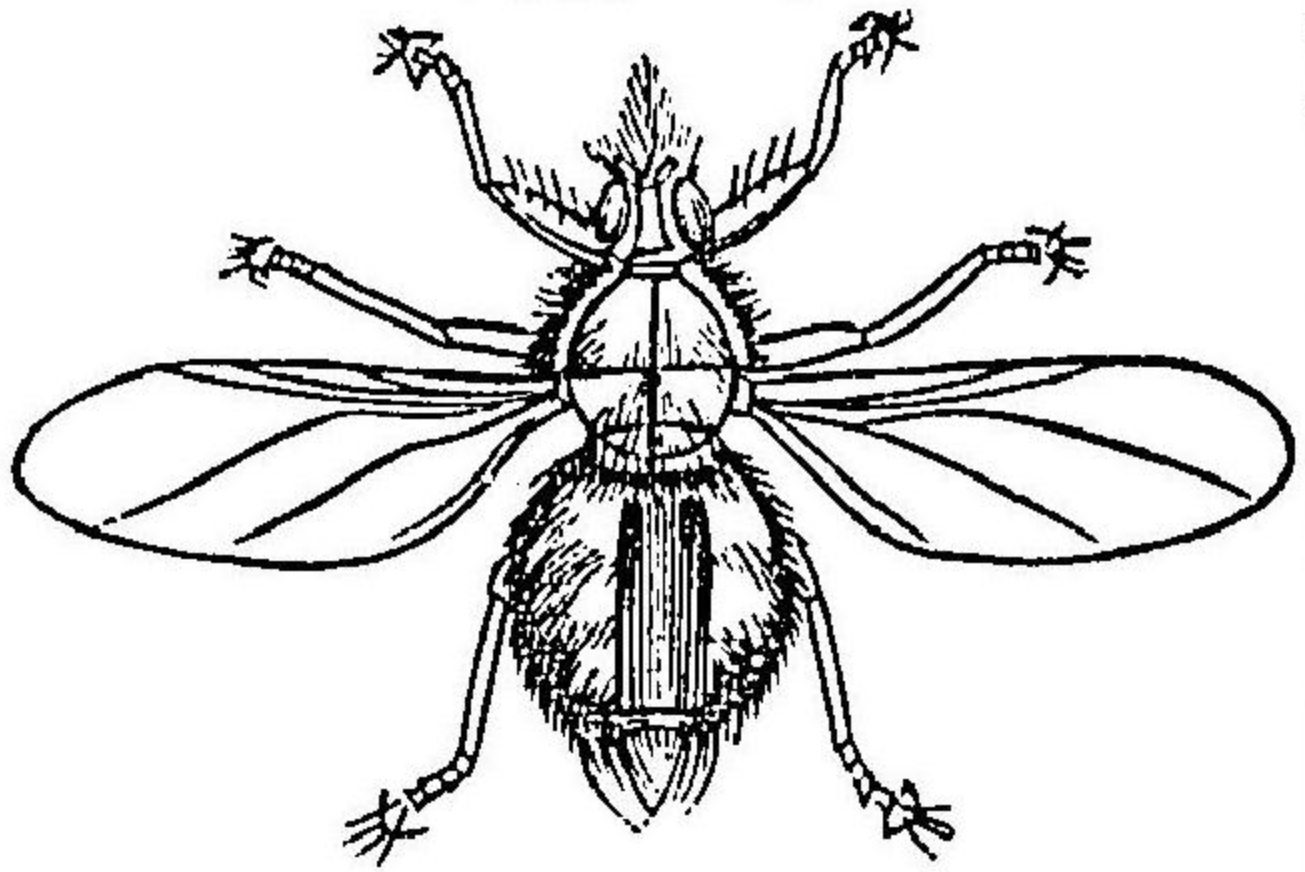
一、ヒッポボスカ属 *Hippobosca*

「ヒッポボスカ」

本属中ノモノハ其体形此又ハ蠅ニ類似シ翅ヲ有ス、家畜ノ皮膚ヲ刺シテ吸血ス其害ハ此類ニ同シ重ナルモノ數種アリ、即チ、

一、*Hippobosca Equina* (馬ノ虱蠅)

第九二種 (馬ノ虱)



成虫ハ野外ニ生息飛翔シ、夏期馬、犬、其他ノ家畜ヲ襲ヒテ皮膚ヲ刺シテ吸血ス、体ハ圓形ニシテ、鏽黄色ヲ呈ス、体長七乃至八m.m.アリ、翅ハ黄褐色ヲ帯ビ背部ニ三個ノ黄色斑点ヲ有ス、脚ハ黄色ニシテ黑色二鉤爪ヲ具フ、

一、*Hippobosca Capensis* (犬ノ虱)

体ハ扁平ニシテ其長サ約九m.m.アリ、体色ハ褐色

ヲ呈ス、複眼ハ黒褐色ニシテ單眼ヲ有セズ、觸角ハ基部褐色ニシテ末端ハ黄色ナリ、胸背ハ暗黄色ニシテ黄色ノ縱溝ヲ有ス、稜狀部ニ横皺ヲ具

第九三種 (犬ノ虱)



ヘ其前ニモ判然セル横溝アリ、翅ハ透明ニシテ少シク黄色ヲ帯フ、腹部ハ扁圓形ニシテ暗黄色ノ毛ヲ生ズ、脚ハ

淡黄ニシテ二個ノ黒褐色ノ環ヲ具フ 一般ニ雌虫ハ雄虫ヨリ稍ヤ帶褐色ナリ、

三、*Hippobosca Nigra*

此ハブラシル國ノ馬ニ寄生ス、

四、*Hippobosca Camelina*

此ハ駱駝ニ寄生ス、

「リポプテーナ」

一、リポプテーナ属 *Lipoptena*

本属ニ一種アリ如左、

一、*Lipoptena Cervi* (鹿ノ虱)

第九四種 (鹿ノ虱)



体長凡ソ七乃至八m.m.アリ、体色ハ鏽黄色ニシテ胸ノ上部ハ茶褐色、腹ノ一部ハ黒色ナリ、胸部形状ハ殆ソド方形ナリ、元來有翅ナリト雖ドモ時

期ニヨリ之ヲ失ヒ、其跡痕ヲ見ズ、頭ハ複眼ノ外一對ノ單眼ヲ有ス、無翅ノ者ハ通例鹿類ニ寄生シ、又タ羊ニ寄生ス、有翅ノモノハ鳥類ニ寄生ス、此鳥類ニ寄生スルモノハ一種ト看做シ *Ornithomya Pallida* ト稱セラレタルモノナリ、此ハ歐洲ニ産ス、

「チーニトミア」

三、チーニトミア属 *Ornithomya*

一、*Ornithomya Aobatonis* (はしらみばい)

体ハ扁平ニシテ長サ五 m.m. アリ、暗黄ニシテ光澤ヲ有シ、單眼ハ三個アリテ判然ス、頭頂ハ單眼ノ處ニテ褐色ヲ呈ス、複眼ハ黒褐色ニシテ觸角ハ褐色ニシテ末端ハ黄色ニシテ長キ黒色毛ヲ生ズ、口吻ハ黄色ニシテ黒色ノ短毛ヲ密生シ各末端ニハ一本ノ長キ黒毛ヲ生ズ、舌ハ隠レテ見エズ、胸背ハ暗黄ニシテ中央ニ一條

圖五九第 (いばみらしまは)



ノ縦溝ヲ見ヘ黄色ナリ、腹部ハ稍ヤ圓形ヲナシ黒色ノ短毛ヲ生ズ、翅ハ透明ニシテ少シク黄色ヲ帯ビ太キ肋線(脈)ハ黒褐色ニシテ細キ肋線ハ黄色ナリ、脚ハ淡黄色、趾節ハ暗褐色ニシテ爪ハ長クシテ三分シ黒褐色ナリ、本種ハ青鳩類ニ寄生ス、本邦何レノ地ニモ之レヲ見ル、

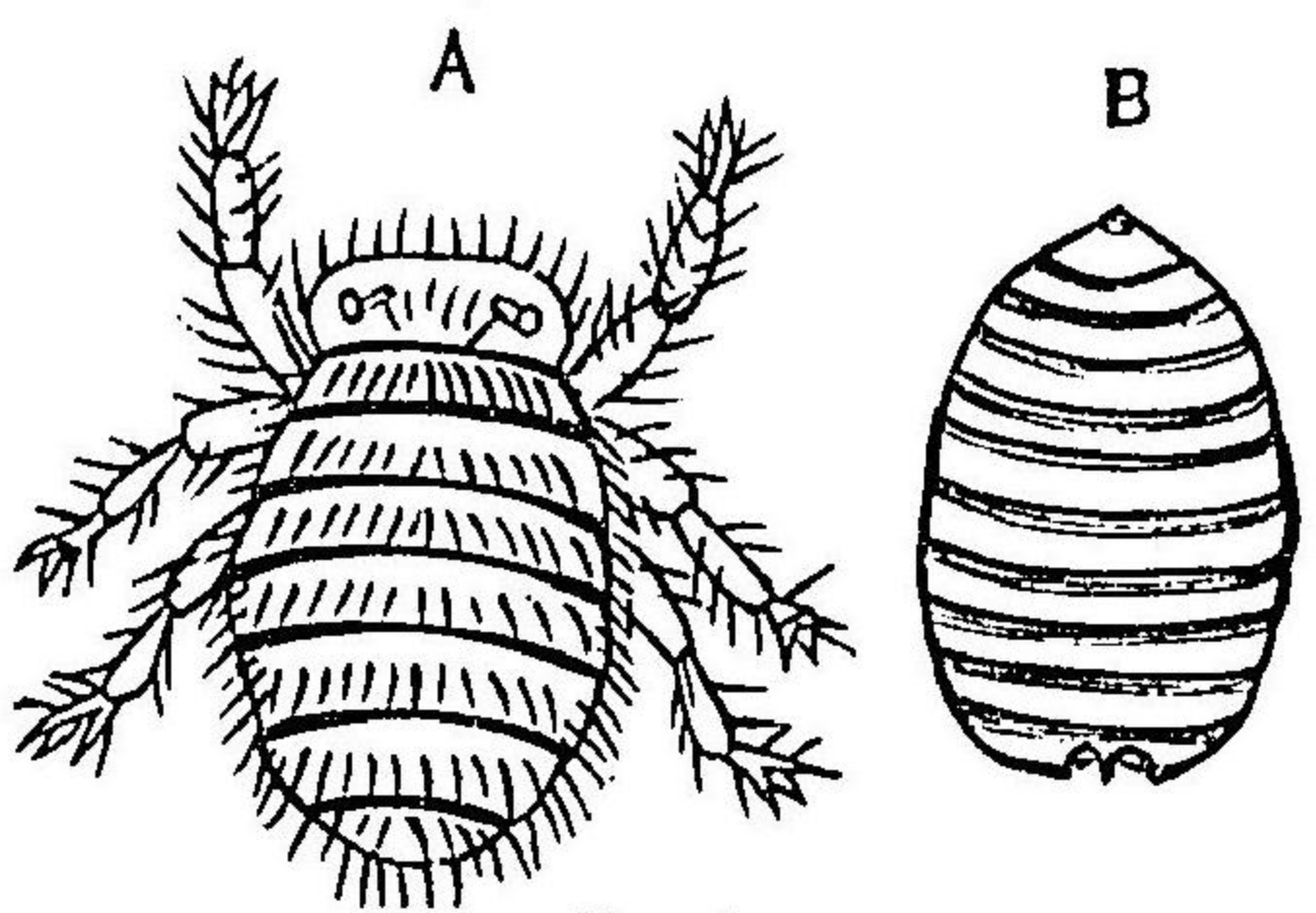
二、*Ornithomya Avicularia* (鳥ノ虱蠅)

此ハ歐洲ニ産スルモノニシテ体長ハ五乃至六 m.m. アリ、体色ハ緑黄又ハ茶褐色ナリ、頭ニハ複眼ノ外三個ノ單眼ヲ具ヘ胸ハ横長ナリト、

四、ブラウラ属 *Braula*

此属中ニハ哺乳獸ニ寄生スルモノ少ナシ、蜜蜂ニ寄生スルモノアリ、殖産上有害

圖六九第 (カウラ、ラウラ)



A 成虫
B 幼虫

「ブラウラ」

ナルヲ以テ左ニ其名ヲ舉ゲン、

一、^{ブラウリスニョカ} Braula Coeca

此ハ虱ノ如ク無翅赤褐色ノ小虫ナリ、

附記

一般蠅類ノ豫防法、蠅及蚋類ハ動物休憩ヲ妨クルノミナラズ、傳染病毒ノ媒介ヲナシ、又々創傷部ニ産卵シテ治癒ヲ妨ゲ、或ハ吸血シ、皮膚症ヲ發セシメ、其害一ツニ止マラズ、故ニ茲ニ更ニ一般ノ豫防法ヲ摘舉再述スベシ、

- 一、古來經驗ニ據リ民間ニ行ハル、ハ厩舎ノ窓口ヲ閉塞シ室内ヲ暗クスルコトアリ、然シ夏期ハ通氣疏通ヲ欠クノ慮アリ、
- 二、避蠅網ヲ用ユルコト、此法ハ伊太利人 Spencersノ考案ニシテ日光ノ透射窓面ハ閉遮シ反對側ノ窓ニ網ヲ張ル、此網眼ハ細小ヲ要セズ蠅類ノ通過シ得ルモノニテ可ナリ、斯ク裝置セバ網窓ニ止マリ偶々舎内

ニ侵入スルモノアルモ網上ニ止マリ永ク舎内ニ生息セズ、此法ニ據レバ通氣ニハ害ナシ、

- 三、家畜ヲ舎外ニ放牧シ、舎内ニ於テ薰烟ヲ行フ、
 - 四、樹枝懸垂法、此法ハ本邦殊ニ中國或地方ニ行ハル、モノニシテ背部ニ接觸スルヲ度トス、斯クスレバ時々牛馬ハ自体ヲ摩擦シ多少追蠅ノ効アリ、
 - 五、野外ニアリテハ被衣ヲ用ユルコトアリ、即チ体被、脚半、尾被、頭被、耳帽ヲ用ユ、又地方習慣トシテ鬘尾毛ニ麻糸又ハ房ヲ編付スル所アリ、
 - 六、厩臭劑ノ塗布、即チ動物体及ビ厩舎器具ニ塗布ス、又々苔味劑ノ塗布ヲ行フ又、殺蠅法トシテ砒石劑ヲ應用スルコトアルモ危険ナリ、
 - 七、舎内及運動場ノ清潔法、即チ蛆ハ糞塊及ビ腐敗物ニ生息スルヲ以テ清潔ヲ嚴ニス可シ、
- 其他ハ既ニ各條下ニ述ベシヲ以テ異ス、

微翅類
Aphaniptera

目 微翅類 Aphaniptera

口部ハ吸收及ビ刺螫ニ適シ、上唇ヲ飲キ、上腮ハ變シテ有齒ノ刺針トナリ、下唇ハ之レガ鞘トナリ關節ヲ有スルモノアリ、腮ハ小板形トナル、觸角ハ甚ダ短カシ、胸部ハ三環節ヨリナリ互ニ分離ス、四翅ハ之ヲ飲キ板狀ノ附着物ヲ有ス、腹部ハ概テ九環節ニシテ大ナリ、形態變化ハ完全ナリ、

蚤類
Pulicidae

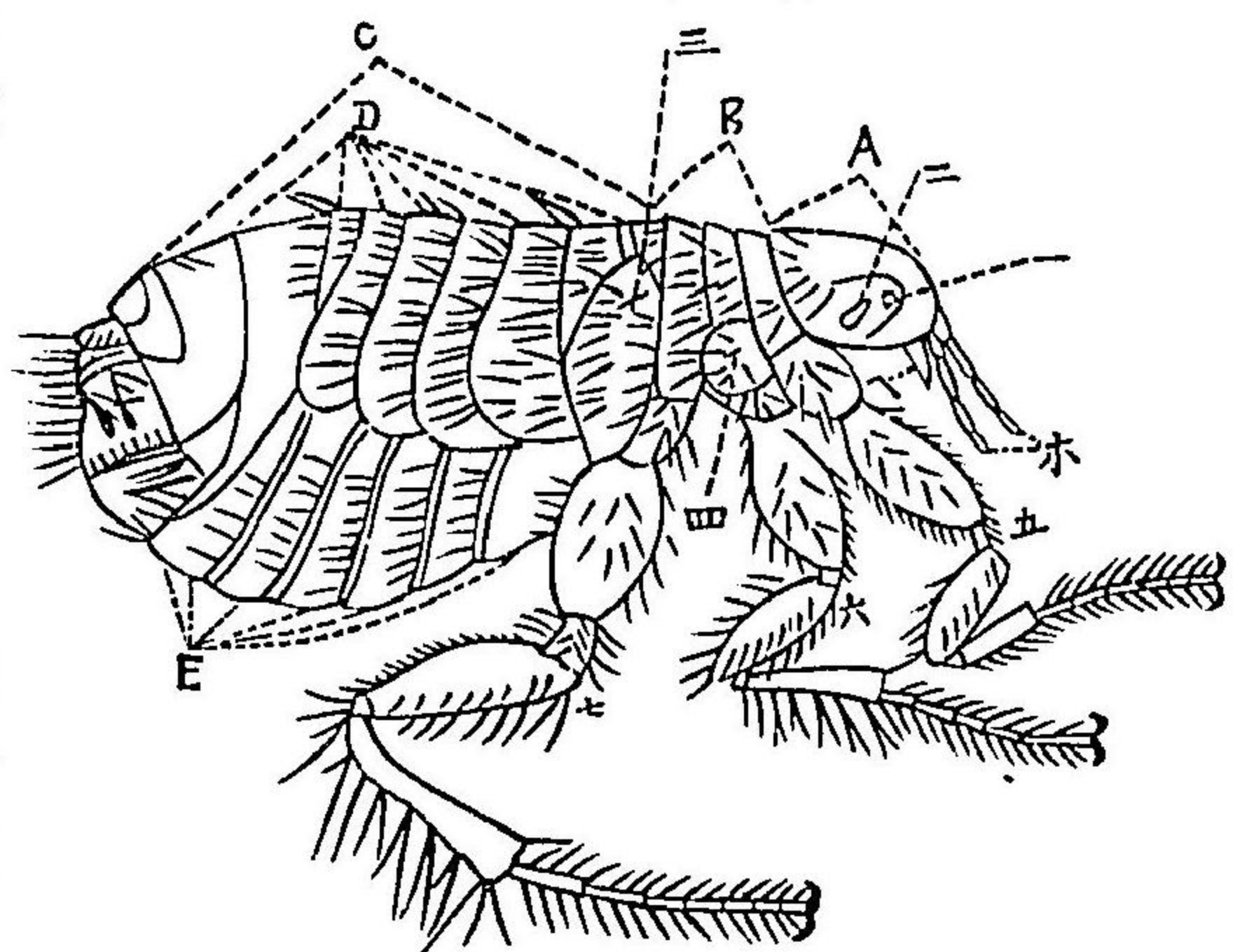
族 蚤類 Pulicidae

本族中ノモノハ其數多シト雖ドモ一般ヨリ云ヘバ頭胸腹ノ三部ヨリ成リ頭胸ハ相癒着シ、腹部ハ發達シ甚ダ大ナリ、体ハ側扁セラル、脚ハ長ク後脚能ク發育シ跳躍ニ適ス、全体十二環節ヨリ成ル、蛆ハ塵埃中ニ於テ發育シ濕地ニ成長ス、成虫ハ人畜ヲ襲ヒ皮膚ヲ刺シテ吸血スルノミナラズ又傳染病毒ヲ媒介傳播ス、暖温ノ季節ニ最モ多シ尙ホ左ニ一般ノ構造

第九七圖

七六五四三二一
後中前翅後觸眼
脚脚脚ノ胸角
痕跡板

FDCBA
腹背腹胸頭
甲甲部部部



第九八圖

ホハ三二一
下下觸觸眼
腮腮角側毛

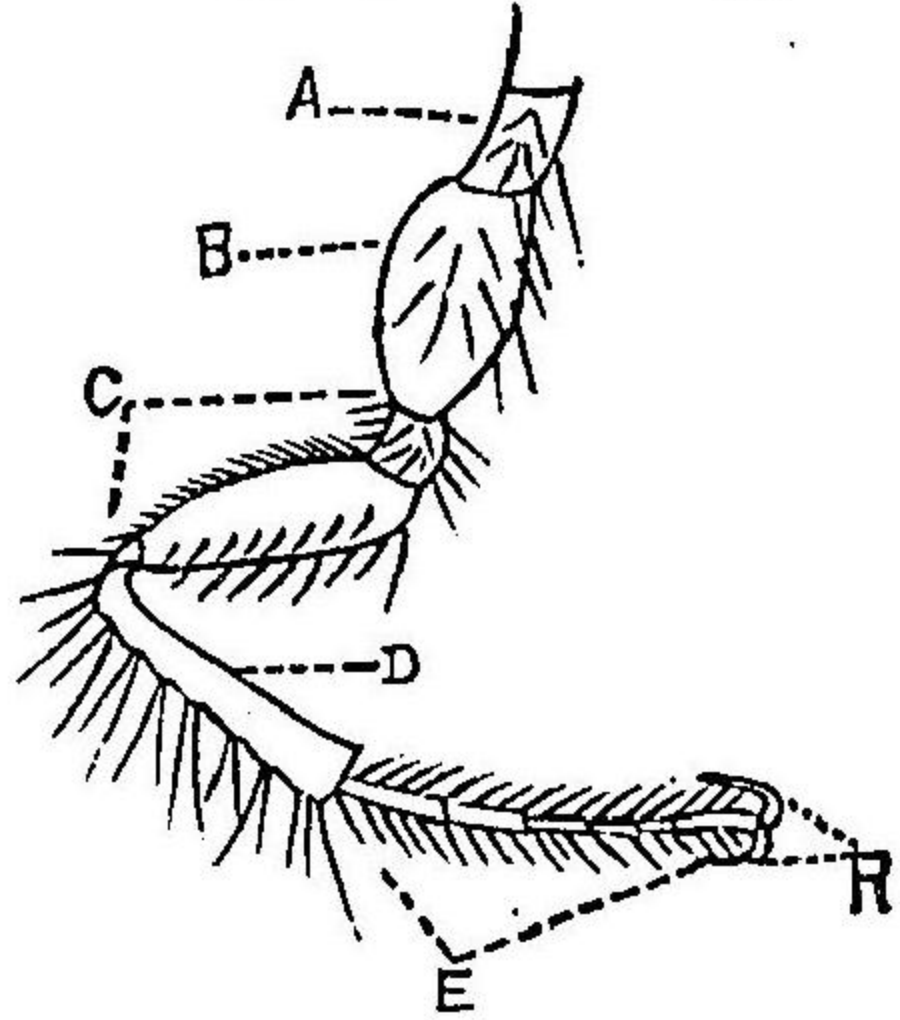
第九九圖

ハホニハロイ
下下整下上
腮腮舌唇類
鬚鬚鬚

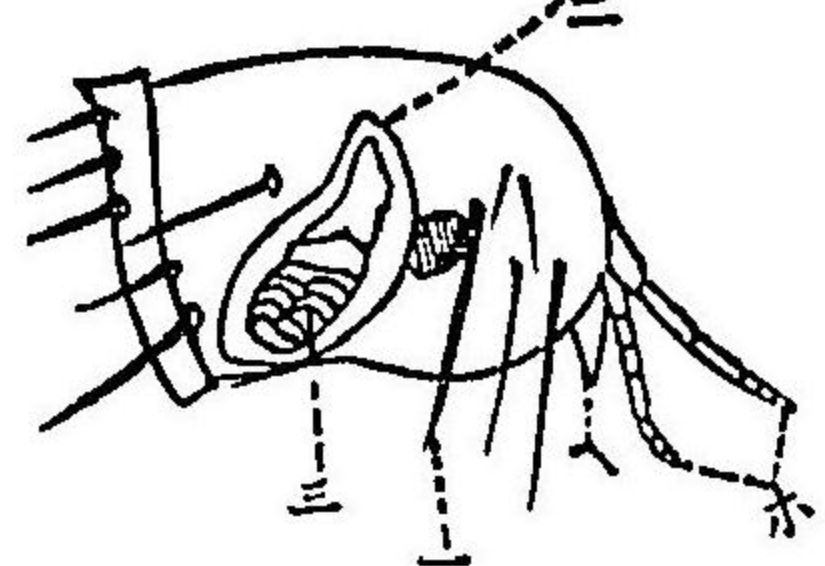
第一〇〇圖

ECA
附腿基
節節節

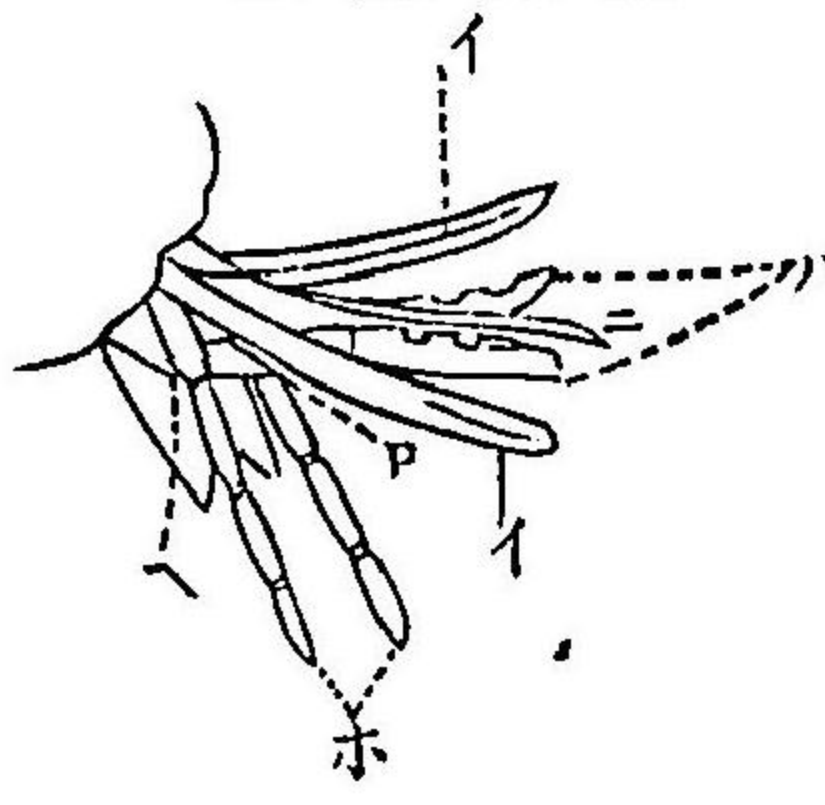
FDB
爪脛大
(爪)脛節



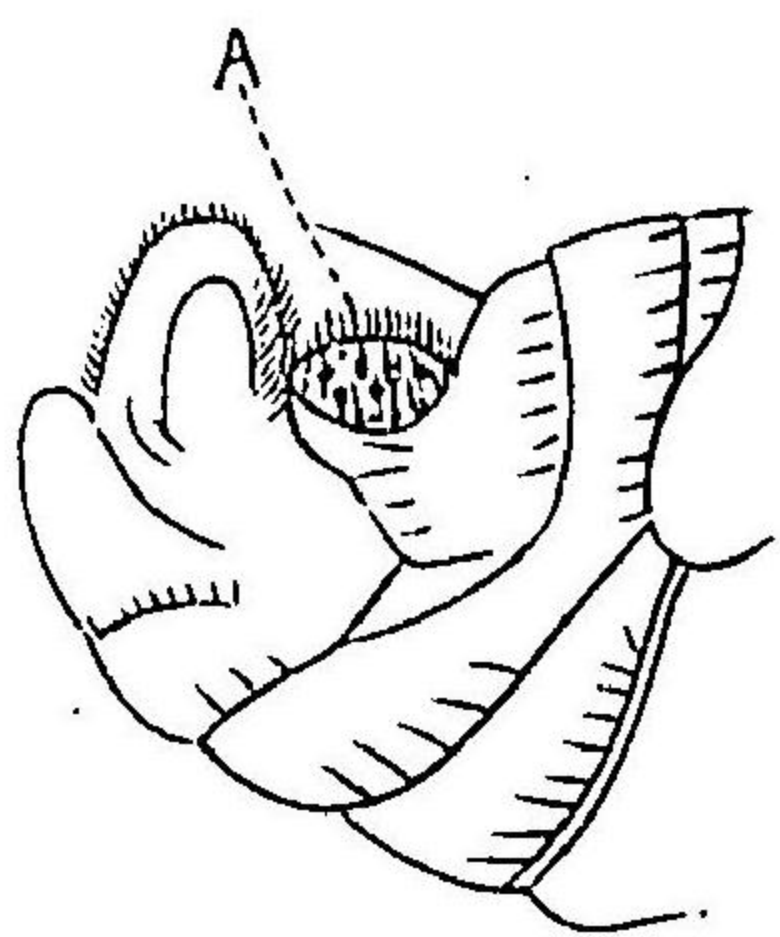
第九九圖



第九九圖



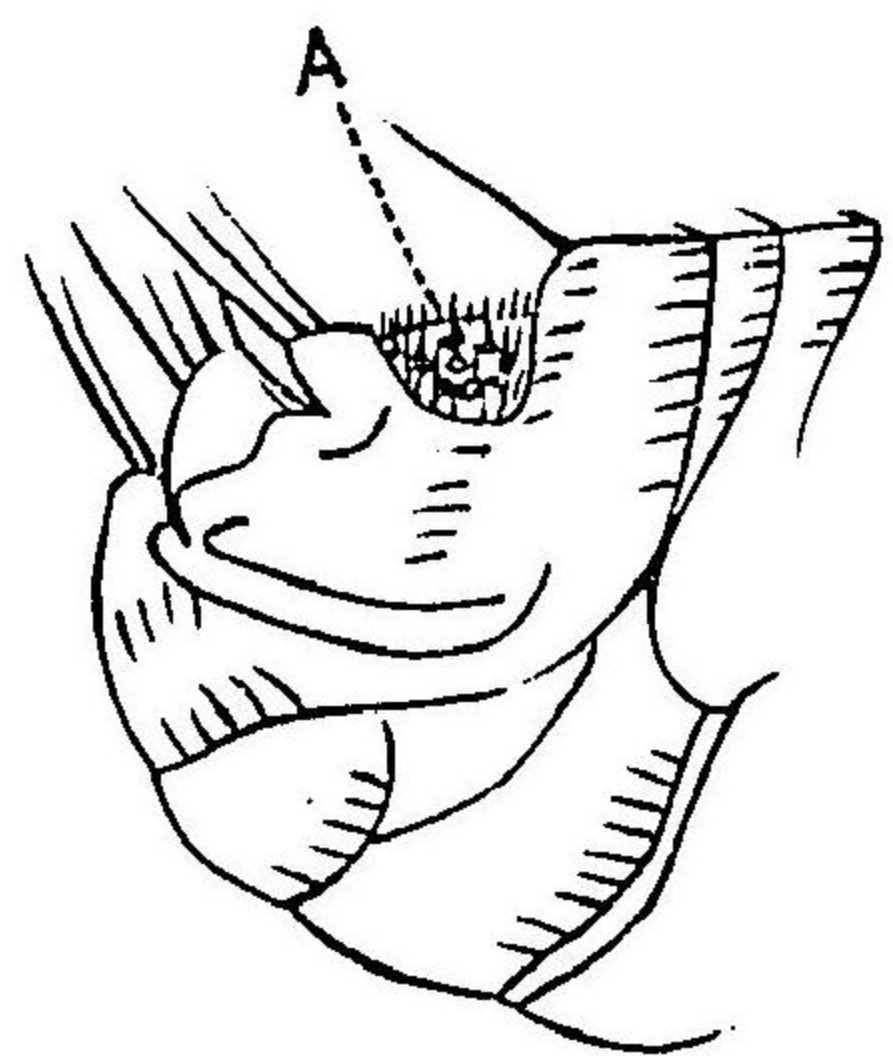
第一〇一圖



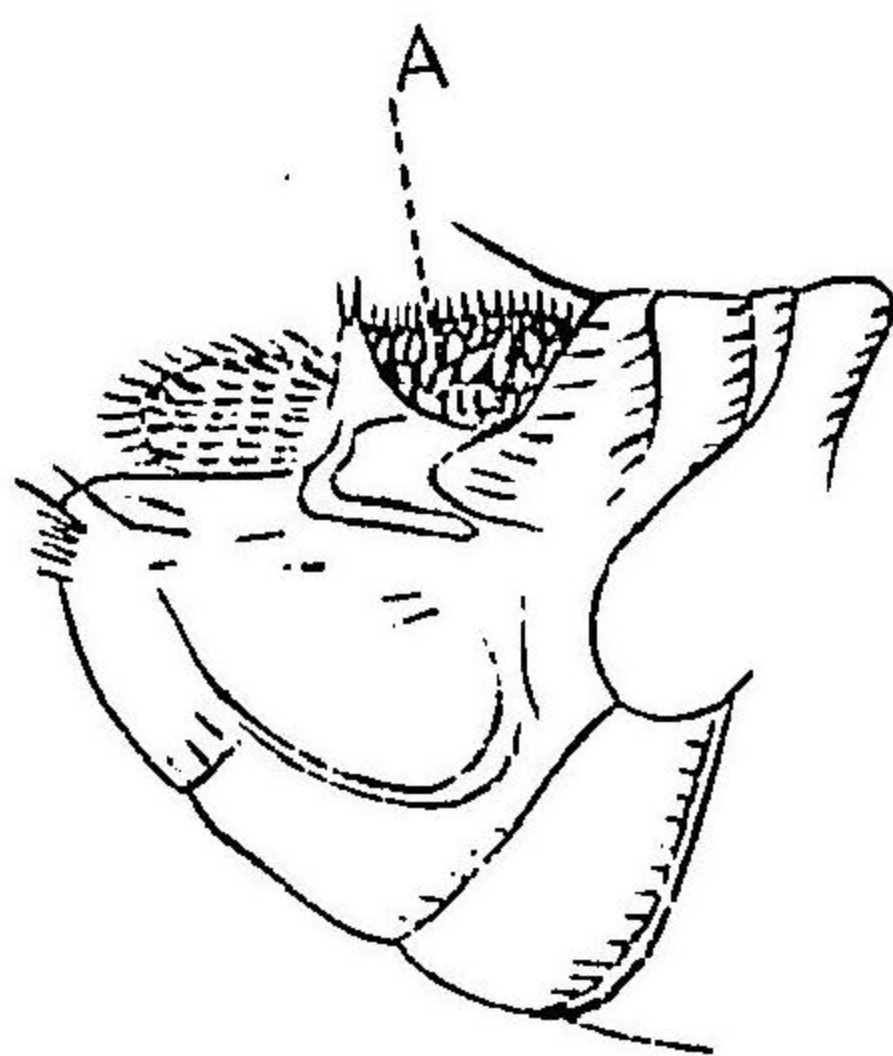
- 第一〇一圖 「ビユーレツクス、イタタンス」ノ尾端(雌)
- 第一〇二圖 「セライトファイールス、フアシアツス」ノ尾端(雄)
- 第一〇三圖 「クテノセファールス、カニス」ノ尾端(雄)
- 第一〇四圖 ロエムプシルラ、ケオピス」ノ尾端(雌)

A 顆粒板

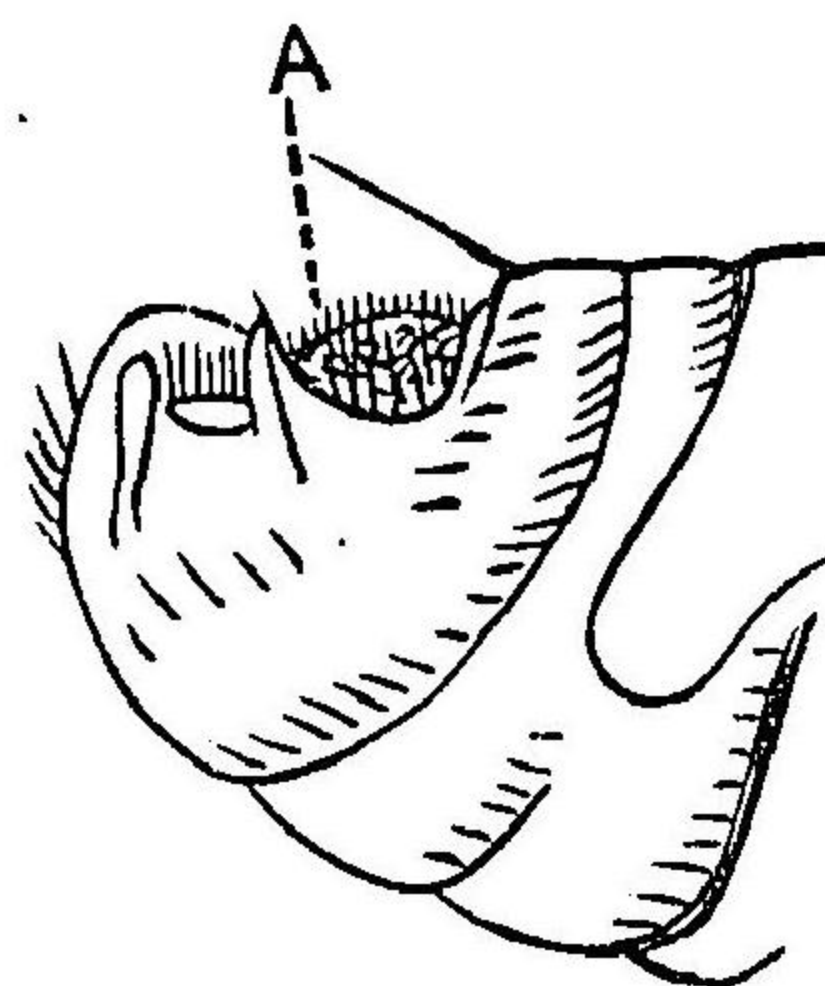
第一〇二圖



第一〇三圖



第一〇四圖



雌雄ノ鑑別

一、雄ハ雌ヨリ
 二、モ其體小ナリ
 三、背線ノ長サ短
 四、カキモシク組
 五、リテハ背線及ビ
 六、腹線ノ長サ大
 七、雄ニハ腹線
 八、雌ニハ腹線
 九、雄ニハ腹線
 十、雌ニハ腹線
 十一、雄ニハ腹線
 十二、雌ニハ腹線
 十三、雄ニハ腹線
 十四、雌ニハ腹線
 十五、雄ニハ腹線
 十六、雌ニハ腹線
 十七、雄ニハ腹線
 十八、雌ニハ腹線
 十九、雄ニハ腹線
 二十、雌ニハ腹線

ヲ示サソ、

頭部、頭ノ形狀ハ種類ニヨリ同シカラズ、頭部ノ前下方ニ口器ヲ有シ、
 上脛、下唇、下唇鬚、整舌、下脛、下脛鬚等ヨリ成ル、或種ニアリテハ前腹線ニ大
 ナル暗色櫛齒狀ノ剛毛一列ヲ有ス之レヲ周口櫛ト稱ス、頭ノ前側面ニハ
 一ツノ深溝アリテ其軸ハ後方ニ至ルニ從ヒテ下降ス、之レヲ觸角溝ト云
 ヒ其内ニ短大ナル觸角ヲ入ル、此觸角溝ハ頭ノ側面ヲ二部ニ分ツ、有眼
 類ニ在テハ觸角溝ノ前縁又ハ前下縁ニ剛毛ヲ有ス、之レヲ眼剛毛ト稱ス
 、其他頭上ニハ數本ノ毛ヲ生ズ、

胸部、三環節ヨリ成リ可動環節ナリ、之レヲ前部ヨリ前胸、中胸、後胸ト呼
 ブ、中胸ト後胸トニ附着シタル「キチン」質ノ側板アリ、而シテ各節ニハ多
 數ノ剛毛ヲ生シ一列又ハ二列ヲナシ、體ハ直角ノ方向ニ配列セラル、或
 種ニ在リテハ前胸ノ後縁ニ櫛齒形ノ剛毛アリ、之レヲ前胸剛毛櫛ト稱ス
 、又或種ニ於テハ中胸及ビ後胸又ハ腹部ニ之レヲ有スルモノアリ、
 腹部、九環節ヨリ成リ、各節ハ又タ背甲ヨリ成ル、背甲ニハ各一列又ハ

二列ノ剛毛ヲ有シ体ニ直角ニ走ル、腹甲ニハ唯單一ノ毛列ヲ有スルノミ、第八背甲ノ後縁ニ一本乃至數本ノ強大ナル剛毛アリ、此部ニ氣門ヲ開ク、第九背甲ハ一種奇異ナル類圓形心臟形ノ變形節トナリ、其部ニハ小圓形体分布シ其中央ヨリ各一本ノ細長毛ヲ生ズ、圓ノ周圍ニモ亦小毛ヲ生ズ、此器管ヲ顆粒板ト稱シ剛毛ヲ尾剛毛又ハ顆粒板剛毛ト稱セラル、顆粒板ハ黑色ノ色素ヲ有スルアリ又之レナキモノアリ一定セズ、顆粒板ノ直後ニハ生殖器(雄ハ陰莖、雌ハ柱)及ヒ附屬品アリ、此附屬器ニ就テハ Rothschild's 氏ハ第九背甲及ビ第十腹甲トノ接着セルモノナリト主張スルモ本來第何節ニ相當スルヤニ就テハ學者各意見ヲ異ニシ未ダ定説ナシ、今之レヲ便宜上固着器ト譯ス、而シテ此固着器ハ不動指可動指及ビ柄ノ三部ヨリナリ、可動指ト不動指ノ關節部ニ近ク在スル剛毛ヲ關節毛ト稱ス、脚、体ニ近カキ部ヨリ基節、大腿節、脛節、跗節ヨリナリ、跗節ハ更ニ五關節ヨリ成リ數多ノ剛毛及ビ毛ヲ有ス、甲ヲ側毛ト稱シ乙ヲ副毛ト稱ス、跗節ノ先端ニハ二個ノ鉤狀爪ヲ有ス、

左ニ本族ニ屬スル主ナルモノヲ述ブルニ當リ便宜上茲ニ四種類ニ大別ス、

- 一、有眼無櫛類、完全ニ發達セル眼球ヲ有シ、前胸及ビ頭部ニ剛毛櫛ヲ見ザルモノ、
- 二、有眼二櫛類、完全ニ發達セル眼球ヲ有シ、前胸及ビ頭部ニ剛毛櫛ヲ有スルモノ、
- 三、無眼二櫛類、眼球ハ不完全ナルカ又ハ僅カニ跟跡ヲ認ムルノミニシテ前胸及ビ頭部ニ剛毛櫛ヲ見ルモノ、
- 四、有眼一櫛類、眼球ハ完全ニ發達セルカ又ハ退化セルモ明カニ共存在ヲ確認シ、前胸ニノミ剛毛櫛ヲ見ルモノ、

一、有眼無櫛類

一、ピュレークス屬 *Pulex*

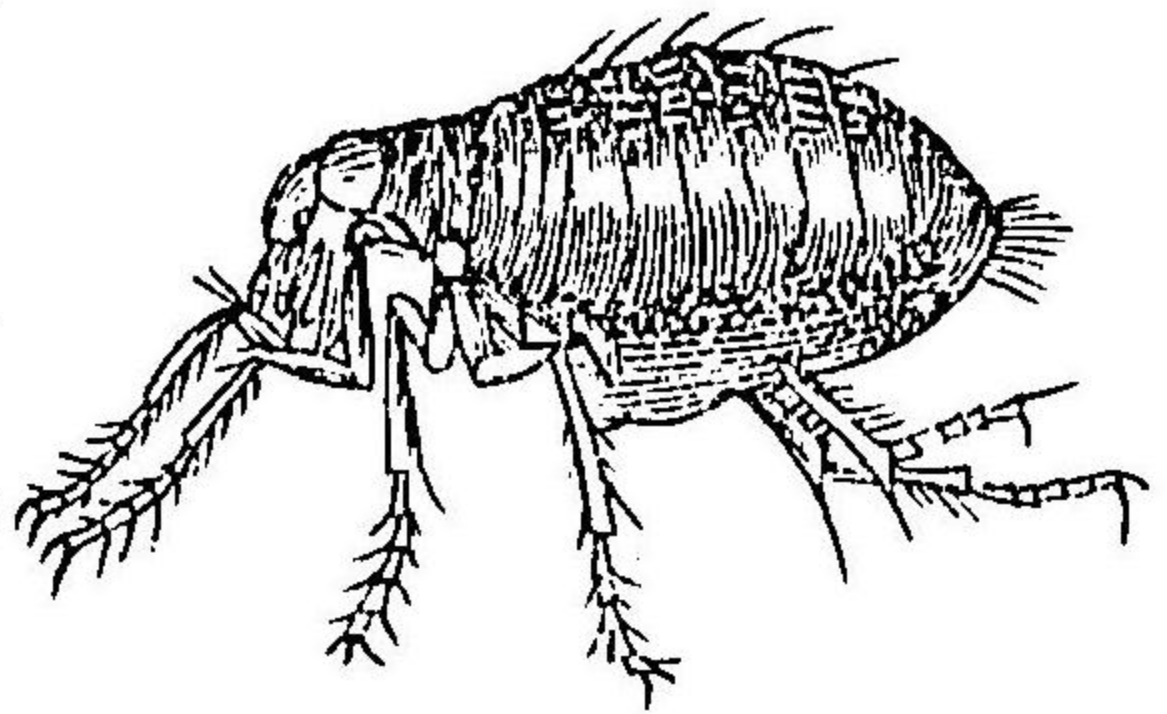
本屬中ノモノハ前頭ニ結節ナシ、觸角溝ハ後端ニ於テ閉子類突起ハ後頭

後下角ノ近クニ達シ觸角溝基部ヨリ頭頂ニ達スル内面ノ肥厚アリ、觸角ノ第二節ハ横ニ長ク後端ニ數本ノ長毛アリ、第三節ハ短カクシテ圓ク、前側ハ實體ヲナシ關節ハ單ニ横線ニ據リテ表ハサルレドモ後側ニ於テハ最初ノ三關節深ク分ケル、眼球ハ大ニシテ上端少シク尖レリ、眼球下ニハ二本ノ剛毛アリ、尙ホ口部ニ一本ノ剛毛ヲ有ス下腮ハ廣ク且ツ短カク吸管ハ上腮ヨリ短カク下腮鬚ハ四關節ヨリ成ル、胸部ノ背甲ハ短カク各後縁ニ一列ノ長キ剛毛ヲ有ス、前胸腹甲ハ先端ニ近キ分部最モ廣シ、中胸腹甲ハ特異ニシテ頗ル狭ク、腹縁ハ傾斜シ基節ノ接着部ヨリ背部ニ向テ走ル棒狀ノ肥厚ヲ見ルコトナシ、後胸ノ上腹甲(腹甲ト背甲トノ間ニ介在スル一節即チ後胸附屬板)ハ腹甲ト明確ニ分ケレズシテ境界ハ唯局處的ノ肥厚ニヨリテ顯ハサル、ノミ、腹部ハ雌雄共ニ背縁腹縁何レモ凸縁ヲナシ第一背甲ニハ二列ノ剛毛ヲ有スレドモ以下ノ背節ニハ唯ダ一列ヲ有スルニ過ギズ第七節ニハ尾縁ニ近ク一本ノ長キ剛毛アリ、氣門ハ大ナリ、第九腹甲ハ棒狀ニシテ彎曲シ上内角尖レリ、陰基支柱ハ數曲施轉ス、

雌ニアリテハ第八背甲ノ氣門上ニ毛ヲ見ルコトナク肛門節ノ腹甲ハ後縁平ニシテ剛毛ハ後縁ニ限ラル、脚ハ能ク發育シ、中脚基節幅狭ク内部棒狀ニ肥厚ス、後脚基節ハ梨子狀ニシテ、長ク且ツ廣ク、内面ノ前部及ビ後部共ニ毛アリテ先端ニ近ク一列又ハ一團ヲナス刺ヲ見ルベシ、前脚及ビ中脚第一跗節ハ第二跗節ヨリモ短カシ、固着器ハ雄ニアリテハ大ナル爪狀物ヲ有シ其内ニ爪狀ヲナス大ナル二突起アリ柄ハ大ニシテ屈曲ス、之ニ屬スル種類一ツアリ、即チ、

一、成虫 二、蛹 三、幼虫(蛆)

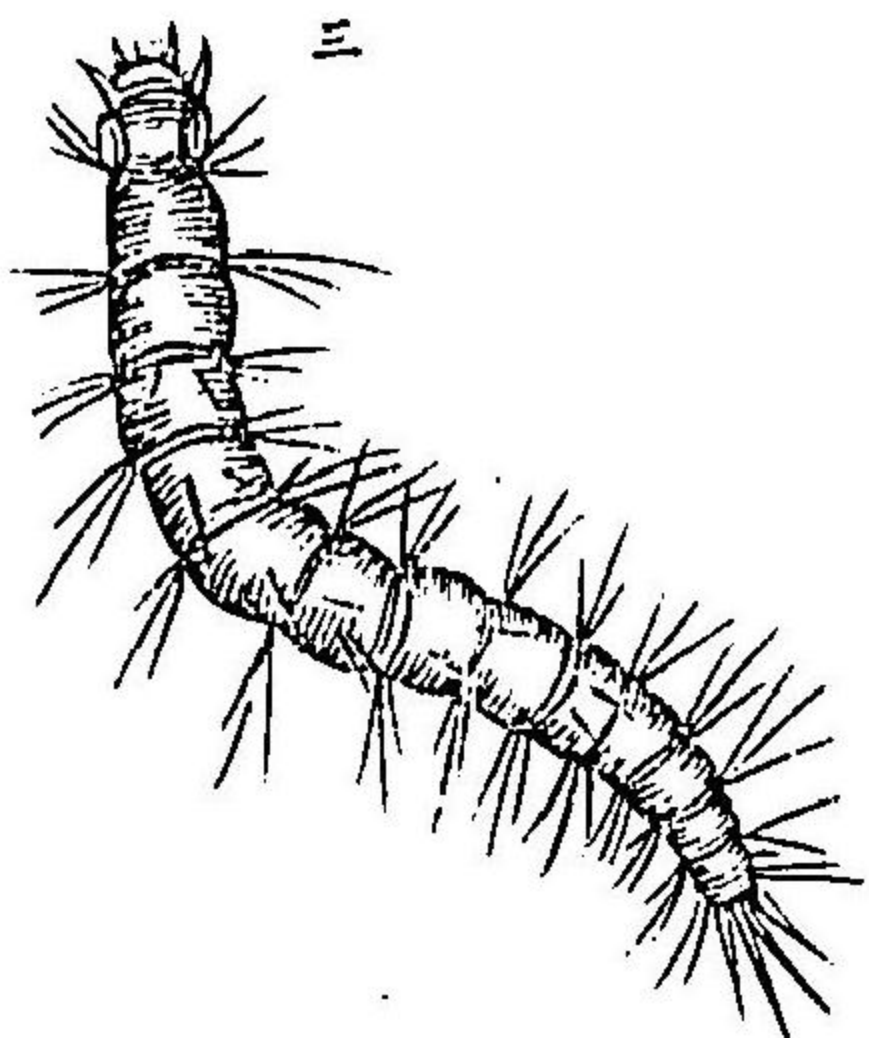
第一〇五圖



ニ

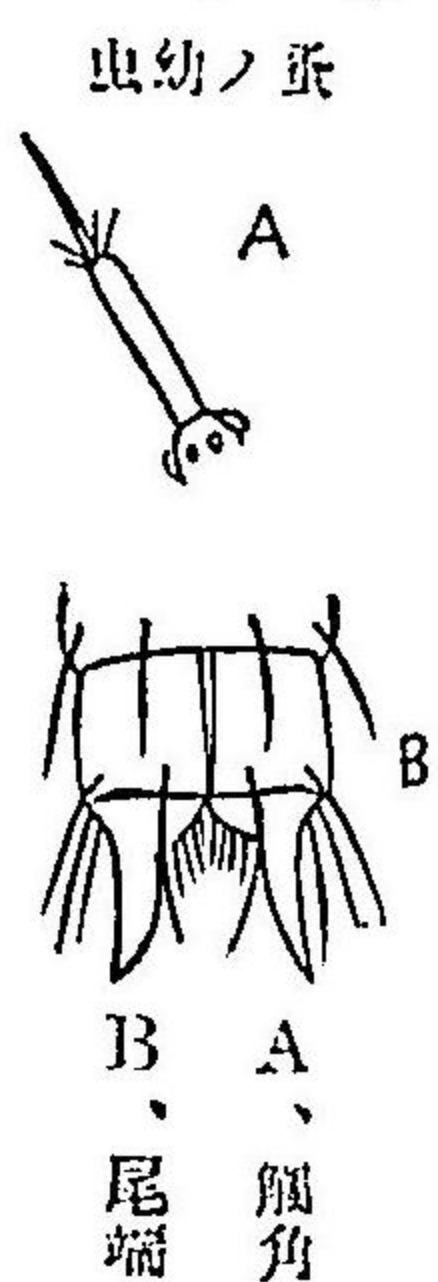


三



一、Pulex Irvitans

第一〇六圖



此ハ全世界共通ノ種類ニシテ人、犬、猫、其他ノ哺乳動物ニ寄生シ亦鳥類ニモ寄生スル事アリ、体色ハ赤褐色ナレドモ吸血シタルモノハ暗褐色ヲ呈ス、体長ハ雄虫ハ一、五mm、雌虫ハ二、mm、乃至四mm、アリ、胸腹兩部ノ背部ニハ後縁ニ一列ノ毛アリ、其數四乃至五本ニシテ氣門ハ最下ノモノト其上ノモノトノ中間ニ位ス、尾剛毛ハ各側ニ一本

六七十個ヲ産ス、卵ノ形狀ハ長卵圓ヲ呈シ其大サ縱徑〇、五mm、横徑〇、〇四mm、ヲ算ズ、其色ハ淡シ而シテ此卵ハ六日乃至八日ニシテ蛆トナリ、十一日ニシテ蛹化シ更ニ凡ソ十一日ヲ經テ成虫トナル、

一、ロエムプシルラ屬 Loempsylla

ロエムプシルラ屬

Loempsylla

属中今日迄知らレタルモノ二十四種アリ内十九種ハRothschil-Id.s.自ラ埃及ビスウダンニ於テ採集記載セラレタルトコロニ據ル

本属中ノモノハ前頭ニハ隆起結節ヲ見ルコトナク頰突起ハ殆ソド全ク觸角溝ヲ閉塞シテ之ヲ前胸腹節ト分離セシメ後端ハ尖レリ、觸角ハ第一節ハ雌ニアリテハ長クレ雄ニアリテハ短ク第二節ハ平ニシテ後縁ニ數本ノ長毛アリ第三節ノ第一小節ハ平ニシテ葉毛ヲ呈シ、全体ハ球狀又ハ長球狀ヲナシ前側ハ全ク實體ニシテ小節區割ノ線條ヲ認ムルニ困難ナレドモ後側ニ於テハ初メヨリ二乃至三個ノ小節ハ深ク切込マレテ分別セラレ、雌ノ觸角溝ハ頭頂ニ達セズ其基部ヨリ頂上ニ至ル内部ノ肥厚ハ痕跡ヲ留ムルノミナルカ又ハ全ク之レナシ、眼球ハ圓ク、一本ノ剛毛ハ口邊ニ一本ハ眼球ノ前方ニアリ共ニ細小ナリ、胸部各背甲ニハ一列ノ剛毛アリ、後胸背甲ノ後縁ニ剛毛櫛ヲ見ズ、中胸ノ上腹甲ハ腹甲ト明確ニ區割セラレ前胸腹甲ハ後縁太シ、腹部ハ雌雄共ニ背腹何レモ凸線ヲ呈シ第七背甲ニハ隆起上ニ位スル一本ノ尾剛毛アリ、脚ハ後脚基節ハ常ニ内面ニ小剛毛棘ノ櫛ヲ有ス、中及ヒ後脚ノ腿節ハ内面ニ一列ノ剛毛ヲ有シ前及ヒ中脚ノ第一跗節ハ第二跗節ヨリモ短シ固着器ハ雄ニアリテハ二個乃至

三個ヲ有シ其柄ハ狹シ、此属中ノモノ其種多シト雖日本邦ニテ發見セラレシモノ左ノ如シ、

Loempysylla (Cheopis-Rothschild, 1908) *Pulex* Cheopis-Rothschild, 1908

此ハ家鼠ニ寄生スル蚤ニシテ其他哺乳動物ニモ寄生ス、体長ハ雄虫ハ、一二mm.乃至一、三mm.雌虫ハ二mm.乃至二、八mm.有リ、頭ノ形状ハ前種属ニ似タルモ吸管ハ前脚基節ノ下端ニ達シ後頭後縁ノ剛毛ハ各側ニ六本アリ、雄ノ觸角ノ第一節ハ後端ニ四本ノ毛アリ、其外ニ七本ノ毛ヨリナル横ノ一列ト尙ホ二乃至三本ノ毛ヲ見ルベク雌ノ觸角ノ第一節ノ尾部突起ニハ其頂上ニ二乃至三本ノ毛アリ、外側ニハ約四本ノ小毛ヲ見ル、胸部ハ各節ノ毛ハ前胸ニアリテハ十三乃至十六本中胸ニテハ十二乃至十四本後胸ニアリテハ十一乃至十二本ナリ、腹部ハ第一背甲ノ第一ノ剛毛列ハ雄ニアリテハ五乃至七本雌ニアリテハ六乃至拾本ヲ數ヘ普通ハ雌雄共ニ六本ナリ、第二列ハ雄ハ六本雌ニアリテハ六乃至十本ヲ算ス、第二節以下各節ニ

於テ毛數ハ左ノ如シ、

	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	第七節
雄	一三—一五	一四—一五	一四	一三—一四	一五—一六	六
雌	一五—二二	一五—二三(普通)	一四—一三(普通)	一五—一三(普通)	一三—一〇	一〇—一六(普通)

雄ノ第八背甲ハ腹縁ニ沿ヒ四乃至五本ノ長毛ヲ有ス、其内ノ二本最も長ク、此外尙ホ數本ノ毛ヲ見ル、第九背甲ハ基部ヨリ頂上マデ漸次ニ太ク上縁ハ殆ンド直線ヲナシ下縁ハ毛ヲ有ス陰莖支柱ハ先端多少上方ニ彎曲シ腹縁ハ間ク上角ハ尖レリ、雌ノ第八背甲ハ後縁ニ沿ヒテ外方ニ十二乃至十六(普通十三)内方ニ八乃至九稀レニ十本ノ剛毛列ヲナシテ存在シ、其外ニ不規則ニ配列セラレタル八乃至十本ノ剛毛ヲ見ル可シ、脚ハ前脚基節ハ三十乃至三十二本ノ剛毛ヲ有シ、後脚基節ノ下部ハ陷凹シテ圓ク後角ハ外面ニ四乃至八本ト下部ニ近ク一本ノ毛ヲ有ス、後脚腿節ノ内面ニ一列ヲナス五乃至九本ノ剛毛アリ、外側ニハ下部ニ近ク二本ヲ見ルベシ、

後脚脛節ハ外面ニ七乃至九本ノ剛毛ヲ有シ、其外二三ノ剛毛ヲ見ル、後脚脛節ノ最モ長キ下部剛毛ハ第一跗節ノ下部ニ近キ隆起ニ達シ、中脚第二跗節ハ第三跗節ノ二倍ノ長サヲ有ス、後脚跗節ニアリテハ第四節ノ幅ノ二倍ノ長サヲ有シ、第二節ノ最長ノ剛毛ハ第五節ノ中央ニ達ス、第五跗節ハ尾部ニ近ククバ僅カニ廣クナリ、前中兩脚ニアリテハ三本ノ尾剛毛ヲ腹面ニ有シ雄ニアリテハ其内ノ外側ノ二本短カクシテ太シ、後脚ニアリテハ雌雄共ニ二本ノ尾剛毛ヲ有シ一本ハ短カク一本ハ長シ、固着器ノ柄ハ其基部ヨリ固着器ノ最長ノ突起マデノ長サヨリモ長シ固着器ニハ二個ノ突起アリ上部ノモノハ多少幅廣ク上縁ハ圓形ヲ帶ビ下縁ハ多少内方ニ彎曲ス、頂上又ハ其近ク存スル剛毛ハ長シ以上固着器ノ形狀ハ本種ノ著シク多種ト異ナルトコロナリトス、

一、有眼二櫛類

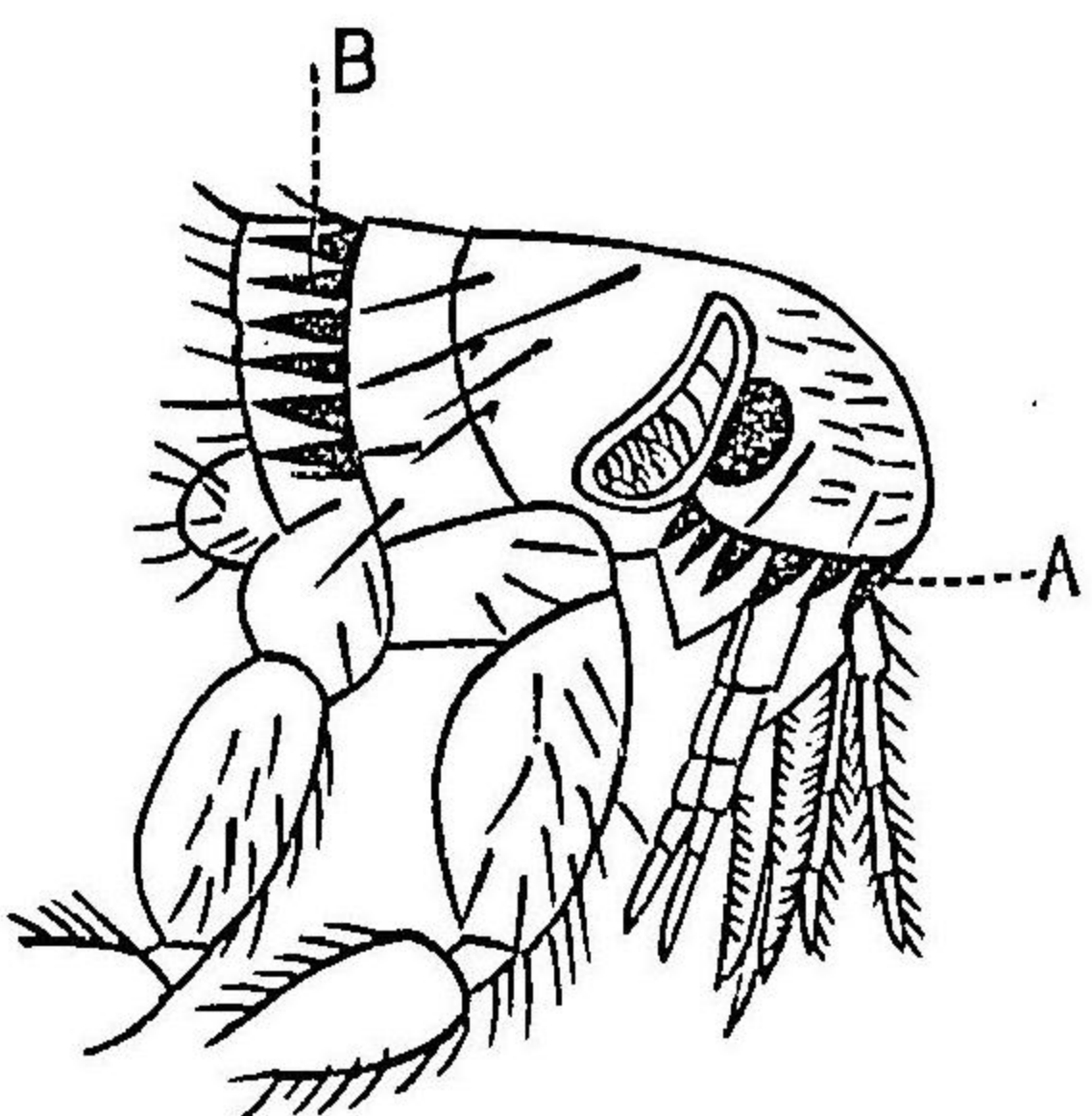
三、クテノセファルス属 *Otenocephalus*

クテノセファルス属

本属ノ特質ハ頭及ビ前胸部ニ剛毛櫛ヲ有スルニアリ、其他眼球、眼剛毛脚ノ形態、尾剛毛ノ性質ハ全ク「ビユレ、キス」属ト異ナラズ、之レニ属スル種類左ノ如シ、

1. *Otenocephalus canis* — Curtis

圖七〇一第
「スニカ、スルアフセノタク」



1、頭部 一、三 m.m. 乃至二 m.m. 雌ハ一、七五 m.m. 乃至二、二五 m.m. アリ、頭形ハ鈍ニシテ短カク觸角溝ハ彎曲シ其後下

半ニ薄キ「キチン」板アリ、其下縁ハ口部ノ剛毛櫛齒ヨリモ遙カニ小サキ齒棘ニ終ル、頭ハ下縁ニ

剛毛櫛アリ其數ハ各側ニ八本(七乃至九本)ニシテ各齒棘ハ基部甚ダ太ク先

端尖リ後方ニ向テ彎曲シ最後ヨリ二番目ノモノ他ノモノヨリモ短カク最後ノモノハ甚ダ短カシ、胸部ハ前胸ニ剛毛櫛アリ其數十六乃至十七本ヨリナル、後胸後縁ニ各側八本ヨリ成ル剛毛櫛アリ、尙ホ後胸ニハ葉狀瓣アリ、ソレニ二列ノ毛アリ其數各列七乃至九本ナリ、腹部背甲ニハ中途ニ各側五乃至六本ノ毛アリ、腹甲ニハ各側ニ二本ノ毛ヲ有ス、尾剛毛ハ一本ニシテ甚ダ太ク其兩側ニ極メテ小ナル一本ヅ、毛ヲ見ル、氣門ハ最後ノ毛ト最後ヨリ二番目ノ毛トノ間ニ位シ、顆粒板ハ黒カラズ、脚ノ形狀ハ「ビュレッキス」屬ニ似タルモ後脚ノ大腿内面ニ一列ヲナセル毛ハ十乃至十三本ヲ有ス、固着器ノ可動指ハ、殊ニ雄ニ於テハ其形稍ヤ圓ク大ニシテ前端ハ平ニシテ其柄ハ長シ、

1) *Otenocephalus Felis*. — Bonche.

此種ハ主ニ猫ニ寄生スト雌モ前種ト同シク其他ノ肉食獸、人鼠等ニ發見セラル、元來本種ハ *C. canis* ト同種類トシテ認メラル、學者多キモ、諸説ヲ

クテノブシラ

綜合シ其差異ヲ舉グレバ、頭ハ銳尖ニシテ長シ、雌ニアリテハ雄ニ於ケルヨリモ甚ダシ、觸角溝「キチン」板ノ下端ノ齒棘及ヒ頭剛毛櫛一齒櫛ハ前種ヨリモ大ニシテ前胸剛毛櫛ハ十七乃至十八本ヨリナリ、腹部氣門ハ前種ヨリモ遙ニ小ナリ、雌ノ腹部第八背甲ノ頂上少シク圓ク、後脚大腿ノ内面ニ於ケル一列ヲナセル毛ハ七乃至十本アリ、固着器ハ雄ノ可動指ノ外表ノ毛ハ前種ヨリモ多ク爪ハ上縁圓形ノ度強ク、柄ハ前種ノ如ク太カラズ、

三、無限二櫛類

四、クテノブシラ屬 *Otenopsylla*. — Baker

本屬中ノモノハ其頭ハ長カラズ、又側壓セラレズ、額ハ急ニ後下方ニ垂下シ、頭頂ハ圓錐形ヲ呈ス、腮部ニ二乃至四本ノ齒棘ヲ見ル、觸角溝ハ頭ノ上縁ニ達シ、眼球ハ *Otenopsylla sibirica* ヲ除クノ外全クナキカ又ハ痕跡ヲ留ムルノミ、其外、頭ノ側面殊ニ其後半部ニ於テ列狀ヲナシテ配列セ

ル數多ノ毛ヲ見ル、胸ハ前胸短カク後縁ニ剛毛櫛アリ、後胸及ビ腹節ニハ之レナシ、脚ハ脛節後縁ノ毛ハ密ニ接着シテ一列ヲナシ櫛狀ヲ呈ス、後脚附節ノ剛毛ハ四對ニシテ外ニ一對ノ副毛アリ、固着器ハ雄ハ固着器ノ後上角ニハ軟毛ヲ見ルコトアレドモ著シキモノ存在スルコトナク可動指ノ關節部ニ近ク孤立スル一本ノ毛アリ、之ニ屬スルモノ如左、

1. *Otenopsylla Musculi*. — Duges

本種ハ本邦ニ於テハ全國ニ互リテ最モ普通ナル鼠蚤ナリ、體長ハ雄ハ一五^m 雌ハ二^m 乃至二五^m アリ、頭ノ前半部ハ圓錐形ヲナシ、上縁ハ殆ソド直線ヲナシ前縁及ビ下縁ハ弧線ヲ呈ス、頭ノ頂上ニ當リテ各側ニ二本ノ能ク發達セル齒棘アリテ大ニシテ黑色ナリ、觸角溝ハ前額ニ並行シテ走り甚ダ深ク陷凹シ後縁ハ甚ダ厚ク中途ニテ著シク屈曲ス、觸角第一節ハ細長ニシテ第二節ハ平ラニシテ其前縁ヨリ數本ノ長毛ヲ生ズ、第三節ハ松毬狀ナリ、下顎ハ短カク先端尖レリ、腮上ニハ四本ノ齒棘アリテ斜

ニ下縁ニ配列セリ、後半部ニハ四列ヲナセル長毛アリ、前半部ニハ觸角溝ニ頗ル長キ三本ノ毛ヨリナル一列及ビ前下端ニ二本ノ長キ毛アリ、其他々ノ前上縁ヨリ額縁ニ並行セル短カキ毛ノ一列アリ、眼球ハ痕跡ノミトナリテ第一口邊齒棘ノ直上ニ在リ、胸部ハ前胸甚ダ短カク後縁ニ各十本ヨリナル剛毛櫛アリ各齒棘ハ長ク且ツ細ク先端ハ尖銳ナラズ、最後ノモノ頗ル短小ナリ、剛毛櫛ノ前方ニ一列ノ毛アリテ六本ヨリナリ最下ノ一本最モ長シ、中胸及ビ後胸ハ甚ダ長ク其上數多ノ毛ヲ密生スルヲ見ル腹部ハ、各節背甲ニハ二列ノ毛アリ、其前列ハ後列ニ比シテ甚ダ短小ナリ、腹甲ニハ唯一列ヲ見ルノミ、氣門ハ前毛列ノ最下ノ毛ノ下部ト後毛列ノ最下ノ毛ト其次ノ毛トノ中間ニ位ス(註)尾剛毛ハ雄ニアリテハ三本ニシテ中央ノモノ能ク發達シ、他ノ二本ノ約二倍ノ長サヲ有シ雌ニテハ四本アリ、其中第二及ビ第四ノ毛ハ能ク發達ス、脚ハ脛節後縁ニハ多數ノ剛毛アリテ一列ニ配列セラル、其外上端中央及ビ下端ニ各一本ノ特ニ著シク發達セル剛毛アリ、脛節外側面ニハ短小ナル一列ノ毛アリ、固着

セラトフィールス属

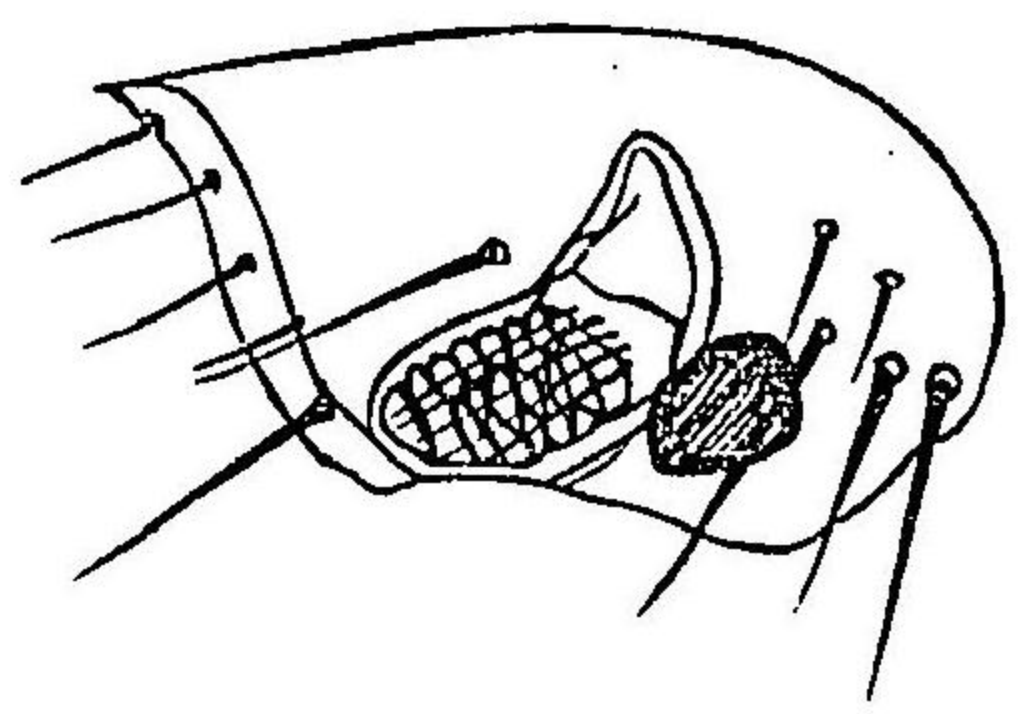
器ハ雄ニ於テハ上縁下縁共ニ圓ク柄ハ長クシテ圓錐狀ニ尖リ著シク彎曲ス、可動爪ノ關節部ニ近ク一本ノ孤上セル長キ剛毛アリ、可動爪ハ薙刀形ヲナシ後縁ハ甚ダシク凸隆シ其上ニ五乃至六本ノ毛ヲ見ル、

四、有限一櫛類

五、セラトフィールス属 Ceratophyllis

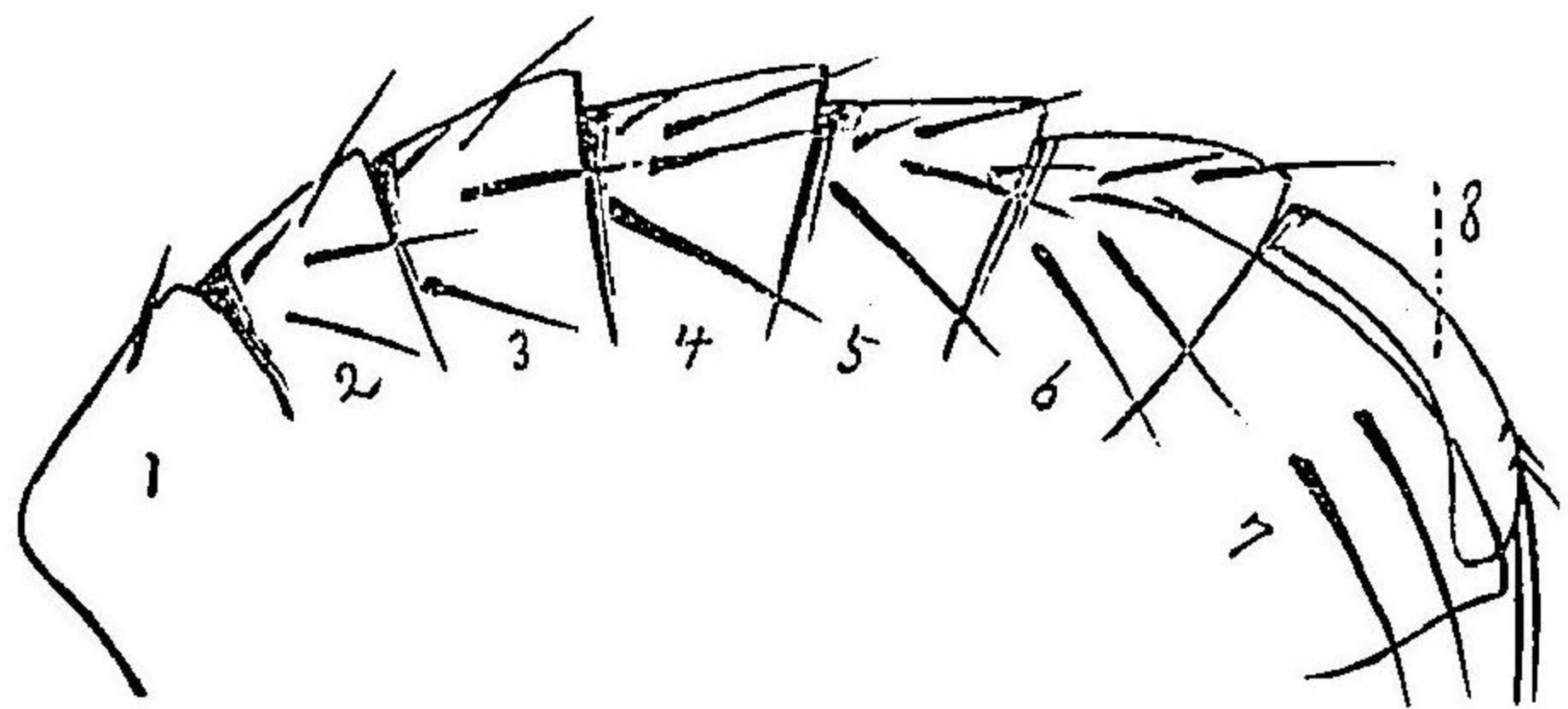
本属ハ頭ニ剛毛櫛ナク頭形ハ雌ニアリテハ後頭ヨリ口先マデ平等ニ彎曲シ、雄ニアリテハ頭ノ上縁ノ曲線ハ後頭ヨリ漸時水平ニ進ミ、後チ急ニ垂下ス、眼球ハ發育シ稍々圓形ヲ呈シ頭ノ下縁ニ多少接近ス、前胸節ノ後縁ニ剛毛櫛アリ、腹部ハ前第四腹節乃至第六腹節ノ背甲ニ小ナル「キチン」質ノ尖刺アリ、尾剛毛ハ雌ニアリテハ二乃至四本アリテ内一、二本ハ著シク強大ナリ、脚ハ甚ダ小ニシテ跗節ニハ五對ノ側毛アリ、固着器ハ關節基部ニ二本ノ剛毛(關節毛)アリ甚ダ長ク後上方ニ向フ、

第一〇八圖



第一〇九圖
「セラトフィールス、アニス」
同(雄)ノ腹甲
第一一〇圖
同(雌)ノ腹甲

第一〇九圖



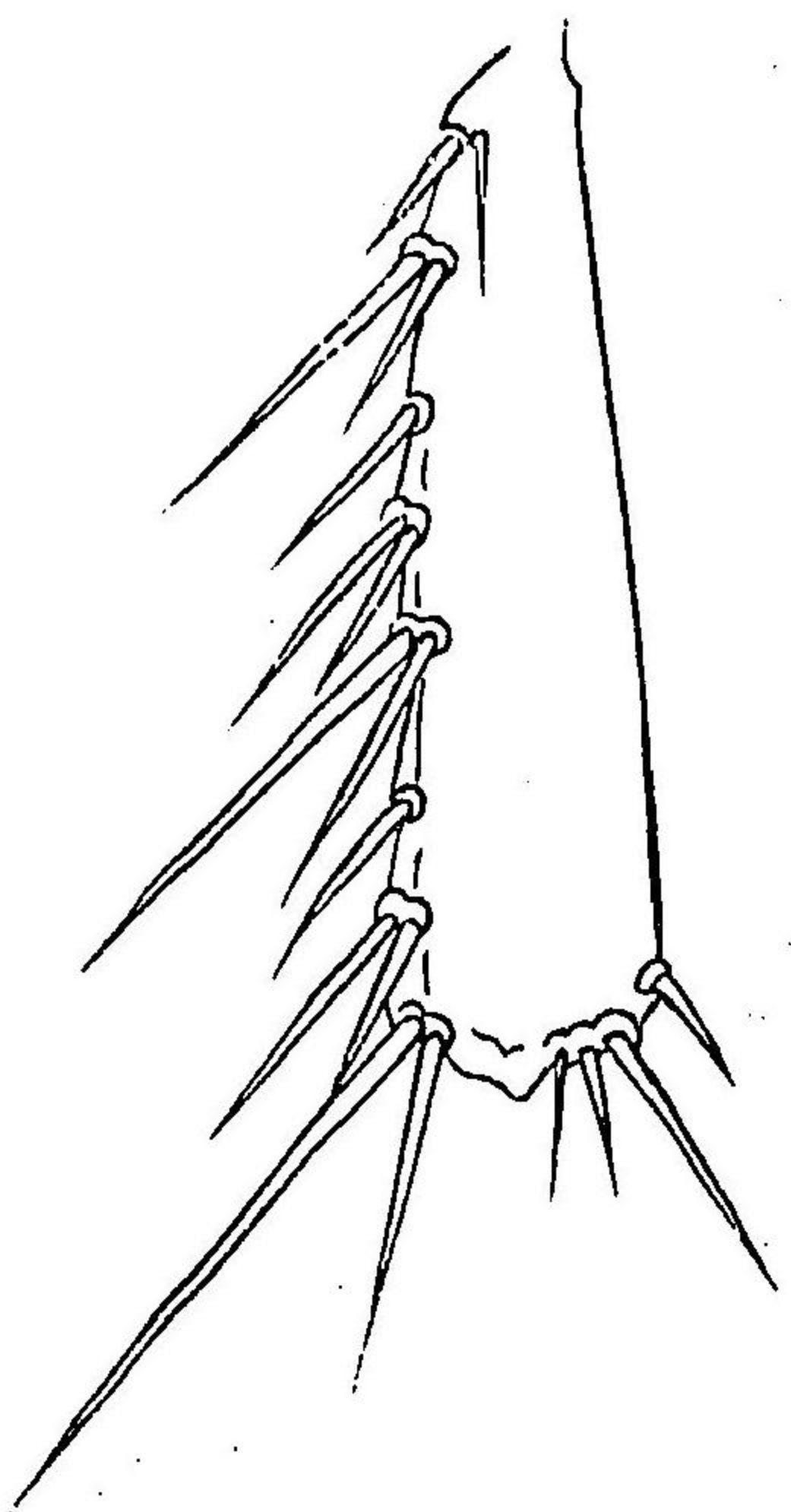
第一一〇圖



1 Ceratophyllis Anisus. - Rothschild.

本種ハ猫類ニ寄生スルモ亦屢々人其他ノ動物ニ寄生ス、体長雄ハ約一、七五乃至二、二m 雌ハ二、二m 乃至二、八m アリ、頭ノ形状ハ「ピユレッキス」属ニ似タリ、觸角ハ第二節ノ後縁ノ毛長クシテ第三節ト稍々其長サヲ同シウス、眼剛毛ハ三本ニシテ、第三剛毛ハ眼球ノ前上位ニ位シ、第二剛毛ハ少シク纖弱ナレドモ他ノモノト甚ダシキ差異ナシ、此眼剛毛列ニ並行シテ、一端觸角基部ニ終ル一列ノ剛毛アリ、雄ニアリテハ六乃至七本ニシテ、其内第三眼剛毛ノ上ニ位スルモノ一本ノミ強大ナリ、雌ニアリテハ僅カニ一本又ハ二本ヲ算スルニ過ギズ、頭ノ後半部ニハ二本ノ剛毛アリ其一本ハ中央部ニ位シ他ノ一本ハ頭ノ後縁基部ニ近ク存在シ何レモ強剛ナリ、頭ノ後縁ニハ四本ノ細キ毛ヲ見ル可シ、胸部剛毛櫛ハ各側ニ於テ九本ヨリ成ル、此剛毛櫛ノ前方ニ五本ヨリナル一列ノ毛アリ、中及ビ後胸ニハ直角ニ走ル一列ノ毛アリ其數四乃至五本ナリ、腹部ハ腹甲ノ毛ハ体軸ニ直角ニ走ラズ雜混シ二列又ハ三列トナリ、尙之等列外ニ毛ノ散在スルヲ見ル可シ、毛ノ數ハ雄ニアリテハ第一腹甲ハ一本ニシテ時トシテ三

第一一圖



第一一圖

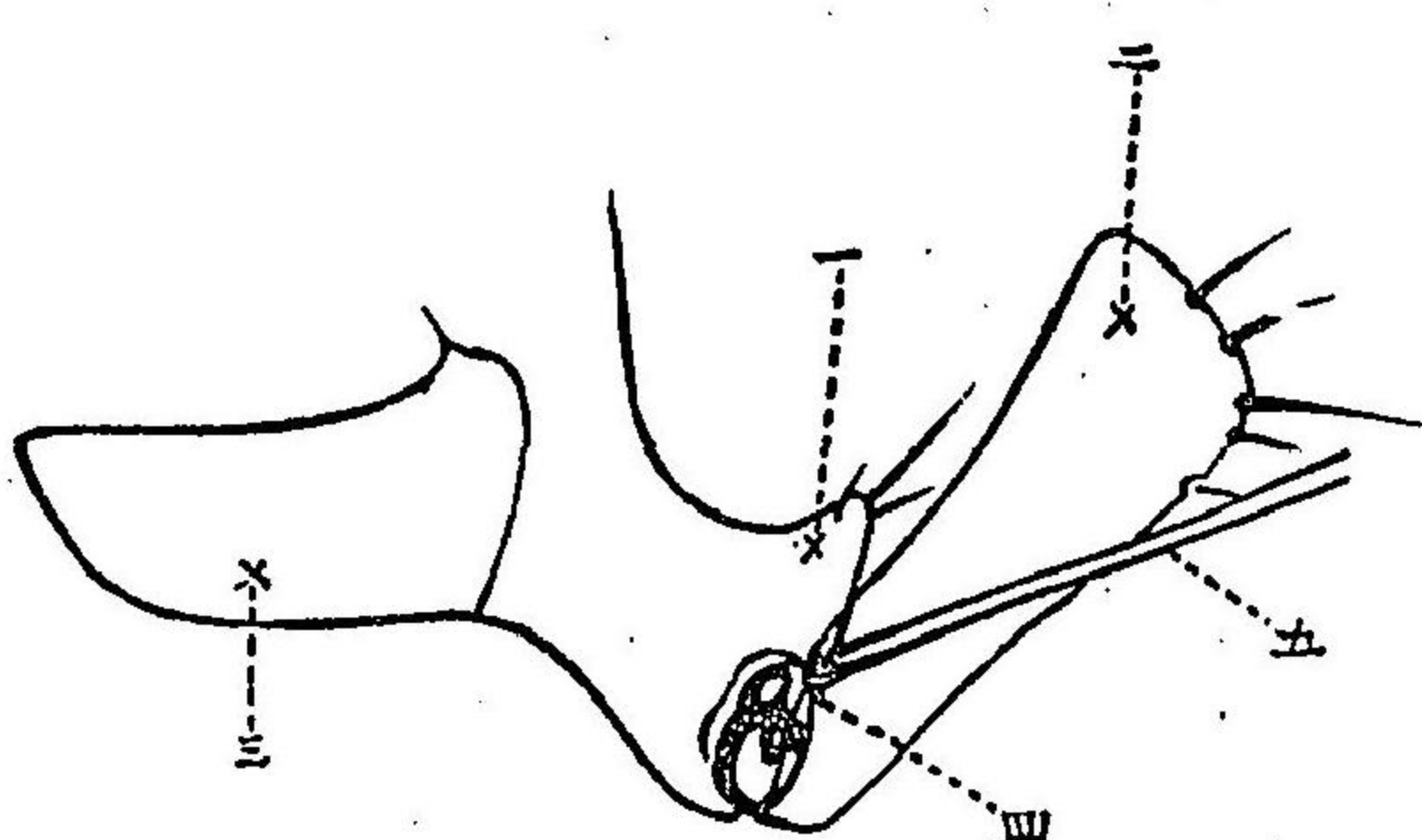
「セラトフィールス、アニッス」ノ後脚脛節

第一二圖

同上 固着器

- 一、不動指
- 二、可動指
- 三、柄
- 四、關節
- 五、關節毛

第一二圖



第八腹甲ノ棍棒
狀チナスハ此種
ノ特徴ノ一ナリ

雌ノ尾剛毛三本
チ有シ中央長ク
他ハ其約二分ノ
一ニ達セサルコ
之レ本種一ノ一
特徴ナリ

本アリ第二腹甲以下第六腹甲ニハ四本時トシテ三乃至五本アリ、第七腹
甲ハ變態シソレニ二本ノ長剛毛アリ、第八腹甲ハ棍棒狀チナシ各側ニ二
本ノ剛毛及ビ小毛アリ、雌ニアリテハ第一腹甲ニハ多クハ一本、第二腹
甲以下第五腹甲ニハ五乃至八本ノ剛毛アリ、第六腹甲ニハ十一乃至十二
本時トシテ十五本ノ剛毛ヲ有ス、(參照)背甲ノ毛ハ雄ニアリテハ第一節ニ
四本、第二節下ニハ六本ヲ普通トス、雌ニアリテハ第一節ニ四本又ハ五本
第二節以下ハ六本又ハ七本ノ場合多シトス、尙ホ第一節ヨリ第六節背甲
ニハ一節五乃至六個ノ「キチン」質小齒棘アリ、尾剛毛ハ雄ニアリテハ唯一
本ニシテ其外ニハ痕跡ヲモ認ムルコト能ハズ、雌ニハ三本アリ、中央最
モ長シ而シテ他ノ二本ハ其二分ノ一ニ過ギズ、陰莖支柱ハ蝸牛殼狀チナ
ス、脚ハ後脚脛節背面ニ五對ノ強剛毛ヲ有シ他ニ三本ノ孤立セル剛毛ア
リ其色黑色ナリ、固着器ハ雄ニ於テハ頗ル殊異ニシテ不動指ハ鋭尖ニシ
テ基部ノ結節甚ダ淺ク、柄ハ甚ダ太クシテ短ク其先端鋭尖ナリ、可動指
ハ其形狀四邊形ニ近ク甚ダ長ク先端ハ不動指ノ頂上ヲ距ルコト遙カニ上

方ニアリ、關節毛ハ二本ヲ有ス、

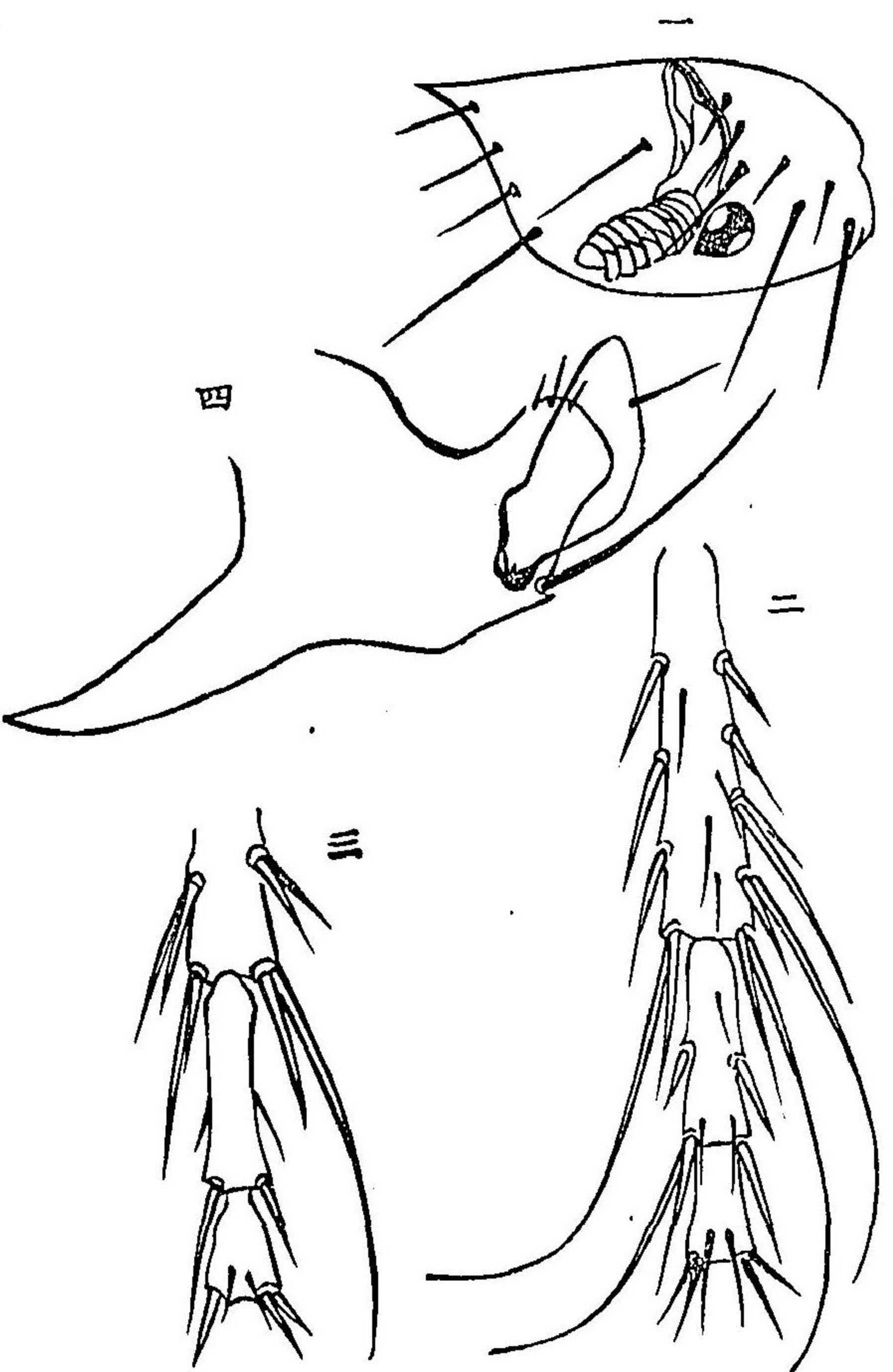
六、パラドキスチブシールス屬 Paradoxopsyllus

Paradoxopsyllus Cruvispinus

パラドキスチブ
シールス屬
宮島醫學博士
兩氏ニ據ル
新屬

本虫ハ家鼠、猫、其他ノ動物ニ寄生ス体長雄ハ一、四 m.m. 乃至一、八 m.m. 雌ハ二、二乃
至二、六 m.m. アリ、頭ノ形狀ハ前屬ノ種類ト同シク、雄ニアリテハ後頭ヨリ
稍ヤ水平ニナシ後チ急ニ垂下シ、雌ニアリテハ頭ノ上縁ノ曲線ハ後頭ヨリ
先端マデ殆ンド平等ナリ、前頭結節ハ著シカラズ、吸血装置ハ前脚ノ基
節ヨリ下ニ達セズ、下脛ハ三角形ヲ呈シ先端ハ尖銳ナリ、下脛鬚ハ細長
ナリ、眼球ハ外形發達スレドモ色素ハ他種ノ如ク充實セズ、眼剛毛ハ三
本ニシテ何レモ強大ニシテ各自ノ間ニ大差ナク第三ノモノハ觸角溝縁ニ

- 本種ノ特徴
- 一、眼球ノ不完全ナルコト
 - 二、固着器關節毛ノ一本ナルコト
 - 三、胸部ニ剛毛櫛ヲ有スルコト
 - 四、跗節ノ毛五對ナルコト



第一一三圖 一「パラドキスチアプシールス、クルプイスビニウス」ノ頭(雄)

- 二同 後脚跗節(雄)
- 三同 後脚跗節(雌)
- 四同 固着器

接シ眼球ノ直上ニアリ、雄ニアリテハ眼剛毛列ト並行シ終リハ觸角溝ニ沿ヒテ一列ヲナセル毛アリ、其數ハ普通四本ナレドモ稀レニ五本ニシテ就中第三眼剛毛ノ上ニ位セルモノハ太シ、雌ニアリテハ眼剛毛列ニ並行セル線上ニ配列セル二本ノ毛ヲ見ルノミ、頭ノ後半部ニハ二本ノ剛毛アリ其一ハ觸角溝ニ近ク中間ニ他ハ後頭下縁ニ近クニ在リ、頭ノ後縁ニハ雄ニアリテハ普通三本ナレドモ稀レニ四本アリ雌ニハ普通四本ニシテ稀レニハ三本ノ毛ヲ有ス、胸部ハ後縁ノ各側ニ九本ゾ、剛毛櫛アリ、就中終リヨリ二本ハ常ニ他ノ七本ヨリ小ナリ、尙剛毛櫛ノ前方ニ一列ノ剛毛アリ、其數五本アリテ最下位ノモノ甚ダ太ク且ツ長シ、中胸及ビ後胸ノ後縁ニハ各四本ノ毛ヲ生ズ、稀レニ五本ヲ生ズ、脚ハ第二、第三跗節ノ剛毛ハ甚ダシク他ノ種類ト區別セラル、トコロニシテ、雄ニアリテハ第二跗節ノ最下及ビ上部ノ剛毛三本ハ著シク長クシテ第三跗節ノ約二倍ニ達シ、第三跗節最下ノ剛毛ノ一本モ亦長クシテ第四跗節ノ約二倍ノ長サヲ有シ各甚ダシク彎曲ス、雌ニアリテハ雄ノ如クナラズ唯ダ第三跗節最下

ノ剛毛ノ一本ニコノ性質ヲ認ムルノミ(種圖參照)跗節ノ毛ハ五對ノ側毛ヲ有ス、腹部ハ腹甲ノ毛ハ雄ニアリテハ第一節ニハ一本ヲ、第二節ニハ三本又ハ二本ヲ、第三乃至第六節ニハ三本ヲ稀レニハ二本又ハ四本ヲ、第七節ニハ二乃至四本ヲ見ル、雌ニアリテハ第一腹甲ニハ一本其他ニハ三本又ハ四本アリ、背甲ニハ雌雄共ニ第一節ニ四乃至五本ヲ第二乃至第五節ニハ六本ヲ第六節ニハ五本ヲ普通トス、而シテ第一節ヨリ第四節又ハ第五節ニ至ル各背甲ニ「キチン」質ノ小齒棘アリ、第二節以下ニテハ各側一個ヲ普通トシ、第一節ニハ二個アルヲ多シトスレドモ稀レニ三個ヲ見ルコトアリ、雄ノ第七背甲ハ著シク大キクシテ十七本ノ剛毛其上ニ茂生ス、第八腹甲ハ雌雄共ニ細長ナル莖ヲ有シテ突出シ、屈曲シテ乙字狀ヲナス、其上部ニ小毛十數本ヲ生シ尙四本ノ剛毛アリ就中二本ハ長クシテ著シク彎曲ス他ノ二本ハ短シ、尾剛毛ハ雄ニアリテハ二本ヲ有シ上位ノモノ短カク下位ノ約二分ノ一ナリ、雌ハ三本ヲ有シ、下位ノモノ少シク短カク、上位ノモノモ短カク中位ノモノ、約二分ノ一ナリ、陰莖支柱ハ一回轉セ

ルノミニシテ蝸牛殼狀ヲナサズ、固着器ハ不動指ハ幅廣クシテ大ナリ、可動指ハ三角形ニシテ不動指ヨリモ甚ダシク大ナラズ、關節毛ハ一本ニシテ後上方ニ向フ、柄ハ鋭尖ニシテ短カシ、以上各種ハ本邦ニ發見セラル、モノナルモ尙ホ外國ニ於テ發見セラルル主ナル種類ハ左ノ如シ、

- 一、*Ceratophyllus fasciatus*.—Bosc
- 二、*Ceratophyllus mustelae*.—Wagner
- 三、*Ceratophyllus londoniensis*.—Rothschild
- 四、*Ceratophyllus consimilis*.—Wagner
- 五、*Ceratophyllus lagomys*.—Wagner
- 六、*Ceratophyllus penicilliger*.—Grube
- 七、*Ceratophyllus pinnatus*.—Wagner

以上各種ハ歐洲ノ鼠種ニ發見セラル、モノナリ、

八、*Ceratophyllus sexdentatus*.—Paker

本種ハ Baker's.ノ 亞米利加ニ於テ Woodrat.ヨリ採集セルモノナリ、

九、*Ceratophyllus galinae*.—Schrank

此種ハ固着宿主ハ鳥類ナルモ又鼠種ニ發見セラル、

一〇、*Ceratophyllus californicus*.—Baker

本種ハ Baker's.ノカリフォルニアニ於テ野鼠ヨリ採集セルモノナリ、

一一、*Ctenopsylla taschenberge*.—Wagner

之レハ兔及ビ鼠種ニ發見セラル、

一二、*Ctenopsylla alpina*.—Baker

之レハ亞米加利ニ於テ Mounta ranヨリ採集セラレタルモノナリ、

一三、*Ctenopsylla gallinacea*.—Westwood

此種ハゼーロン、フロリダ、印度、獨領東亞弗利加地方ニ於テ最も多クニ
鶏發見セラル、其他鴨、鳥、馬、犬、猫、犢、牛、及ビ鼠類ニ發見セラル、

一四、*Rhinchoption penetrans*.—Linnaeus

之レハ人及ビ諸哺乳類ニ寄生ス、

一五、*Argopsylla rhynchopsylla*.—Tiraboschi

之レハ Tiraboschi's.ノ 伊太利諸地方ニ於テ鼠ヨリ多ク發見セラレタルモノナ
リ

一六、*macropsylla hercules*.—Rothschild

之レハ Rothschild's. ノタスマニアニテ鼠ノ一種ニ發見セラレタルモノニシテ之レガ爲メ氏ハ新屬ヲ作レリ

Typhlopsylla agyres—Heller

之レハ英吉利及ヒニユー、アレキサンドリアニ於テ鼠類ニ發見セララル、

蚤ノ患害

蚤ノ患害 蚤ハ皮膚ヲ刺戟シ、血液ヲ吸收シ、動物ハ爲メニ安逸スル能ハザルノ患害アルニ止マラズ、恐ルベキ傳染病毒ノ媒介者タルコトハ夙ニ世人ノ知ル所ナリ、カノ恐ルベキ人類「ペスト」菌ハ實ニ蚤類ニシテ殊ニ *Loempsylla Cheopis*, *S. Pulex Cheopis*. ハ其中間寄生主ナリト云フ、而シテ蚤ノ胃ハ「ペスト」菌ノ發育所ニシテ其糞ハ菌ノ運搬物トナル、抑モ蚤其他ノ昆虫類ハ習慣上皮膚刺戟、吸血又ハ採食後其上ニ排糞スルモノニシテ、其糞中ニハ幾多ノ菌存在シ、ソレヨリ宿主ヲ侵スモノニシテ創傷ノ何カニ小ナリト雖ドモ菌ハ容易ニ侵入スルモノニシテ、加フルニ蚤ノ皮膚ヲ刺

整スルヤ痒覺ヲ發スルヲ以テ爲メニ其部ヲ爬搔シ創傷部ヲ増加セシメ菌ノ侵入部位ヲ廣カラシメ、尙ホ糞塊ヲ皮膚及ビ創傷ニ塗擦スルガ如ク倍々菌ノ侵入ヲ容易ナラシム、又偶然ニ刺針ニ附着セル菌ヲバ吸血ノ際皮膚中ニ挿入シ、或ハ又唾腺又ハ咽喉部ニ菌ノ存在スルコトアリテ刺整ノ際唾液ト共ニ注射セラレ、或ハ又皮膚ノ菌体吸引ニヨリ傳染スルモノナリト云フ、

蚤ノ驅除法

蚤ノ驅除法 清潔法ヲ第一トス 何トナレハ蚤類ノ幼虫發育場ハ糞埃

中ナルヲ以テナリ、故ニ糞埃ヲ燒却スベク、家鼠ノ撲滅法又必用ナリ、

驅除劑トシテハ除虫菊粉ノ散布、水銀劑、砒石劑、偏陣ノ應用亦効アリ、

鼠ノ驅除トシテハ從來亞砒酸「ストリキニーチ」等ノ應用普通ナルガ如シ

、然レモ動モスレバ人ニ危險ヲ及ホスコトアリ、有効ニシテ且ツ人ニ危

險ナキハ「ズルフォナル」ノ應用ニシテ左ノ處方ニヨリ鼠ニ與フルルハ鼠

ハ好ムデ之ヲ食シ食後早キハ三分、後キモ十二三分時ニシテ麻醉シ遂ニ斃

死ス、處方、

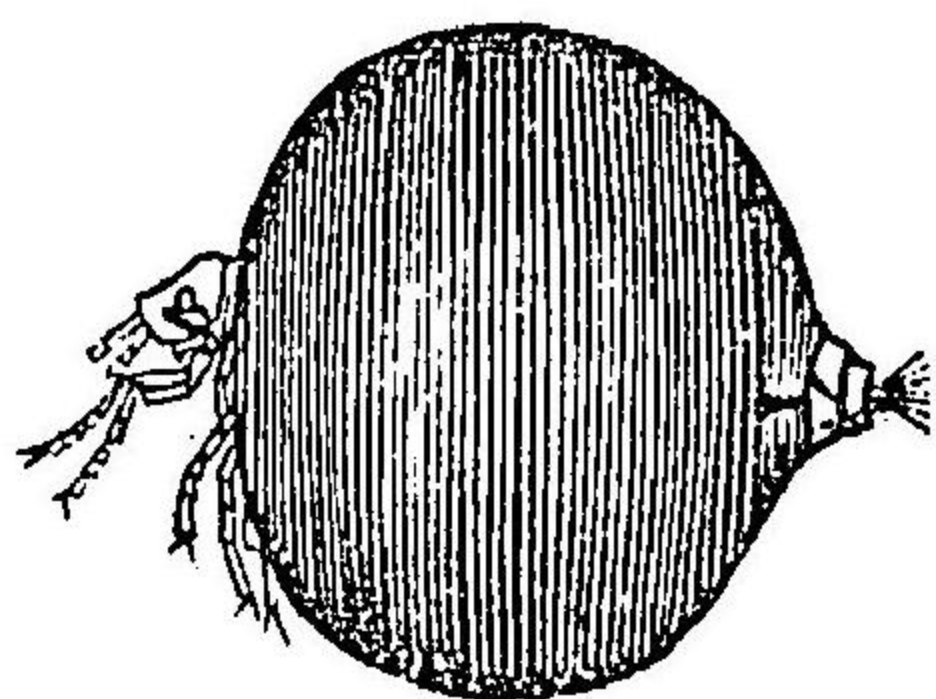
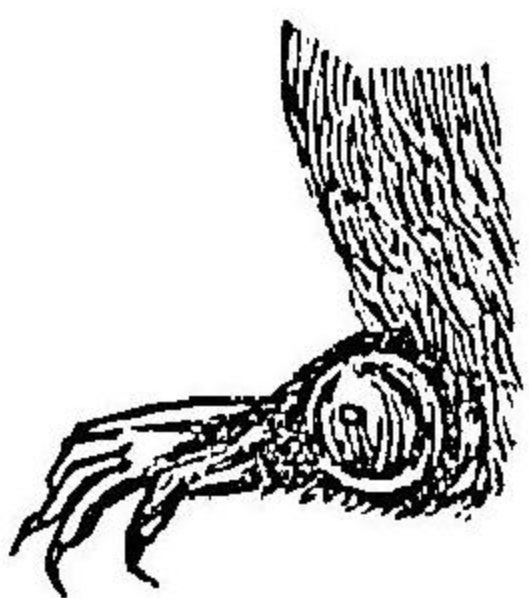
サロコプシラ
穿孔性蚤類

【ズルフオナル】 三、〇
 小 麥 粉 一、〇
 麩 粉 四、〇
 單 舍 利 別 適 宜
 右混和十個ノ丸劑ヲ作り適宜ノ場所ニ散置スベシ

族 穿孔性蚤類 *Sarcopsylla*

本族中ノモノハ人畜ノ皮下ニ頭部ヲ穿入シ吸血ス、吸血後ハ永ク宿主体ニ在ラズ去リテ自由ニ生活ヲナス、本邦ニテハ未ダ發見セラレズ、之ニ屬スル主ナルモノ左ノ如シ、

第一一七圖
(蚤 砂)



1 *Sarcopsylla penetrans*

(砂蚤或ハニグア)
此ハ体長一乃至一二mm.アリ、

体ハ茶褐色ナリ、雄虫ハ寄生セズ、雌虫ハ交尾後人、牛、馬、驢、山羊、羊、犬、猫、豚等ノ肢端ノ皮膚ニ其頭部ヲ穿入シ吸血ス、之レガ爲メ患部ハ壞疽ニ陥ル、本虫産卵後ハ自然ニ死ニ至ルモノニシテ約六十個ヲ産卵ス、卵ハ地中及ビ木中ニ在テ幼虫トナル、中央及ビ南亞米利加ニ多ク發見セララル、

1 *Sarcopsylla galinacea*

本虫ハ前種ニ類シセイロン島及ビコロンボノ家鶏ニ發見セララル、
 以上二種ノ療法トシテハ烙鐵、水銀劑、沃度劑等應用セララル、

目 有吻類 *Pelynochota*

口ハ吻狀ニシテ普通關節ヲ有シ吸收若クハ刺螫ニ適ス、二對ノ翅ハ同形若クハ不等ニシテ又全ク之レヲ欲クモノアリ、前翅ハ自在ニ動キ稀ニ癒着セルモノアリ、變態ハ不完全ナレドモ介殼蟲ノ如ク稀レニ完全變態ヲナスモノアリ、

小目 無翅類 Aptera

本類ノ口器ハ伸縮ニ適セル肉狀ノ口吻ニシテ吸收ニ適スルモノアリ、又倒鉤ヲ有シ自在ニ突出シ得ル所ノ吻即チ下唇及ビ其内ニ在ル上腮及ビ下腮ノ合着シ成レル針ヨリ成ルモノアリ、觸角ハ三乃至五關節ヨリナリ、頭頂ニ唯一對ノ單眼アルノミ、翅ハ全ク缺如ス、變態ハ不完全ナリ、

頭類

族 虱類 Pediculidae

本族中ノモノハ体長ク腹部ハ七乃至九環節ヨリナリ、第二環節ノ兩側ニハ各一個ノ氣門ヲ有ス、頭部ニハ二個ノ單眼ヲ具フ、觸角ハ五節ヨリ成ル、脚ノ終端ハ鉤狀ヲナセリ、前跗節ハ二節ナリ而シテ体面ニ毛ヲ生ズ、一雌能ク三十個乃至五十個ノ卵ヲ産ズ、卵ハ橢圓形ニシテ一端ニ蓋ヲ有シ幼虫生ズルレ之ヲ開キテ外出ス、卵ハ寄生主ノ毛髮、人ノ衣服ニ膠着ス

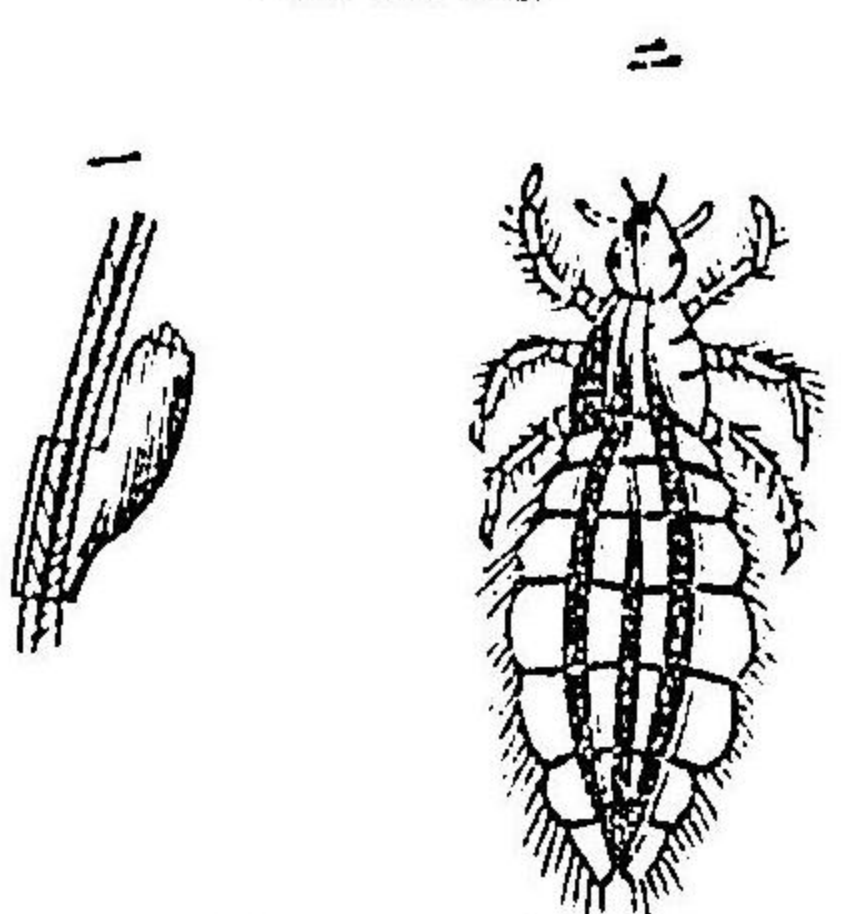
「ペヂクルス」屬

一、ペヂクルス屬 Pediculus

之ニ屬スル主ナルモノ左ノ如シ、

1. *Pediculus capitis* (人頭虱)

第一一八圖 (人頭虱)



一 此ノ雄虫ノ体長一乃至一五m.m. 雌虫ハ一八乃至二二m.m. アリ、人ノ頭髮ニ寄生ス、体色ハ人種ニヨリ異ナレリ、即チ白人ニ在テハ淡黄ニシテ体縁ハ黒ク、黒人ニ在テハ全体ニ黒ク、黄人及ビ米國土人ニ在テハ黄褐色、エスキモーニ

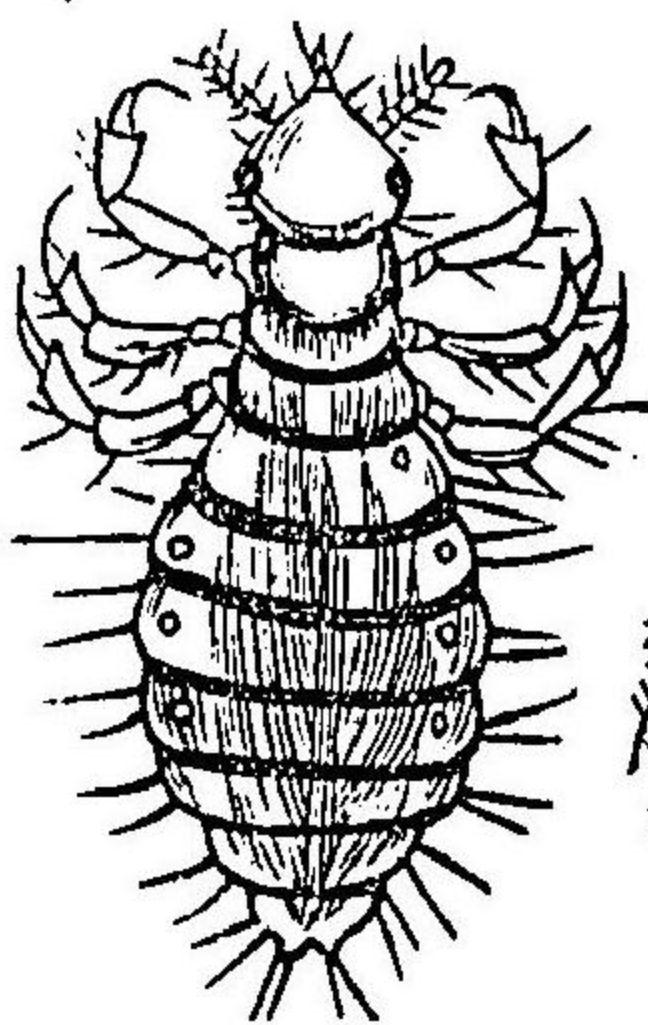
在テハ白色ナリト云フ、本邦人ノ其モノハ帶黄白色ナリ、腹部ハ八環節ヨリ成リ中央ノ六環節ニ各々一對ノ氣孔ヲ有ス、胸部ノ横徑ハ凡ソ腹部ト同一ナリ、頭ハ殆ンド三角形ヲ呈シ其胸部ニ接續スル部分ハ頸狀ニ縁レアリ、毛髮ニ粘着セル卵子ハ大サ約〇.六m.m. アリ一母虫ハ凡ソ五十個ノ

卵ヲ産ズ、幼虫ハ孵化スルノ後約十八日ヲ經テ成長ヲ卒ヘ生殖ヲ始ム、頭虱ハ全世界ニ播布シ人ノ老若ヲ問ハズ其頭部ノ毛髮アル所ニ寄生スルヲ以テ常トスト雖此亦時トシテ其他ノ有毛部ニ寄生ズルコトアリ、

一、*Pediculus vestimenti* (衣虱)

此種ハ通例單ニしらみト稱ス、其体形ハ前種ニ近似スト雖此稍ヤ大ナリ、体長ハ二乃至四m.m.アリ、口部ハ刺針ヲナス、体色ハ常ニ白灰色ニシテ吸血シタルモノハ体ノ中央線黑色ヲ呈ス、腹部ハ其幅胸部ヨリモ廣シ、腹部環節刻ハ前種ノ如ク深カラズ、卵ハ長橢圓形ニシテ長サ凡ソ〇.八m.m.アリ、一母虫ノ産卵數ハ六十乃至七十個ナリトス、常ニ群聚シテ衣服殊ニ膚衣ノ縫目ナドニ附着セリ、此虫ハ人類ノ軀幹ノ皮膚面ニ密着セル衣類ニ住ス、全世界殆ンド分布ス、然レ此

第一一九圖 (虱衣)



衣虱

唯ダ極北及ビ熱帶地方ニハ之ヲ見ズト曰フ、

三、*Pediculus Erygaster* (猿ノ虱)

此ハ人類ニ寄生スル虱ト大同小異ナリ、

ハマトーピナス屬 *Haematopinus*

本屬中主ナル種類ヲ舉グレバ左ノ如シ、

一、*Haematopinus macrocephalus* (馬ノ虱)

二、*Haematopinus emysterus* (牛ノ頭短頭虱)

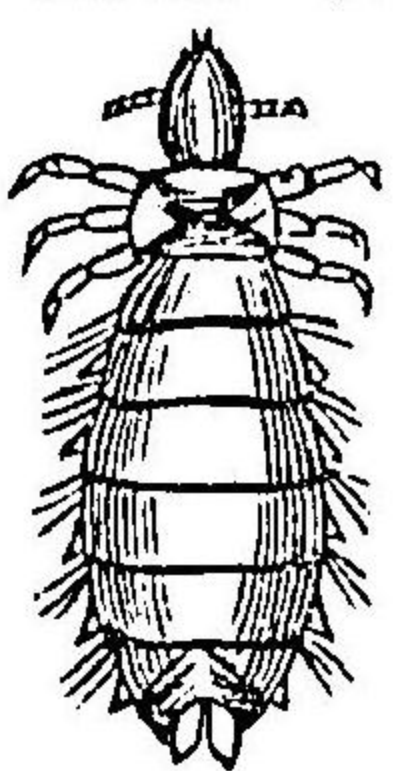
三、*Haematopinus tenuirostris* (牛ノ長頭虱)

四、*Haematopinus stenopsis* (山羊ノ虱)

五、*Haematopinus cameli* (駱駝ノ虱)

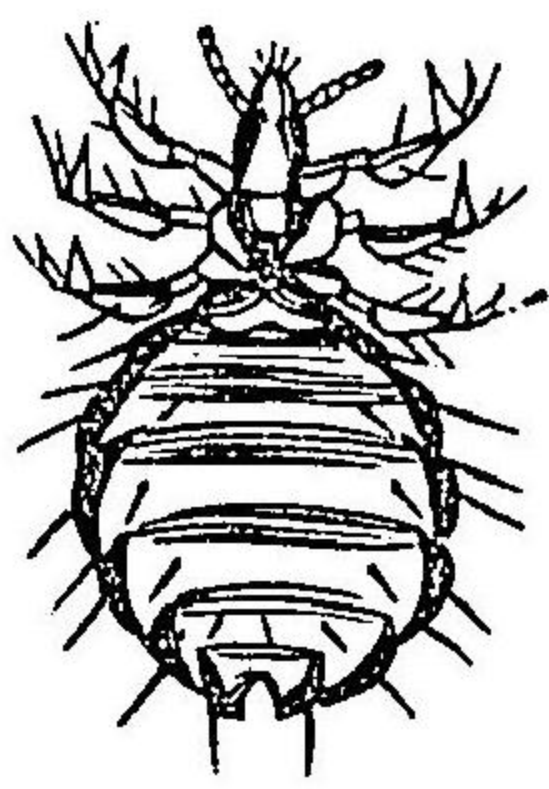
六、*Haematopinus piliberus* (犬ノ虱)

第一二〇圖 (牛ノ長頭虱)



七、*Haematopinus ventricosus* (兔ノ虱)

圖一三一第 (虱ノ豚)



以上七種ハ体長凡ソ二乃至三 m.m. アリ、体形ハ人ノ虱ニ似タリ、唯口部吻状ヲナシ、体形稍ヤ圓形ヲ呈スルノミ、

八、*Haematopinus suis* (豚ノ虱)

体ハ扁平ニシテ頭ハ長楕圓形ヲ呈ス、胸部ハ四角形ヲ呈シ腹部ハ膨大稍ヤ圓形ヲ呈ス、体長三乃至四 m.m. ヲ算ス、色ハ帶黃褐色ナリ、家畜虱中最大ナリ、

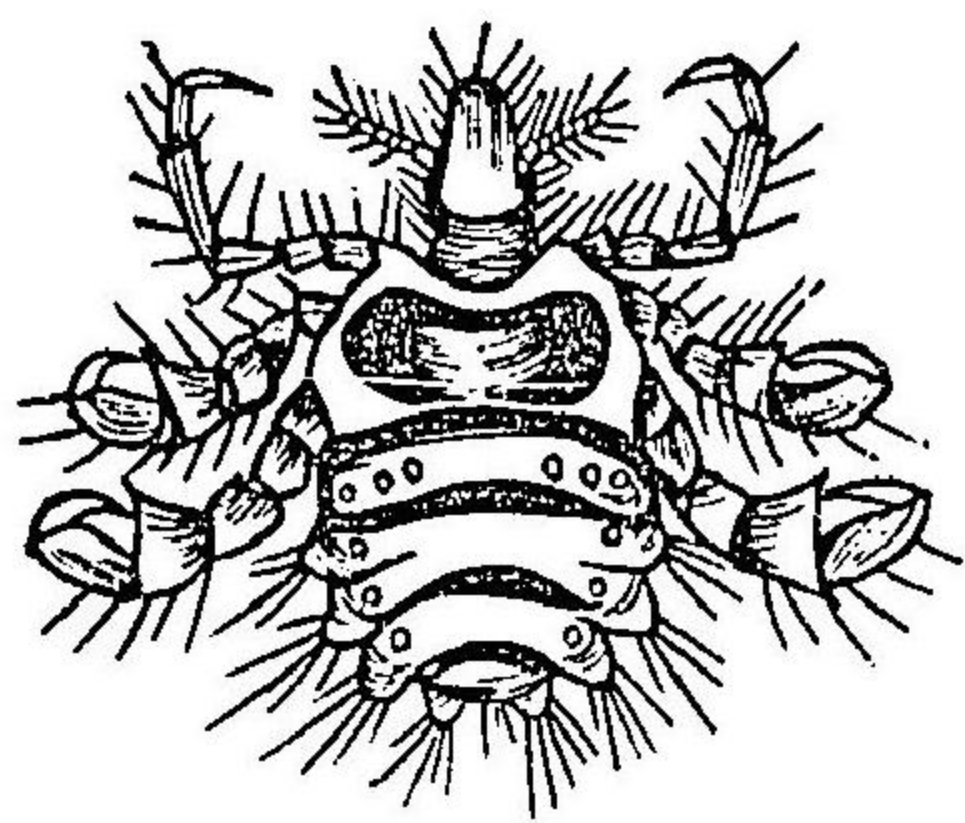
族 毛虱類 *Phthiridae*

本属ニ一属一種アリ、左ノ如シ、

一、*Phthirus inguinalis* (人ノ毛虱)

毛虱類

圖二二一第 (虱ノ人)



本虫ノ体長ハ雌ハ凡ソ一、二 m.m. 雄ハ〇、八乃至一、〇 m.m. アリ、体ハ方形ニ近ク、黄灰色又ハ白灰色ヲ帶ブ、胸腹ノ分界ハ稍ヤ不分明ナリ、第一對脚ノ末端ニ在ル鉤ハ小ナレモ他ノ二對脚ニ在ル鉤ハ非常ニ大ナリ、腹ハ九環節ヨリ成リ其中六節ハ各一對ノ氣孔ヲ具フ、胸部前方ニ尙ホ氣孔一對ヲ有ス、

本虫ノ成熟シタル一母虫ハ凡ソ十個ノ卵ヲ産ス、卵ハ梨子狀形ニシテ列ヲナシ毛ニ附着ス、其大サ長徑ハ〇、八乃至〇、九 m.m. アリ、毛虱ハ陰毛胸毛腋毛等ヲ其常居トス、時トシテ亦鬚或ハ眉毛ニ見ルモ頭部毛髮ニハ寄生セズ、虫ハ吸血ニ際シ或ハ其居所ノ動亂セラル、トハ頭ヲ以テ、皮膚中ニ穿入シ固ク咬着ス故ニ除去スルコト容易ナラズ、本種ハ廣ク世界ニ播布セリ、其移行スルハ之ヲ有スル人ノ体若シハ衣服ト密接スルニヨル又往々湯屋共同便所ニ落チ在リテ人ニ移ルコトアリ、

羽虱類

「ヒロプテラルルス」

「トリコデクチス」

族 羽虱類 *Ricinides*

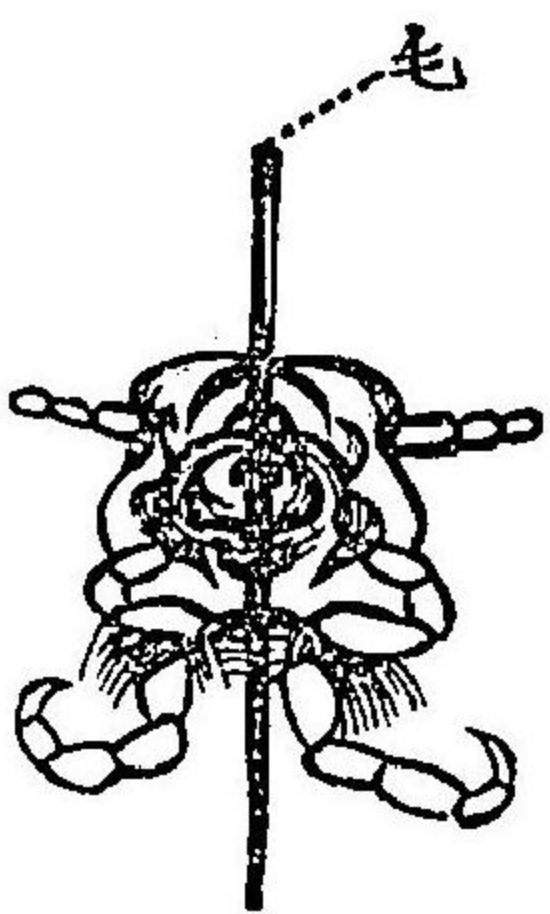
小族 ビロプテラルルス族 *Philopterus*

一、トリコデクチス属 *Trichedeetes*

本族ハ哺乳動物ニ寄生スルモノニシテ頭部扁平、觸角ハ三關節ヨリナル、主ナルモノ如左、

一、*Haematopinus stenopsis* (Capitis.) (山羊ノ虱)

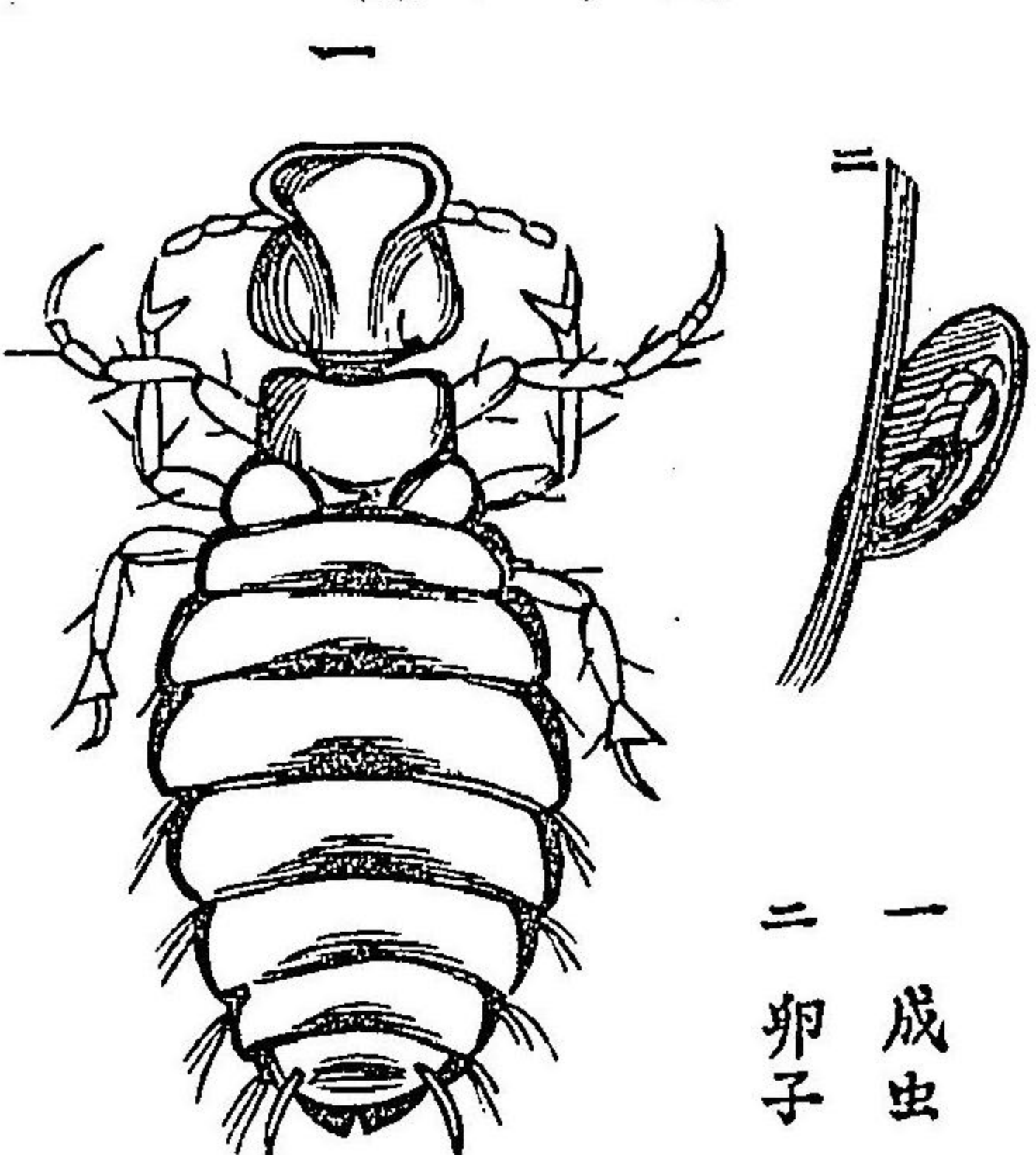
第一二一三圖 (山羊ノ虱ノ口部)



部ハ橢圓形ニシテ九環節ヨリナリ其中七節ハ各一對ノ氣孔ヲ有ス、

本虫ノ体長一、五乃至二m.m.アリ、体色ハ黄白ナリ、頭ハ殆ソド方形ニシテ二個ノ眼点ヲ有ス、觸角ハ三關節ヨリ成ル、口部ハ上腮鎌狀トナリ咀嚼スルニ適ス、胸部ハ方形ヲナシ、腹部ハ橢圓形ニシテ九環節ヨリ成ル、

第一二四圖 (山羊ノ虱)



一 成虫
二 卵子

本虫ノ成熟シタル一母虫ハ數十個ノ卵ヲ産ズ、卵ハ橢圓形ニシテ列ヲナシテ毛ニ膠着ス、其大サ長徑〇、八乃至〇、九m.m.アリ、色ハ灰白色ナリ、本虫ハ毛中深く潜在シ、皮膚ヲ刺戟シ漿液ヲ吸收シ皮垢ヲ食トナス、其居所動亂セラル、ホハ堅ク毛ニ咬着スルガ故ニ除去ス

ルニ困難ナリ、

一、*Trichodectes shacrocephalus*

此ハ羊ニ寄生ス、雄虫ノ体長一、四m.m.雌虫ニアリテハ一、七m.m.アリ、其体形ハ山羊ノ虱ト大同小異ナリ、

三 Trichodectes pilosus

此ハ馬、驢等ニ寄生ス、雄虫ノ体長一六 m.m. 雌虫ニアリテハ一、九 m.m. アリ、

四 Trichodectes parumpilosus

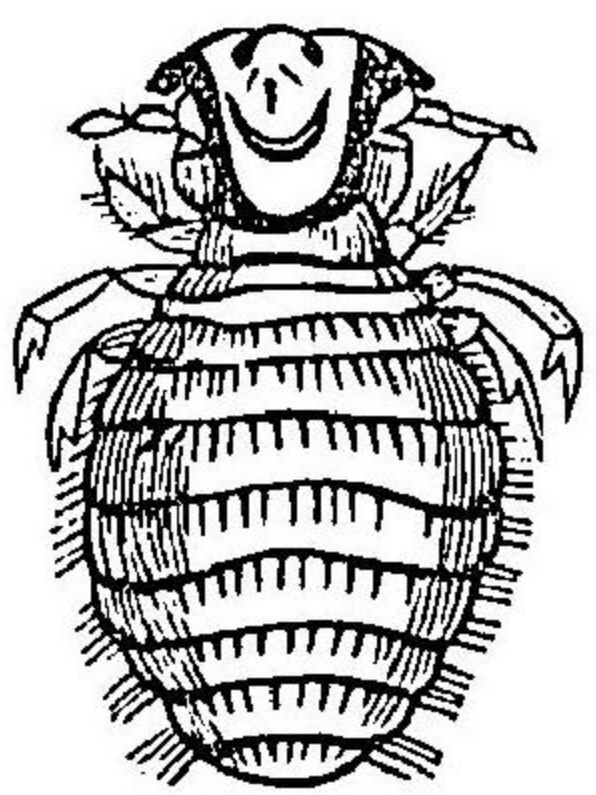
此ハ馬、驢等ニ寄生ス、体長一、四 m.m. 雌虫ニアリテハ一、七 m.m. アリ、体色殊ニ淡色ナルヲ以テ一ツニ淡色羽虫ト稱ス、

五 Trichodectes scalaris

此ハ牛ニ寄生ス、体長雌雄共ニ凡ソ一、五 m.m. アリ、

以上ハ其体形山羊ノ虱ニ似タリ、稍ヤ腹部圓形ヲ呈ス、

第一二五圖 (犬ノ羽虱)



六 Trichodectes latus

此ハ犬ニ寄生ス、雄虫ノ体長ハ約一、四 m.m. 雌虫ニアリテハ一、五 m.m. アリ
七 Trichodectes subrostratus
此ハ猫ニ寄生ス、雄虫ノ体長一、二 m.m. 雌虫ニアリテハ一、三 m.m. アリ、体形ハ犬ノ羽虱ト相似タリ、

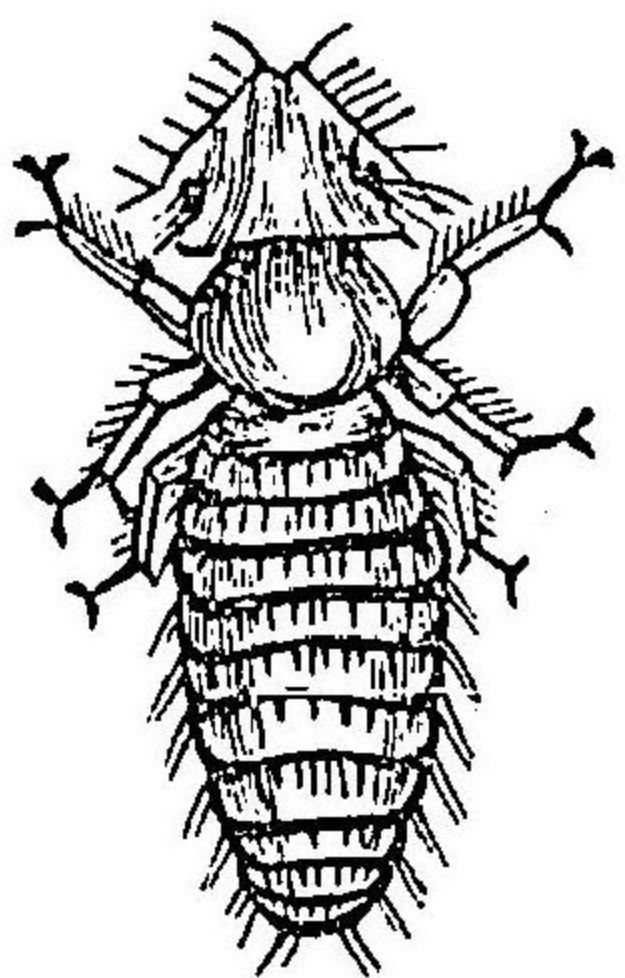
ゴニチユテス属

一、ゴニチユテス属 Goniocote

本属ハ鳥類ニ寄生スル羽虱ニシテ殊ニ家鶏ニ多ク日撃ス、一般体形ハ頭部三角形ヲ呈シ口部ハ咀嚼ニ適ス、觸角ハ絲狀ニシテ五節ヨリ成ル、胸部ハ頭部ヨリ小ニシテ往々癒着ス、腹部ハ大ニシテ九節乃至十節ヨリナル、幼虫ハ成虫ト稍形ヲ同シクシ少シク扁平ナリ、共ニ黄白色ヲ呈ス、成虫及ビ幼虫共ニ鶏ニ寄生ス、外皮及ビ軟毛ヲ食ヒ又タ血液ヲ吸收ス、卵ハ寄生虫ノ羽毛ニ膠着シ上部ニ蓋アリ、孵化スル時ハ開口シテ出ズ、

リペウルウス属

圖六二一第
(虱ノ鷄)



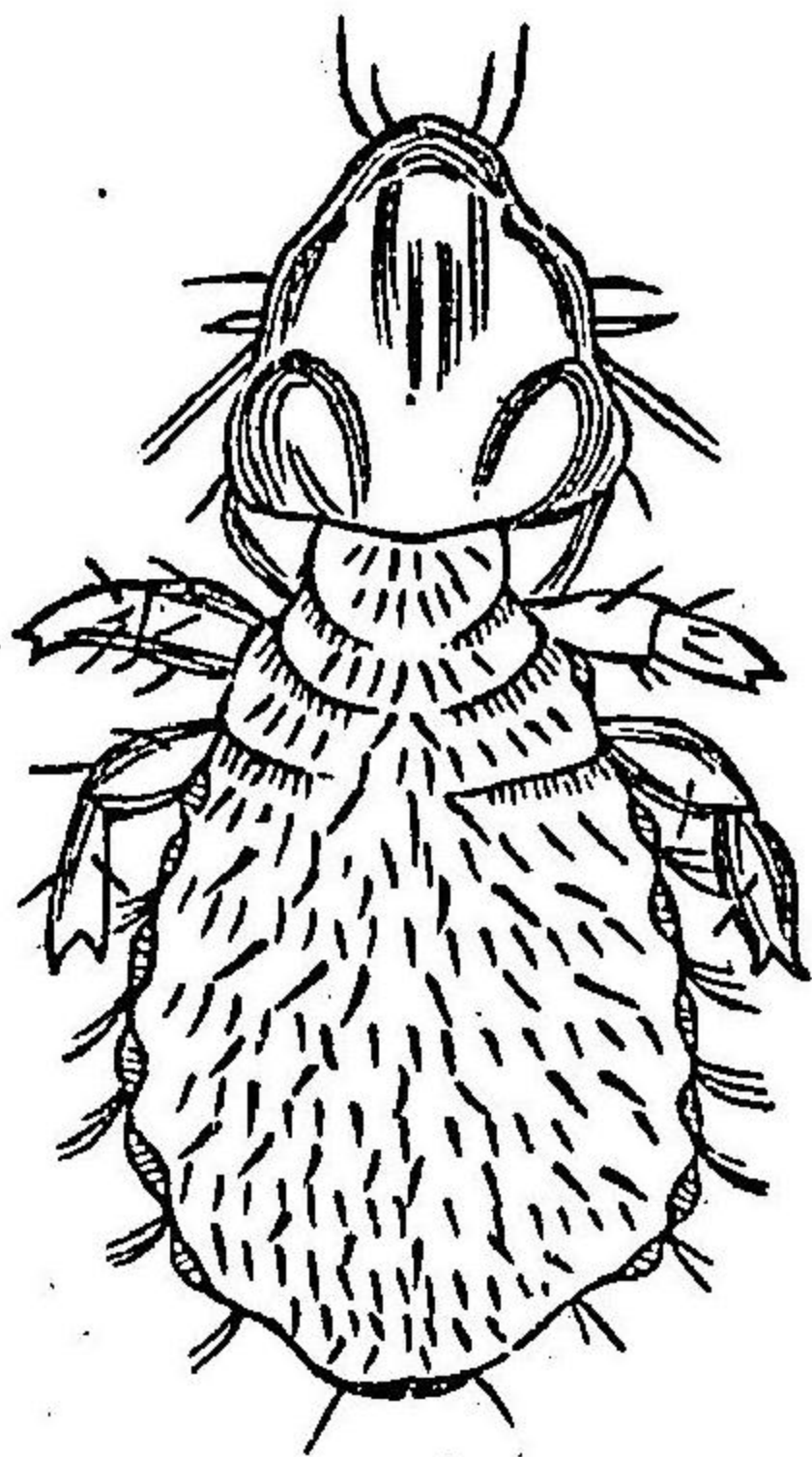
一、*Goniocote Burnetti*
此ハ家鷄其他ノ家禽ニ寄生ス 体長一・五
乃至二 m.m. アリ、

三、リペウルウス属 *Lipeurus*

本属ニ属スル主ナルモノ如左、

圖七二一第

「イブルコ スウルウベリ」

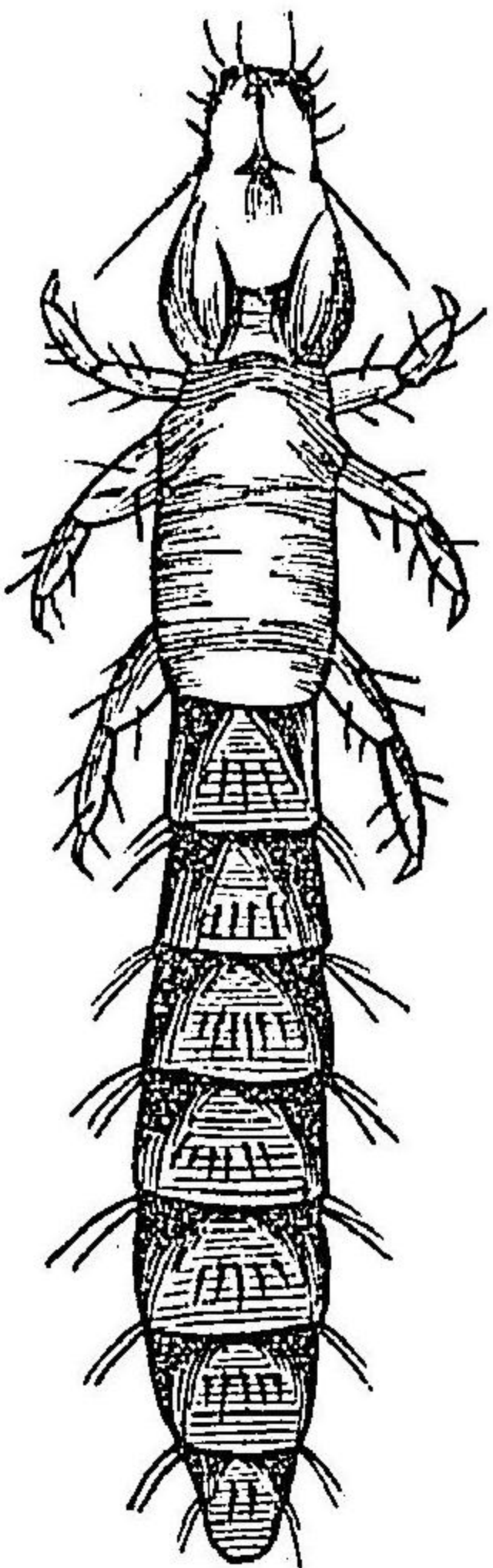


一、*Lipeurus corvi* (鳥ノ羽虱)
此ハ一般鳥類ニ寄生ス、体長約
二 m. 乃至二・五 m.m. アリ、頭部ハ三
角形ヲ呈シ 胸部狭小ニシテ腹
部ハ卵圓形ニシテ膨大ス而シテ

腹部ニ六對ノ最小ナル呼吸孔盤ヲ有ス、

圖八二一第

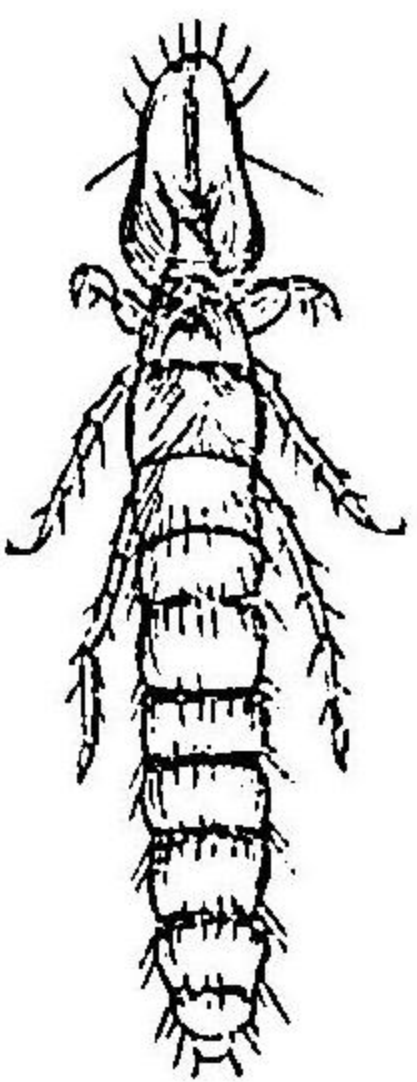
「リペウルウス、
エロンガツス」



一、*Lipeurus elongatus*
三、*Lipeurus gracilis*

圖九二一第

「リペウルウス、グラシリス」



以上二種ハ鳥類ニ寄生ス体形ハ長圓錐觸角ハ絲ノ如クニシテ五節ヨリ成
ル、下腮鬚ヲ欠如ス而シテ前者ハ腹部八環節ヨリナリ後者ハ九環節ヨリ
成ル、尙頭部ヲ見ルニ前者ハ長三角形ヲ呈シ後者ハ圓錐形ヲ呈ス、大サ
前者ハ約三 m.m. 後者ハ二・五 m.m. アリ、

ドーコフナルス属

四、ドーコフナルス属 *Docophorus*

本属中フモノハ主トシテ鳥類ニ寄生ス、

- 一、*Docophorus buconis* (鷹ノ羽虱)

此ハ Red Shouldered hawk ニ目撃セラルル体長約二乃至三 m.m. アリ、

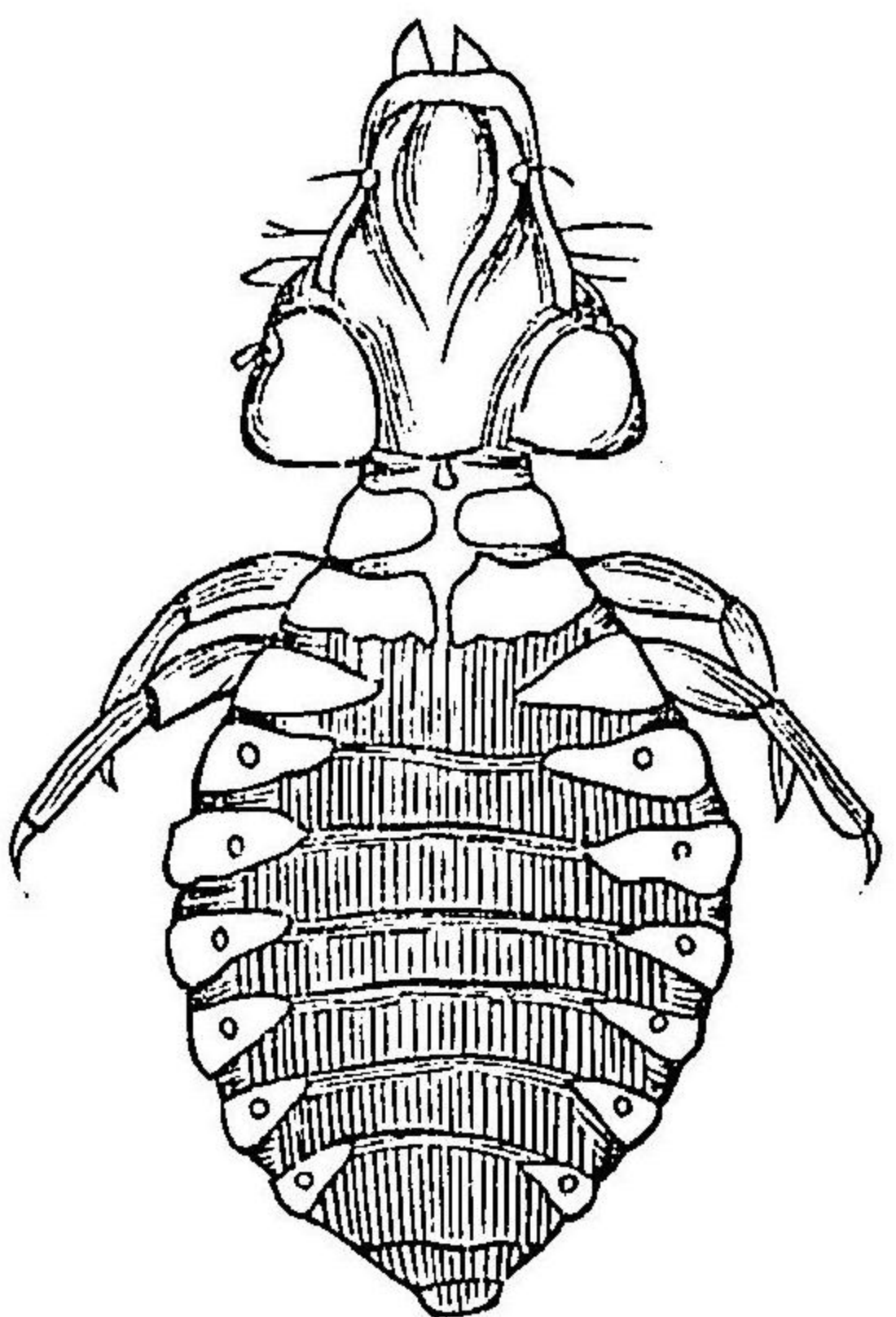
- 一、*Docophorus hamatus*

此ハ Snow Bunting (名鳥) ニ發見セラル、大サ約二 m.m. アリ、

ナツニゾビウス属

五、ナツニゾビウス属 *Ornithobius*

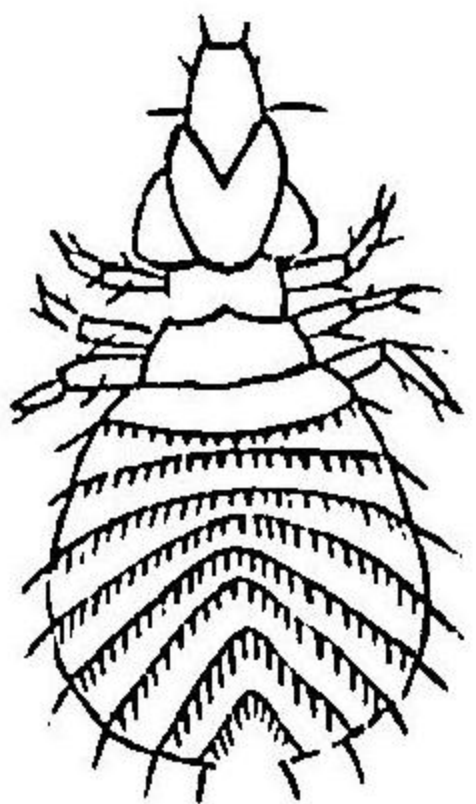
圖〇三一第
「スニチテア、スルサフコート」



ゴニチデス属

六、ゴニチデス属 *Goniodes*

圖一三一第
、スルサフコート
「スツマヘ」



以上二属ハ前属類ト大同小異ニシテ共ニ家畜及ヒ鳥類ニ寄生ス、

小族 リチテイニス属 *Liotheines*

本族中ノモノハ觸角四關節ヨリ成リ、下腮鬚ヲ有セズ、「モルモット」及ヒ鳥類ニ寄生ス、主ナルモノ如左、

- 一、ギロッパス属 *Gyrops*

此ニ属スルモノヲ舉グレバ、即チ、

- 一、*Gyrops ovalis*

此ハ「モルモット」ニ寄生ス、(Mr. C Cooke(米)ノ發見ニ據ル、体長約二乃至二 m.m. アリ、

一、^{イロコ}Gyropus porcelli

此ハ母豚ニ寄生ス、体長八五m.m.アリ、

「コルボセファラム」属

一、コルボセファラム属 Colposephalum

本属ノ主ナルモノ一種アリ如左、

一、^{コロセファラム}Colposephalum Jari

此ハ一般鳥類ニ寄生ス、

「トリノトン」属

三、トリノトン属 Trinoton

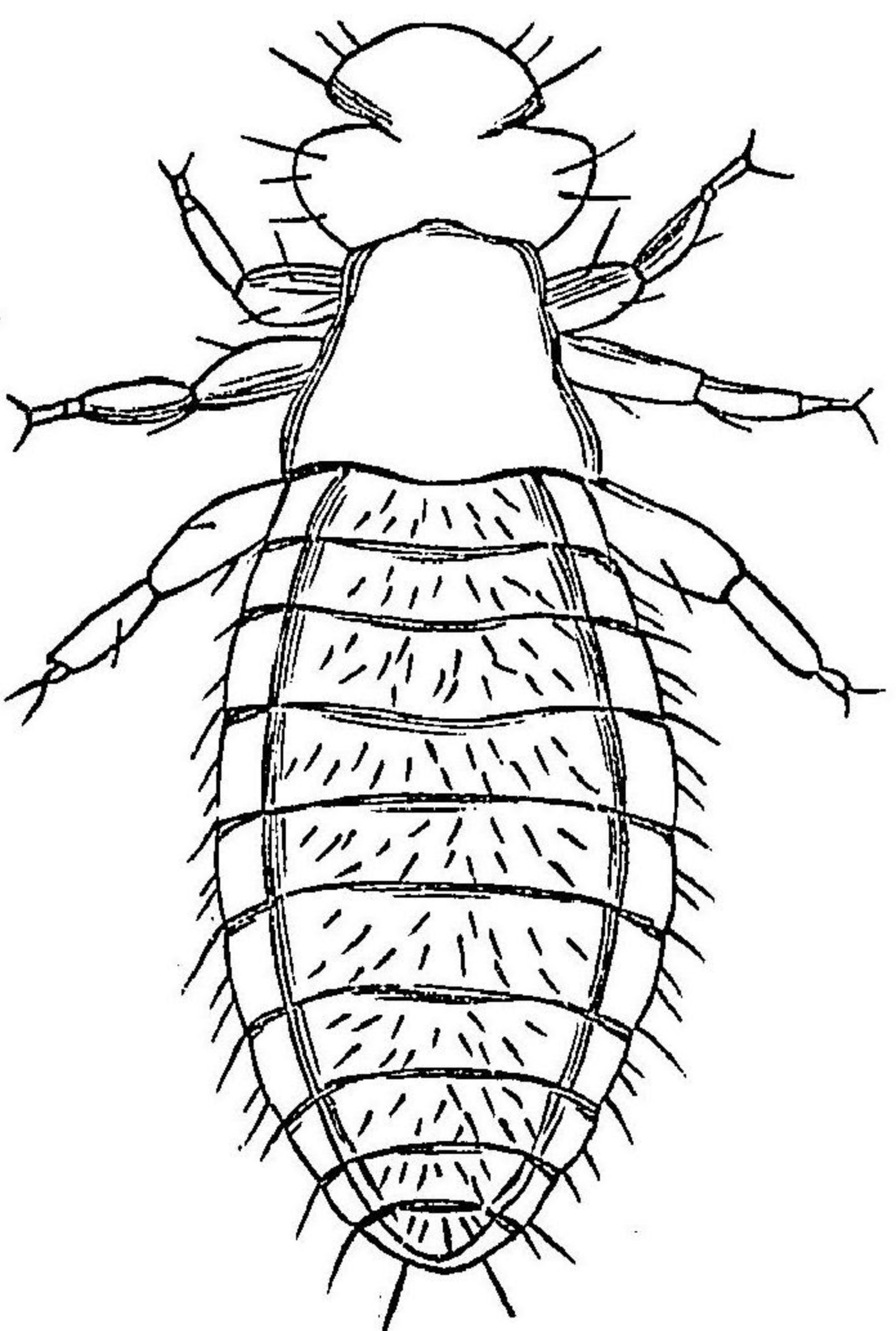
「メノボン」属

四、メノボン属 Menopon

以上二属ハ前属類ト大同小異ニシテ鳥類及ヒ「モルモット」ニ寄生ス、

寄生ノ部位及ビ
患害驅除法

第一三二圖
「リーラ、ムルアノセホルコ」



虱ノ寄生ノ部位及ビ其患害

虱類ハ一般ニ皮膚ヲ刺戟シ動物ノ休息ヲ妨ケ且ツ營養ヲ妨害ス、吸痕ハ痒覺甚ダシク爲メニ一種ノ皮膚病ヲ發スルコトアリ、哺乳動物ニアリテハ幼獸及ビ營養不良ノモノニ多ク寄生ス、寄生部ハ脱毛落屑ヲ呈スルコ

トアリ、
 馬驢ニ在リテハ虱ハ主トシテ頂毛、鬣毛、尾根等ニ寄生シ、羽虱ハ主トシテ背部ニ寄生スルモ稀レナリ、
 牛ニアリテハ虱ハ耳部、肩部、背部等ニ寄生シ、屢々脱毛ヲ呈ス、羽虱ハ全身ニ寄生ス、
 羊ニアリテハ虱ハ稀レナリ、時トシテ羽虱ノ寄生スルコトアリ大ニ羊毛ヲ損ス、
 山羊ニアリテハ羽虱寄生ス、大ニ皮膚炎ヲ發スルコトアリ、冬期ニ多シ、豚ニハ虱ノミ寄生シ皮膚病ヲ發スルコトアリ、羽虱ハ寄生セズ、
 犬ニアリテハ虱ハ主トシテ咽喉部ニ羽虱ハ全身ニ寄生ス、
 家禽ニアリテハ羽虱ヲ主トス、特ニ孵卵雌鶏ニ寄生シ大害ヲ被ムルコトアリ、幼禽ヲ襲ヒ夜間安眠ヲ妨グ、翼下面、股、頸部、頸部、毛冠ヲ有スルモノハ頭部ニ寄生スルコトアリ、

虱ノ驅除法

虱類ノ驅除法

虱類ノ全身ニ蔓延寄生スルニ及ンデハ毛ヲ剪缺シ驅虫藥ヲ塗布スベク、又家禽ニ於テハ石鹼水又ハ單ニ水ヲ以テ羽毛ヲ潤シ驅虫劑ヲ施ス可シ、普通用ユル藥品ハ(一)灰白水銀軟膏ノ少量ヲ馬、豚、犬ニ用フ、成牛ハ中毒シ易キガ故ニ五瓦ヲ角根ニ塗布スレバ奏効ス、犬ニハ豌豆大乃至菜豆大ヲ頸環ノ下ニ塗布ス、昇汞水ニテ犬体ヲ洗滌スル際ニハ小部ノミ洗滌ヲ要ス、(二)驅虫劑大動物ニハ効果弱シ唯ダ小動物ニ用フノミ、(三)烟草葉煎四五%、ハ主トシテ犬、羊ニ用ヒ稀ニ牛馬用フ、(四)偏列阿林 ハ牛馬ニ適用ス、其五%液ヲ刷毛ニテ被毛ニ塗擦ス、六日目ニ第二回尙ホ六日目ニ第三回ノ塗布ヲ行ヘハ妙ナリ、(五)其他「リゾール」偏陣「スタフホス」仁煎ト醋(一ニ二〇)其他「サバデイラ」仁、「スタフホス」仁吐根末等分過泥子二分ノ合劑、或ハ「ベンゾール」ト軟石鹼合劑、石炭酸五%犬ニハ依的見過泥子油ヲ最良トス、亦家禽ニモ良効ナリ、通常油或ハ酒精(一ニ一〇)ニ伍用ス、又砒石洗滌、砒石及ビ剝答亞斯各一五〇水及醋各五〇〇、〇ヲ賞用ス、又臭性獸油ト偏列阿林ノ各劑ヲ用フ、デシンフェクトル溶

液ハ各家畜ニ應用シテ有効ナリ、
寄生虫卵ノ驅除ニハ醋ヲ最良トス、之ニヨリ卵殼皮ヲ溶解シ卵ヲ死滅セ
シム、

處方、

- (一) 煙草葉三〇、〇乃至五〇、〇ヲ水一〇〇〇、〇ニ入レ容量二分ニ煮沸シ後
更ニ一〇〇〇、〇ノ水ヲ加ヘテ稀弱シ刷毛ニ濕シテ摩擦ス、或ハ毛間
ニ灌注ス可シ、尙ホ醋ヲ加味スレバ更ニ良効ナリ(但シ牛ハ中毒シ易
キガ故ニ最小局部ニノミ用フ)
- (二) 水銀軟膏四〇、〇馬及ビ豚ニ一日二回塗用ス但シ少局部ニ限ル、
- (三) 水銀軟膏一分ニ一乃至〇、五分ノ豚脂又ハ蠶蠶油ヲ加ヘ用フ、(馬、豚、犬)
- (四) 「スタフホス」仁末白藜蘆根湯泥子各三〇、〇毎日一回宛毛間ニ擦入ス、(牛
馬)
- (五) 「スタフホス」仁煎五乃至七、五ニ一〇〇、〇常醋二〇、〇毎日二三回被毛中
ニ塗布、

- (六) 偏陣一分軟石鹼六分、水一〇乃至二〇分ノ合劑又ハ偏陣一分三〇%ノ
酒精一〇乃至一五分合劑(先ツ体ヲ數區ニ分チ一區分ツ、毎日塗用ス)
- (七) 「サバデイラ」子煎二〇ニ一〇〇、〇醋一〇、〇洗滌用(牛、馬、犬)
- (八) 硫黃華三分鷄冠石二分雲母及ビ輕粉各適宜、散劑トナシ毛間ニ散布ス、
- (九) 亞砒酸、炭酸加里各一六、〇水及常醋各一、五基瓦(洗滌用)
- (一〇) 亞麻仁油二〇、〇酒精四〇、〇局所塗布、
- (一一) 石油、水(一ト二)醋適宜合劑トナシ毛間ニ塗擦ス、
- (一二) 百齡拔兒撒謨一六、〇依的兒、湯泥子四〇、一八〇、〇知覺過敏ノモノニ用
フ、
- (一三) 佩列阿林二五、〇煙草煎汁二〇、一五、〇一〇〇、〇、(洗滌用)
- (一四) 石油偏陣一分酒精一〇分合劑トシ局部塗擦、
- (一五) 炭酸加里五〇常水一〇〇、〇局所洗滌、
- (一六) 流動巴拉賓一〇分醋一分ヲ混シ局所塗布、
- (一七) 肝油四〇、〇一日一回局所塗布、

家禽羽虱驅除法

家禽羽虱驅除法 前述ノ處方ヲ應用シテ可ナリ、最モ有効ナルハ依
 的兒精過泥子油ナルモ皮膚ヲ刺戟スルヲ以テ普通阿列布油(一ニ一〇乃至
 二〇)ニ稀弱シテ用フ、其他苗香酒精溶液(一ニ九)硫化加里液(一ニ二五乃至
 三〇)流動蘇合香溶液(一ニ五乃至一〇)「クレタリン」、「クレタソート」乃至一
 〇倍溶液石炭酸水(二乃至三%)昌汞水(一〇〇〇倍)「デシフェクトル」二三%溶
 液等ヲ用ユ、

一般羽虱ノ豫防
法

豫防法 皮膚ノ清潔、剔毛、流拭ヲ嚴密ニシ患畜ノ隔離ヲ行フ夏ハ水浴游
 泳ヲナシ後刷毛ニテ拭除ス、患馬ニ用ヰタル毛布及鞍具ハ熱石鹼汁ニテ
 洗滌ス、家禽殊ニ鶏ハ砂浴場ノ設置ヲナシ、其砂ニハ木炭末、石炭末、硫黃
 華或ハ驅虫菊粉過泥子末ノ混布ヲナスベシ、若シ舎床砂浴兼用設置舎ナ
 レバ時々砂ヲ交換シ驅虫劑ノ混有ヲ要ス、其他豫防法ハ蠅ノ豫防法ニ同
 シ、

半翅類
ヒミフテツ

小目 半翅類 Hemiptera

前翅ノ一半ハ角質トナリ一半ハ膜狀ヲナス、翅ハ往々非常ニ小形トナル
 下唇ハ尖リタル吸管即チ吻ヲナシ内ニ刺針狀ノ上下兩顯ヲ收ム、虫ハ一
 種特異ノ嗅氣ヲ放ツ本目ニ族スモノ一ツアリ、即チ、

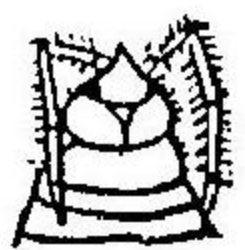
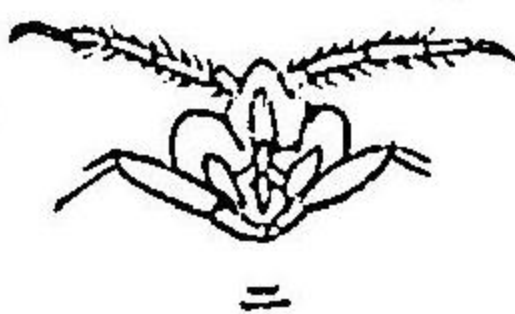
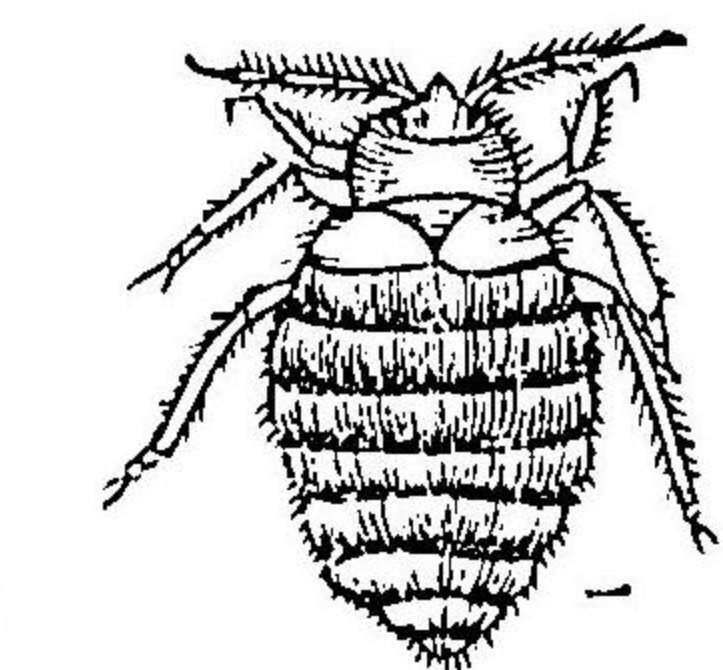
壁虱類

族 壁虱類 Acanthiadae

本族ハ体軀扁平ニシテ觸角ハ四節ヨリ成リ、吻ハ三關節ヨリ成ル、之レ
 ニ屬スル種類ニアリ、如左、

- 一、*Acanthia leclaria* (Bed Bug(英)) (トヘトヘ、南京虫、ヒメ)
- 二、*Acanthia leclaria* (トヘトヘ、南京虫、ヒメ)
- 三、*Acanthia leclaria* (トヘトヘ、南京虫、ヒメ)

第一三三圖
(虫京南)



- 一、成虫
- 二、成虫
- 三、幼虫

本虫ハ殆ンド全世界ニ存在ス、
 体ハ扁圓形ニシテ赤褐色ヲ帯ビ
 全体ニ短毛ヲ生ズ、体長凡ソ四
 乃至五 m.m. アリ、翅ハ微小ニシテ
 唯ダ其小片ヲ見ルノミ、腹部ハ

圓形ニシテ八環節ヨリ成ル、卵ハ楕圓形ニシテ縦徑一乃至一・一二m.m. 横徑〇・二五m.m. アリ、雌虫ハ三月五月七月九月ニ於テ毎回凡ソ五十個ヲ産卵ス、卵子ハ卵圓形ニシテ色白ク一端ニ蓋ヲ有ス、幼虫ハ孵化ノ際此蓋ヲ押開ク出ヅルモノナリ、幼虫ハ成虫ト異ナラザレモ体少シク長ク色淡ク頭ハ三角形ヲ呈シ短厚ナル觸角ヲ生ズ体色ハ漸次成虫ノ如ク變ズ、孵化後凡ソ一箇年ニシテ全ク成長ス、

本虫ハ日中ニハ室内暗所ニ潜在シ夜間現出シテ人畜ヲ襲ヒ吸血ス、吸痕甚シク痒覺ヲ起シ赤腫シテ數日治セズ、充分吸血シタルモノハ數ヶ月間食ヲ要セザルモノナリ、

本虫ノ驅除トシテハ偏障ヲ潜伏セル場所ニ注グ時ハ速ニ死滅ス、其外番木甞丁幾「タナセツム」油及ビ石炭酸油等ヲ用ヒテ効アリ、吸痕ニハ「アンモニア」水等ヲ塗布スベク腫起甚ダシクレバ乱刺ヲ行ヒ「イヒチタール」軟膏等ヲ塗擦ス可シ、

- 一 *Acanthia Ciliata* (有毛壁虱)
本虫ハ体長三・三m.m. アリ、黄赤色ニシテ毛ヲ密生ス、露西亞國ニ多ク發見セララル、モノナリ、
- 二 *Acanthia Pipistrelli*
本虫ハ蝙蝠ニ寄生ス、
- 三 *Acanthia Hirundinis*
本虫ハ燕ニ寄生ス、
- 四 *Acanthia Columbarius*
本虫ハ鴿ニ寄生ス、

門 蟬形蟲類 Vermes

環節虫類

綱 環節蟲類 Annelides

環節虫類ハ蠕虫類ノ一綱ニシテ多少分明ニ境界セラレタル數環節(體輪)ヨリ成ル、此綱中寄生スルモノハ蛭類ナリ、

蛭類

目 蛭類 Hirudinei, — Discophori

蛭類中ニハ生涯自由ニ生活シ其性食肉虫ト同一ナル者甚タ多シト雖且又純粹ノ寄生者尠カラズ而シテ或ハ寄生シ或ハ自在ニ生活スル種類モ亦之アリ、茲ニ述ブルモノハ通常外界ニ在リテ時々人畜ヲ襲ヒ其血液ヲ吸取シ多少損傷ヲ與フルモノナリトス、
蛭類ノ體軀ハ一般ニ延長ニシテ扁平或ハ圓筒狀ナリ而シテ數環節ヨリ成ル往々夥多ノ體輪ヲ有ス、此體輪ハ三個乃至五個ノ一環節ニ相當スルモノナリ、或種ニ在テハ體輪不明欲如スルモノアリ、體ノ前端ニ口ヲ有シ

蛭類構造

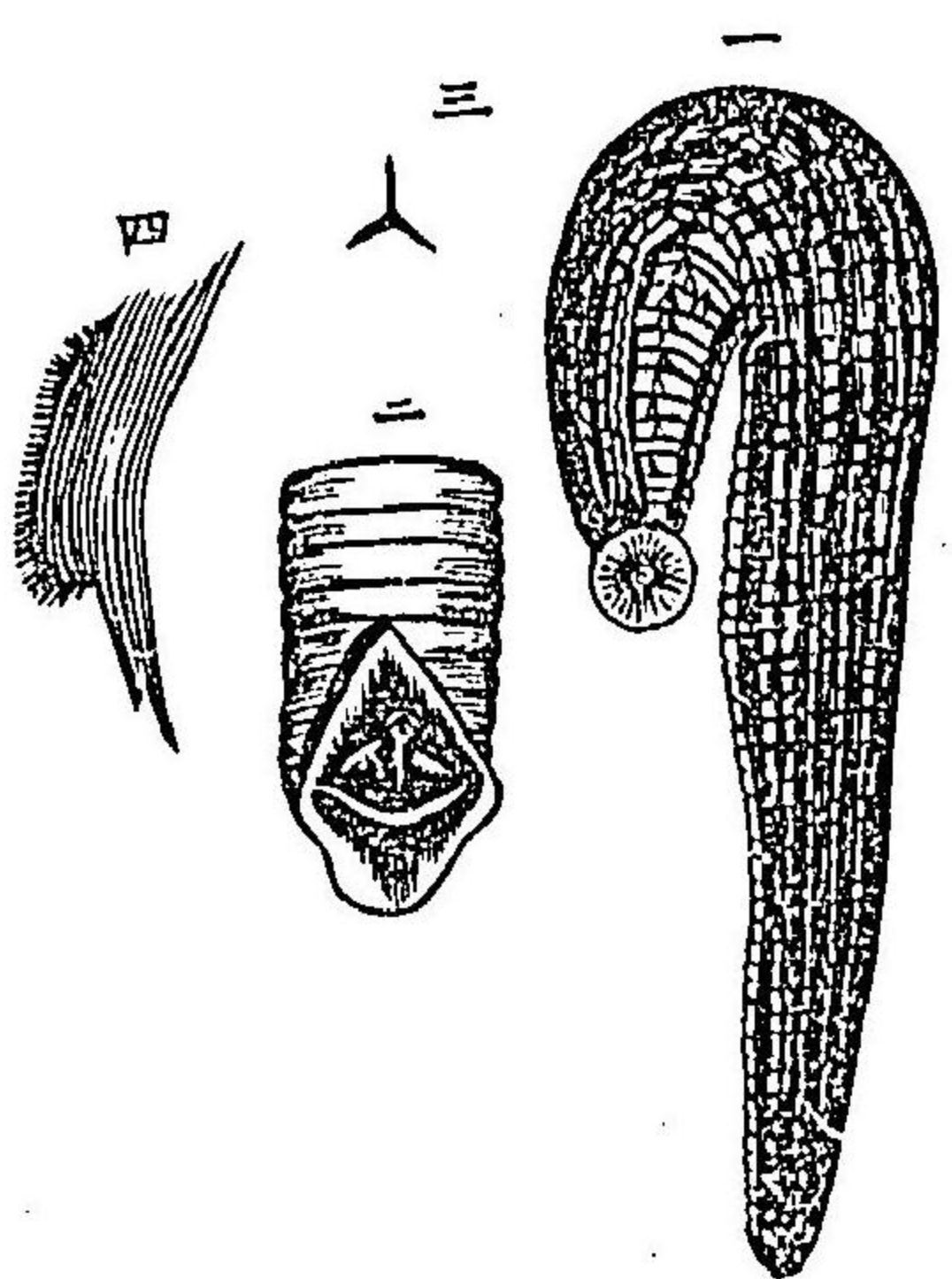
吸盤ノ用ヲナス、又尾端ニハ圓形ノ吸盤ヲ有シ其背部ニ肛門ヲ開クヲ常トス、概テ雌雄同体ニシテ兩生殖門ハ腹部正中ニ開口ス、

構造、皮膚 皮膚ハ圓環狀細胞ノ單層ヨリ成ル、其表面ハ薄キ硝子膜ヲ以テ覆フ、此硝子膜ハ時々體ヲ離レ剝脫ス、

結締組織 皮下ニ一層アリ尙ホ内部諸器管ノ間ヲ充塞ス、之レヲ鏡檢スルニ殆ンド無組織或ハ網狀組織ヨリ成ルヲ見ル、而シテ此内ニ色素及ビ皮腺ヲ有ス、色素ハ概テ黃色ノモノ或ハ黑色ノモノトアリ、皮腺ニ二種アリ一ツハ體面ヲ潤シ他ハ生殖門部ニ於テ産卵ノ際卵殼ヲ分泌スルモノナリ、
筋肉 筋肉ハ環狀筋纖維、縱走筋纖維、放線狀筋纖維ノ三種ヨリ成ル、環狀筋纖維ハ皮下結締組織中ニ並列シテ一層ヲ構成シ體ノ細ク且ツ長クナスノ作用ヲナス、縱走筋纖維ハ深部ニアリ一部環狀筋纖維層ニ混シ多クハ背腹筋ヲナシ體ヲ扁平伸長ノ作用ヲナス、放線狀筋纖維ハ食道ニ限リ存在ス、之レハ食道腔ヲ廣潤ニシ食物攝取ヲ助クルモノナリ、
循環

系ハ三條ノ主血管縦走並行シ各許多ノ横管ニヨリ相連絡シ且ツ細キ技管ヲ諸部ニ分布ス但シ主血管ハ狭小シタル体腔ニ外ナラズ、技管ハ純然タル血管ナリ、之等血管中ニ赤色一種ノ血液ヲ有スト雖モ高等動物ノ赤血球ニ比較スベキ物体ハ存在セズ、**消化器**口器ハ種類ニヨリ多少異ナル、即チ吻蛭類ニアリテハ口ヨリ外部ニ向ヒ突出自在ナル吻ヲ具フ、顎蛭ニ在テハ口腔壁ニ三個ノ半月狀ノ堅硬板即チ顎ヲ有シ一個ハ背部正中ニ他ハ腹部兩側ニアリ、各特別ナル筋肉ヲ有シ前後ニ運動スルヲ得、其

圖四三一第
(蛭水用器)

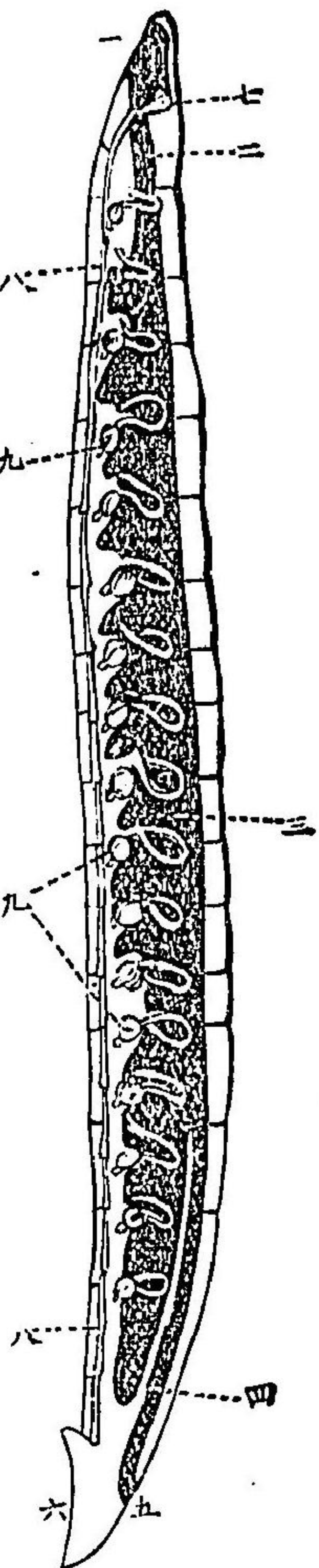


- 一、成虫
- 二、口部
- 三、吸痕ノ形狀ヲ示ス
- 四、顎一個ノ廓大

口腔ニ突出セル弓狀縁ハ數多ノ小齒ヲ具フ其狀恰モ鋸齒ノ如シ、蛭ノ口縁ヲ以テ皮膚上ニ吸着スルヤ顎ハ能ク運動シテ切截ス故ニ吸痕ハ三顎ノ位置ニ附合シ其形ハY狀ヲ呈

ス、口腔ノ次キニ食道アリ其壁面ハ内腔ニ突出スル縱壁通常三條アリ且ツ特異ナル唾腺ヲ具フ、食道ノ後端ハ胃ニ通シ、次テ腸ト成ル、胃腸ハ

圖五三一第
(ス示テ造構部内)



- 一、口
- 二、食道
- 三、胃及其盲囊
- 四、腸
- 五、肛門
- 六、尾吸盤
- 七、膈
- 八、腹神經球連鎖
- 九、環節器

單直ニシテ數部ニ別タルアリ許多ノ盲囊ヲ具フルモノアリ、腸ハ一般ニ尾吸盤背部ニ位セル肛門ニ終ル、

圖六三一第



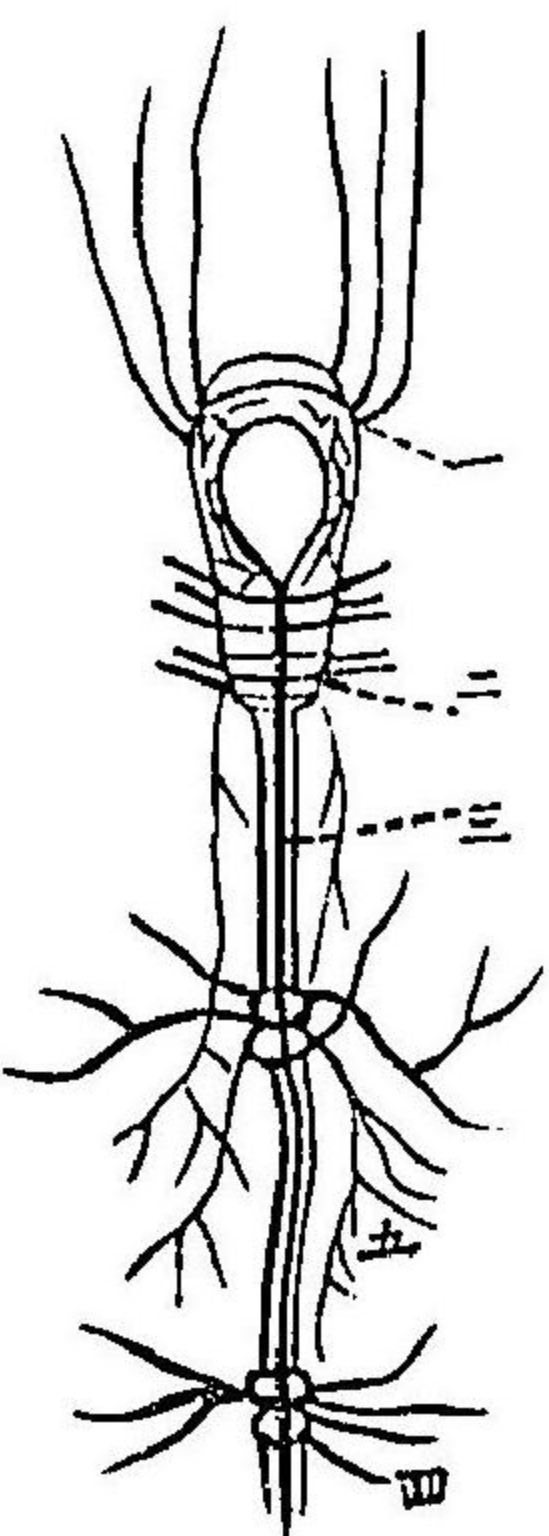
- 一、食道
- 二、胃

排泄器 排泄器管ハ各環節ニ一對ヲ有スル環節器ト名ツケラレタル蟠屈セル細管ニシ

テ其一端ハ漏斗狀ニ体腔即チ血管ニ開キ一端ハ腹面ノ側縁ニ於テ外開ス、排泄管ハ必ズ其外開スル前ニ於テ球狀ニ膨大ス、

神経系 腦ハ頭部ニ於テ食道壁上ニ位シ左右二神経節ノ連合シテ成ルモノニシテ前方ニ向ヒ許多ノ感覺神経ヲ出ス、食道壁下ニハ數神經節ノ

第一三七圖



一、腦或ハ喉上神經節
二、喉下神經節
三、腹神經節
四、腹神經節
五、交感神經節

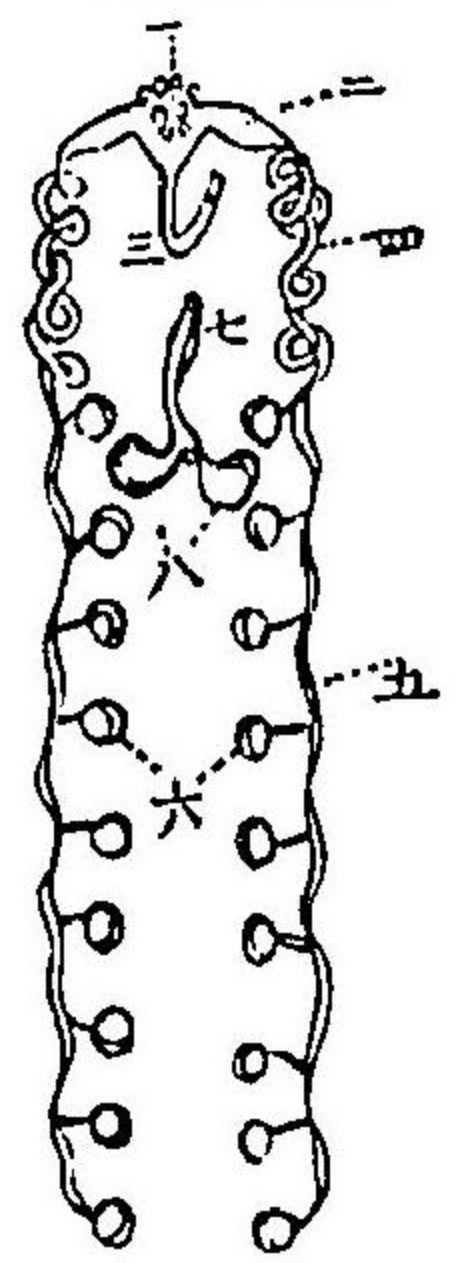
合成セル喉下神経節アリ、食道ノ左右ニ於テ喉上神経節ト連絡シテ神経節ヲ作ル、喉下神経節ハ前

方正中ニ並行セル二條ノ著大ナル神経ヲ出ス、之レヲ腹神経ト稱シ尾端ニ達ス、又別ニ交感神経ヲ有シ消化器管ニ分布ス、視器ハ一對乃至數對ヲ有シ前端ニ接近シテ位シ、構造簡單ニシテ折光力ヲ有スル透明細胞ノ集合並ニ過半之レヲ覆フ所ノ黑色素ヨリナル之レ高等動物ノ眼ニ比スベキモノナリ、

生殖器

蛭類ハ概テ雌雄同体ニシテ兩生殖器ハ其ノ門ヲ異ニシ腹面正中ニ於テ開カス、其前門ハ雄生殖器ニシテ後方ハ雌生殖器ナリ、而シテ雄生殖器ハ墨丸輸精管陰莖蓄精囊攝護腺等ヨリナル、墨丸ハ球形又ハ楕

第一三八圖 (寄生用水蛭生殖器)



一、攝護腺
二、陰莖
三、蓄精囊
四、輸精管
五、墨丸
六、卵管
七、子宮

圓形白色体ニシテ体ノ中部或ハ後方ニ九對乃至十二對或ハ無數ニ在ルモノアリ、輸精管

ハ二條アリテ各墨丸ハ小莖ヲ以テ同側ノ輸精管一通ズ、該部ノ一部蟠屈シテ蓄精囊ヲ形成ス、或モノニ於テハ之レナキモノアリ、而シテ輸精管ノ末端ハ雄生殖器ニ在ル肉質ノ一囊中ニテ左右相合ス此囊ハ射精ノ要ヲナシ、該囊外翻シテ生殖器門外ニ突出シ陰莖ノ作用ヲナス、雌虫生殖器管ハ卵巢輸卵管子宮腔ヨリ成ル、全体管狀或ハ球狀ヲナス、卵巢ハ左右二個アリテ各其前端ニ於テ相合シ直チニ短カキ子宮ニ連リ更ニ短カキ腔ニヨリ雌生殖器門ニ開口スルモノト、又輸精管ヲ有シ兩輸卵管ハ相合シテ子宮腔トナリ前進シテ外開スルモノアリ、卵巢ハ其内ニ棒狀若クハ絲狀ノ物体(卵絲)ヲ藏ス其之ヲ構成スル細胞ノ或者ハ發育増大シテ卵細胞トナルモノナリ、發育卵ハ概テ橢圓形ニシテ一種ノ卵殼ヲ有シ其色暗褐色ニシテ弾力性ヲ有ス、殼内ニハ許多ノ卵細胞ノ外ニ蛋白質液ヲ有ス、斯ノ卵ハ母体ニ

吻蛭類

「ヘメンタリア」

第一三九圖
(子卵ノ蛭水川寫)



附着シ或ハ地中ニ埋入ルカ又ハ水中ニ在テ物體ニ附着シ漂フ中ニ幼蛭ハ殻内ニ發育シ然ル後ニ殻ヲ去リテ外界ニ出ヅルモノトス、而シテ其ノ成熟産卵スル迄ハ孵化後凡ソ三箇年ヲ要ス、

族 吻蛭類 Rhynchobdellidae

屬 ヘメンタリア Haementaria

體形幅廣ク前端ハ二尖頭ニ分ル、第二體輪ニ一對ノ眼アリ之レニ屬スル主ナルモノ左ノ如シ、

一 Haementaria shilhan (ギリニアニ氏ヘメンタリア)

體長三〇.五 c.m.ニ達ス、體輪ノ數七十二個アリ、體ハ綠色ニシテ黑色ノ縁ヲ有シ赤色斑點夥多在リ雄生殖門ハ瘤狀ノ一突起上ニアリ、該虫ハ南米アマゾン河ニ産シ人体ヲ襲フコトアリト云フ、

一 Haementaria officinalis (藥用ヘメンタリア)

此ハ赤褐色ニシテ背面ニ數多ノ顆粒狀突起アリ、腹神經鎖ノ鞘膜ハ黑色ナリ、體長凡ソ一〇乃至二〇 c.m.アリ此種ハ墨是哥ニ多ク産シ醫用蛭トシテ跡ヲ留メザルヲ以テ大ニ用ヒラル、

二 Haementaria mexicana (墨是哥ヘメンタリア)

此種ノ體形ハ前者ニ似タリ體色ハ暗褐色ニシテ背上ニ黑色及ビ淡茶褐色ノ斑点二縱列ヲナス、本種ノ吸痕ハ往々充血化膿ヲナシ爲メニ患者ハ死ニ至ルコトアリト云フ、

四 Haementaria costata (有助ヘメンタリア)

此種ハ露國クリミアニ産スル者ニシテ醫用ニ供セラル、體長二六乃至三五 m.m.アリ、背面ニハ黒斑ノ爲メ妨遮セラレタル黄色ノ横線數條アリ、正

頭蛭類

「ヒルード」

中兩側ニ二乃至三縱列ノ黑色瘤起アリ、其他ノ体面ハ赤色ナリ、

族 顎蛭類 Gnathobdellidae

1. ヒルード属 Hirudo

本属中ノモノハ口腔ニ三個ノ顎アリ其縁ハ鋸齒状ヲナス、体軀ハ二十六環節ヨリ成ル体輪ハ百〇二個アリ、五對ノ眼ヲ有ス、雄生殖門ハ第三十ト三十一体輪ノ間ニアリ、雌生殖門ハ第三十五ト三十六体輪ノ間ニアリ、肛門ハ最終輪即チ百二輪ノ背部ニ開ク、主ナル種類ヲ舉グレバ如左、

1. *Hirudo medicinalis* (醫内水蛭)

此ハ体長一〇 至二〇 c.m. 顎ハ二 m.m. ニシテ八〇乃至九〇個ノ小銳齒アリ、(第一三四圖)眼ハ五對ヲ有シ前三對ハ後二對ヨリモ大ナリ、体色ハ種々アリ、通常背面ハ腹面ヨリモ濃色ナリ、而シテ其背腹ヲ論セズ、其本色ハ黃褐

色ニシテ或ハ灰色或ハ綠色ニ傾ケリ、而シテ背面ニハ二條又ハ六條ノ鏽赤縦線アリ、腹ニハ黒色斑紋アリ、又之レナキモノアリ、兩側縁ハ淡茶褐色乃至黄色ナリ、然レモ其体色ノ種甚タシ、然レモ變種中最モ普通ナルモノハ獨逸水蛭及ビウンガル水蛭ノ二變種ナリ、獨逸産水蛭ハ背面灰色ニシテ綠色ヲ帯ビ正中ノ兩側ニ各三條ノ鏽赤縦線アリ其中或縁ハ里斑ヲ有ス腹面ハ黄綠色ナリ、ウンガル水蛭ハ背面ノ正中ハ綠色其左右ニ赤色又ハ赤褐色ノ縦線アリ該縦線ハ各環節毎ニ其幅ヲ擴ム、其他ノ變種ハ歐羅巴全州亞細亞ノ西部及ビ亞非利加北部ニ産ス、

1. *Hirudomysonias*

醫用水蛭ヨリ小ニシテ扁平ナリ、背面ハ黒色ニシテ線條ヲ有セズ、腹面黄色不正ノ黒斑アリ、尾吸盤ハ黒色ナルヲ常トス、此種ハセチガンピアニ産シ佛國ニ輸入サレ其効能ハ尋常醫用水蛭ノ半ニ居ルト云フ、

三 *Hirudo granulos* (顆粒狀水蛭)

此ハ背面綠色ニシテ茶褐色ヲ帶ブ、三條ノ黑色縱線アリ各体輪ニ三〇乃至四〇個ノ顆粒狀突起横列ス故ニ此名アリ、此種ハ東印度ボンヂチヨリニ産ス、

四 *Hirudo Interrupta*

此ハ醫用水蛭ニ似タリ唯タ躰形小ナルコト及ビ顎縁ノ小齒稍ヤ僅少ナルノミ、此種ハアルゼリアニ多ク産ス又伊太利及ビ西班牙ニ見ル所ナリ、

五 *Hirudo javanica* (瓜哇水蛭)

此ハ背面淡灰色ニシテ少シク橄欖色ヲ帶ブ有椽ノ黒点ヨリナル、正中縦線並ニ大小不同ノ黒斑アル淡黄色ノ側縦線アリ、腹面ノ兩側縁ハ黒ク中部ハ鋪赤色ナリ背ニ許多ノ顆粒狀突起アリ、瓜哇島サマラングニ産ス、

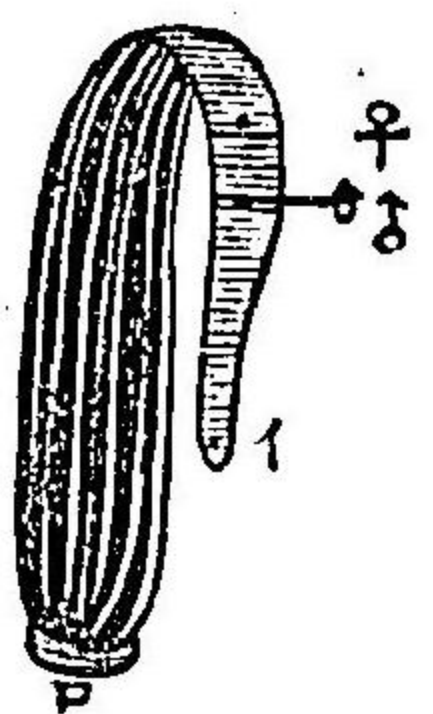
六 *Hirudo sinica* (支那水蛭)

体色ハ黒ク他色ヲ混セズ支那ニ産スル小種ナリ、

七 *Hirudo nipponica*

体長ハ游泳ノ際八、五 c.m. 幅一 c.m. ニ過ギズ、百二個ノ体輪ヲ有シ、雄生殖門ハ第三十ト三十一輪ノ間ニアリ、雌生殖門ハ第三十五ト三十六輪ノ間ニアリ、肛門ハ最終輪背部ニアリ、眼ハ五對ヲ有シ前三對ハ頭端ニ於テ半圓形ニ並列シ第四對ハ第五輪ニ第五對ハ第八輪ニアリ、概テ五輪毎ニ六個ノ横列小突起ヲ具

第一四〇圖 (日本水蛭)



イ、口
ロ、肛門

ヘタル一輪アリ、体色ハ種々ナリトス、最モ普通ノモノハ上

第一四一圖 (日本水蛭頭部)



下兩面橄欖綠色ニシテ上面ハ下面ヨリ濃色ナリ兩側縁ハ黄色ニシテ背面

ニ五條ノ黄色縦線アリ、木種ハ河、溝、池、水田等ニ産ス、本邦ニテ醫用水蛭ハ此種アルノミ

八、*Hirudo quinquestrata* (五條水蛭)

此種ハ濠州ニ産ス、背面ハ茶褐色ニシテ五條ノ黄縦線ヲ有ス故ニ此名アリ、

以上八種ハ醫用水蛭トシテ用ヒラル、ガ故ニ寄生虫トシテ論ズベキ價値ナキガ故ニ唯々其大畧ヲ述ベシノミ

九、*Hirudo vorax* (貪喰水蛭)

此ハ体扁平ナラズ、四十七輪ヨリナル、背面ハ橄欖綠色ニシテ六縦列ノ黒線アリ腹面ハ暗灰色唯々稀レニ黒斑アリ、顎ハ小ニシテ三十個ノ小齒ヲ有ス、歐洲及比亞非利加北部ニ産ス、此種ハ人畜ノ血液ヲ吸收スルコトナシト雖モ其幼ナルモノハ往々飲料水中ニアリ共ニ人畜ノ口腔、咽喉、氣

管等ニ入り粘膜ニ吸着シ速カニ除去セザルトハ瘀衝出血、嘔聲、咳嗽若クハ窒息ヲ發作シ、患者ハ時トシテ大ニ瘦削シ終ニ死ニ至ルコトアリト云フ、

一一、ヘマデプサ屬 *Haemadipsa*

本屬ハ陸上ニ棲息ス、体長二乃至三c.m.アリ、五對ノ眼及ビ三個ノ顎ヲ有ス蓋シ蛭類中真ニ寄生スルモノハ此屬中ノモノトス、主ナルモノ左ノ如シ、

一、*Haemadipsa nipponica* (日本山蛭)

体圓筒形ニシテ前方狹細ス、体長二〇m.m. 伸長シタルトハ五〇m.m.ニ達ス、横徑ハ頭部二m.m. 最終端肛門部ニ於テ五m.m.アリ、尾吸盤ノ直徑六乃至七m.m.アリ、口腔ニハ三個ノ顎ヲ有シ各類凡ソ九十個ノ小銳齒ヲ具フ、体輪ハ九十六個アリ、前三輪ハ各一對ノ眼ヲ有シ境界不明ナリ、五對ノ眼ノ

第一四二圖
(日本山蛭)



中前四對ハ頭縁ニ於テ半月形ニ排列シ第五對ハ二輪ヲ隔テ、第七輪ニ位ス、而シテ体上三輪乃至五輪毎ニ少シク突出シタル輪アリ、背面ハ暗褐色ノ縦線三條アリ、兩側線内ノ背面ハ黃褐色ニシテ其他ハ濃茶褐色ナリ、腹面ハ背面ト同色ニシテ暗褐色ノ小点アリ、雄生殖門ハ第二十九輪ト第三十輪ノ間ニ在リ、雌生殖門ハ第三十四輪ト三十五輪トノ間ニ存在ス、

山蛭ハ本邦各地諸山地ニ發見セラレ、草木繁茂シ四時濕氣ノ絶ヘザル場所ニ棲息シ苔枯葉等ノ下ニ潜伏シ人畜近ツクバ忽チ現出ス時トシテハ樹枝上ニアリテ人畜近ツクバ落下咬着ス、雨中或ハ雨後ニ最も多シ、其性活潑ニシテ人畜ニ會フ時ハ脚ニ登ルコト極メテ迅速ナリ、其咬着ハ至テ穩靜ナルガ故ニ知ラズシテ經過スルコトアレヒ吸痕ハ比較的深ク往々數ク月モ治セズ其一旦吸着スルヤ三十分乃至四十分時間モ脫離セズ、

一' Haemadysa Ceylanica (錫蘭山蛭)

体形ハ本邦山蛭ト異ナル所ナク色ハ赤褐色ニシテ背部正中並ニ体ノ兩側縁ニ黃線アリ、但シ体色ハ種々アリ從テ其變種夥多アルガ如シ、此種ハ錫蘭島ニ於テ平原山地ヲ問ハズ甚々多ク時トシテ驚ク可キ數ニ群聚スト云フ、其性ハ本邦山蛭ニ同シク地上或ハ樹上ニ在リテ人畜移リテ吸着ス、單ニ之レヲ拂ヒ落セバ吸痕大ニシテ且ツ顎ヲ内ニ殘スノ恐レアリ、吸痕ヲ不注意ニ取扱ヒ爲メニ化膿ス吸痕多キハ重症ト成リ易ク該島土人ニ往々見ル所ノ醜傷痕ハ多ク山蛭ノ原因ナリト云フ、以上二種ノ外歐洲及ビ亞米利加濠州等ニ在スル山蛭數種アリ、何レモ前二者ト大同小異ナリ、

驅除及療法

驅除及ビ療法 体内ニ吸着シタル幼蛭ハ之ヲ除去スルコト往々易カラズ「ピンセット」ニテ直チニ虫ヲ引取ルハ粘膜ヲ裂クル恐レアレバ可成クハ

先ゾ食鹽水或ハ酒精ヲ虫体ニ注射シ其吸着ヲ止ムルヲ待チテ除去スルヲ宜シトス、皮膚ニ咬着シタル場合モ同様トリ、而シテ其吸痕ハ小ナルトハ清洗シ置ケバ可ナルモ吸痕大ニシテ且ツ出血多キ時ハ過格魯鐵液ヲ綿ニ浸シ壓定細帶ヲ施ス可ク又沃度仿謨古魯魯胃謨ヲ塗布ス可シ、

家畜外寄生動物學編終

明治四十三年十月十五日印刷
 明治四十三年十月廿三日發行

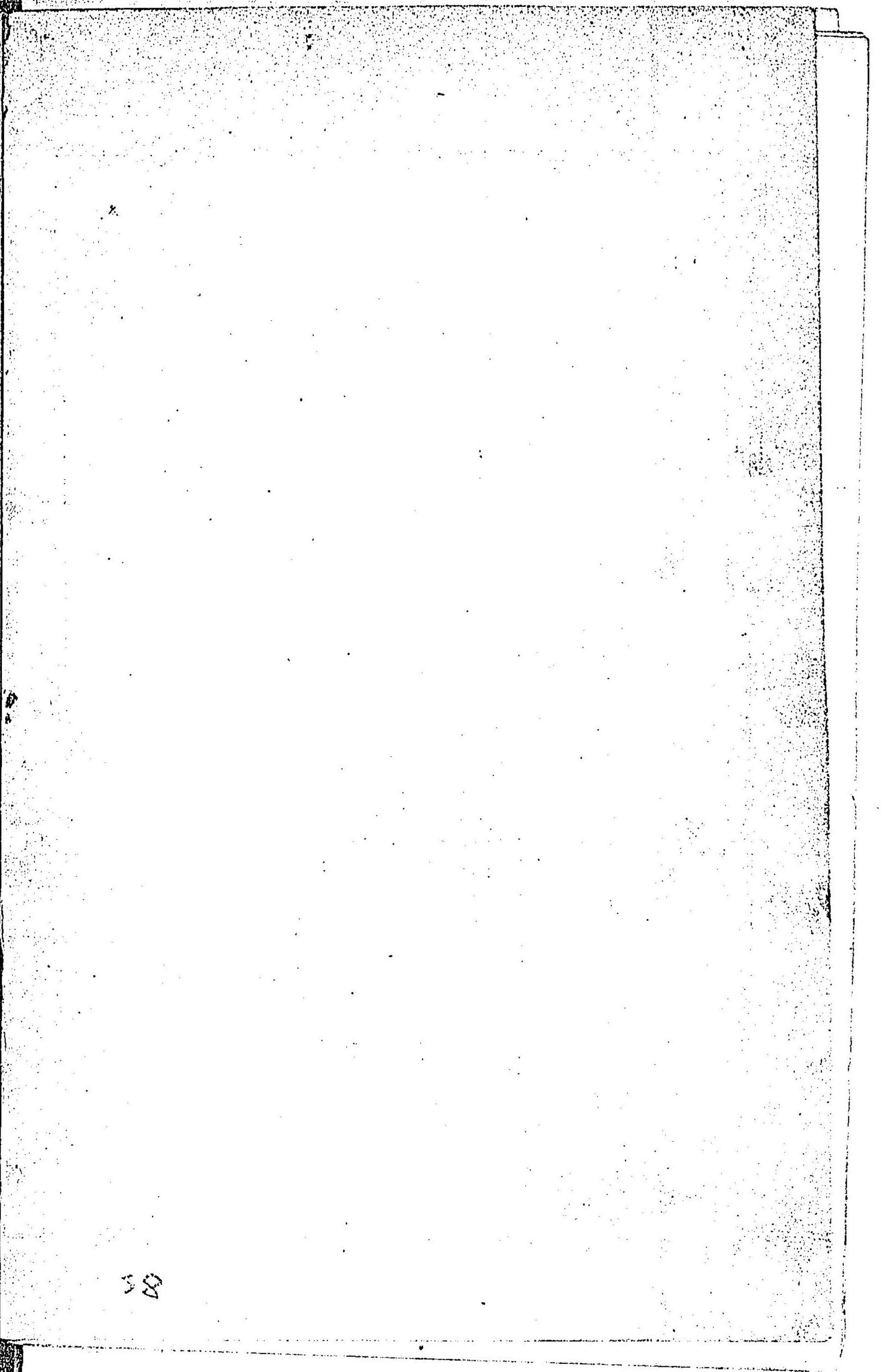
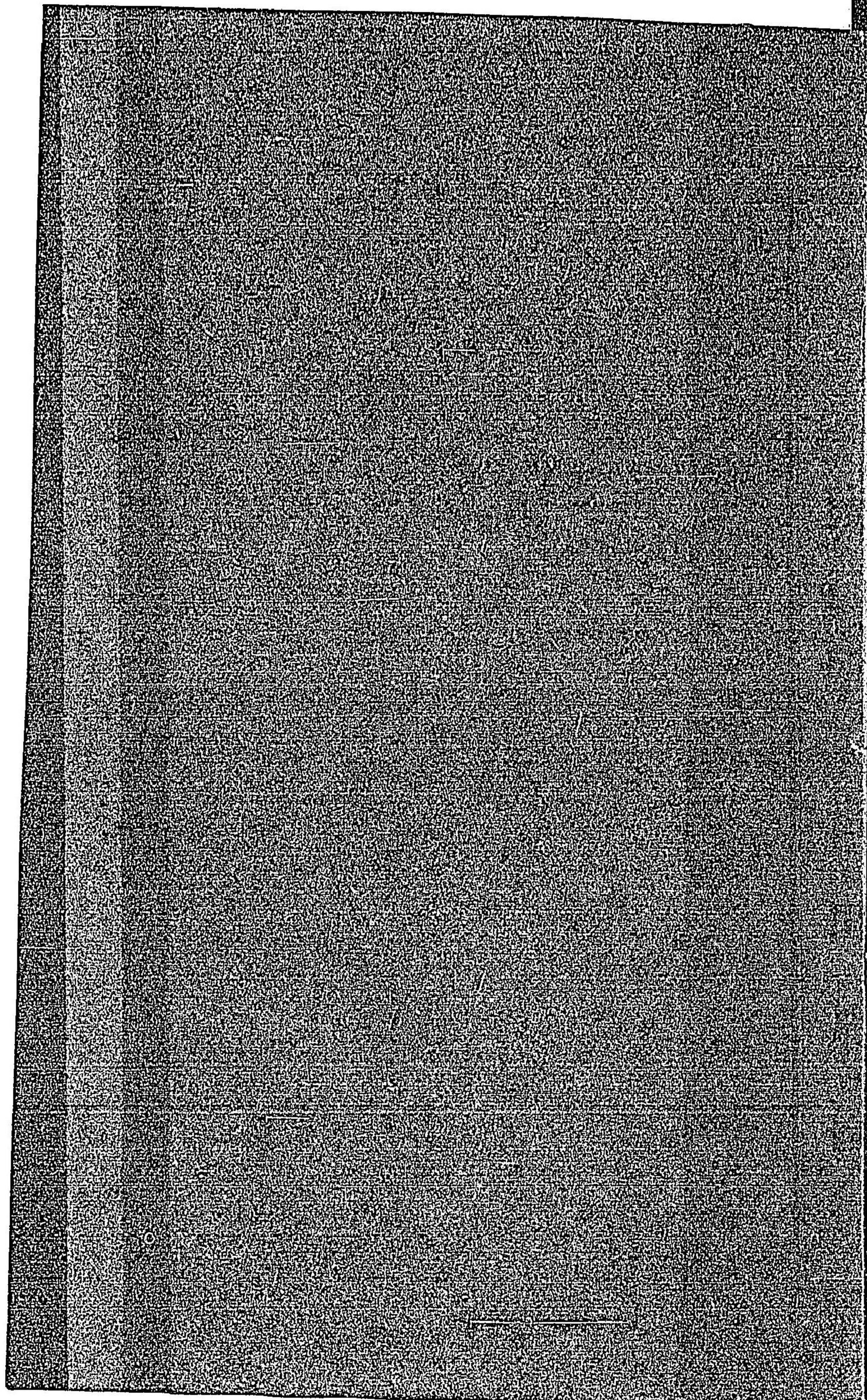
正價 金壹圓五拾錢



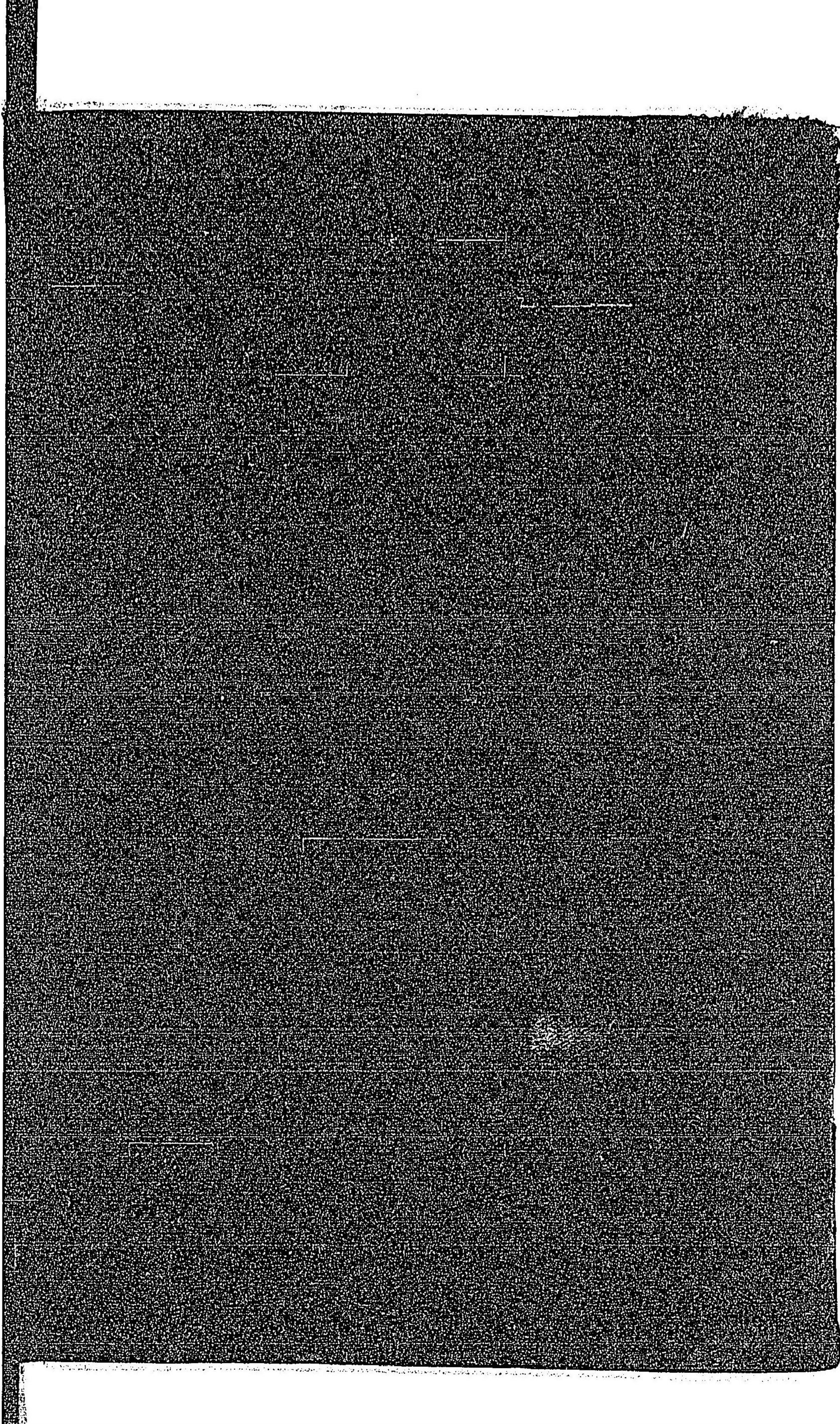
編纂者 青 山 新
 金澤市長土塀一番丁二十八番地
 吉田農園代表者
 發行所 吉 田 雄 次 郎
 金澤市殿町二番地
 印刷者 守 山 順 太 郎
 金澤市殿町二番地
 印刷所 河 内 山 橘 太 郎
 金澤商況社

石川縣金澤市長土塀一番丁二十六、七、八番地

發行所 吉 田 農 園



335
55



335
55

064656-000-3

335-55

家畜外寄生動物学編

青山 新/編

M43

CCD-0084



